

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	1	事業名	民生委員児童委員活動支援事業	所管・窓口	健康福祉総務課
----	---	-----	----------------	-------	---------

当初計画

事業内容	市民の地域における相談相手・支援者として、民生委員・児童委員活動の円滑な推進体制を確保します。				
今後の取り組み方針	市内11地区の地区民生委員児童委員協議会と連携を図り、民生委員・児童委員が実施している「子育てサロン」事業を安定的に運営できるよう支援していきます。				
指標値 (20年度実績値)	・民生委員・児童委員数:265人 ・子育てサロン開催回数:224回	21年度 実績値	・民生委員・児童委員数:265人 ・子育てサロン開催回数:222回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市内11地区の地区民生委員児童委員協議会と連携を図り、民生委員・児童委員が実施している「子育てサロン」事業を安定的に運営できるよう支援しました。				
事業実績		23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・民生委員・児童委員数:267人 ・子育てサロン開催回数:214回	・民生委員・児童委員数:269人 ・子育てサロン開催回数:211回	・民生委員・児童委員数:265人 ・子育てサロン開催回数:216回	・民生委員・児童委員数:274人 ・子育てサロン開催回数:216回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	「子育てサロン」に参加することで、参加している保護者や子ども同士が交流でき、ホッとできる雰囲気づくりができました。		市内11地区の民生委員児童委員協議会が、それぞれの地域の特色を活かした内容でサロンを実施することができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	2	事業名	子育て支援ネットワーク推進事業	所管・窓口	こども総務課
----	---	-----	-----------------	-------	--------

当初計画

事業内容	各機関(公立・民間保育園、NPO法人、子育て関係団体、行政など)の取り組み状況について情報の共有化を行い、各機関が連携した施策を検討していきます。					
今後の取り組み方針	子育て支援関係機関や民間団体等で組織するネットワーク会議を開催し、情報の共有化や課題の検討を行い、市の施策に反映させていきます。					
指標値(22年度見込値)	会議の開催数:2回/年	21年度実績値	/		取り組みの方向	新規

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	ネットワーク会議を開催することができませんでしたが、Eメールを利用して各団体の情報の共有を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	会議の開催数:0回/年	会議の開催数:1回/年	会議の開催数:2回/年	会議の開催数:0回/年	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	各団体のイベントについての案内やチラシの配架を実施し、活発な情報交換が行われました。 子ども・子育て支援新制度について、国・県からの情報を各団体に発信し、市民や各団体、市への影響について情報交換を行いました。		開催には至りませんでしたが、メールを利用したイベントの案内を行うなど、定期的な情報交換を行いました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	D	事業内容	D
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

D

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	3	事業名	つどいの広場事業	所管・窓口	こども総務課
----	---	-----	----------	-------	--------

当初計画

事業内容	親子が気軽に集える・子育て相談ができる・子育て情報がある場所として、通称「こどもーる」を市内2か所の商業施設内で開設しています。				
今後の取り組み方針	イベントや相談体制の充実を図ります。また、南部では事業展開を行っていないことから、新規開設を検討していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・開設か所数:2か所 ・親子利用者数:41,321人(延べ)	21年度 実績値	・開設か所数:2か所 ・親子利用者数:38,867人(延べ)	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	イベント内容や開催回数、相談体制の充実を図るため、委託法人との情報交換会を開催しました。また、南部地区への新規開設に向けて、高座渋谷駅周辺の施設で開設が可能か、調査・検討を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・開設か所数:2か所 ・親子利用者数: 47,189人(延べ)	・開設か所数:2か所 ・親子利用者数: 54,202人(延べ)	・開設か所数:2か所 ・親子利用者数: 50,949人(延べ)	・開設か所数:2か所 ・親子利用者数: 48,610人(延べ)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	4	事業名	地域育児センター事業	所管・窓口	保育家庭課
----	---	-----	------------	-------	-------

当初計画

事業内容	市立保育園において入所児童と地域児童との交流保育や、世代間交流(お年寄り・青少年)、地域家庭支援及び講座への職員の派遣を行いました。				
今後の取り組み方針	保育園の専門性を生かし、地域における子育て家庭の養育ニーズを受け止め、地域に密着した子育て支援を実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・開放保育実施回数:1,119回 ・地域との交流事業回数:106回 ・育児相談件数:267件	21年度 実績値	・開放保育実施回数:752回 ・地域との交流事業回数:139回 ・育児相談件数:444件	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	保育園の専門性を活かし、地域における子育て家庭の養育ニーズを受け止め、他機関と連携しながら地域に密着した子育て支援を実施していました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・開放保育実施回数:954回 ・地域との交流事業回数:108回 ・育児相談件数:200件	・開放保育実施回数:959回 ・地域との交流事業回数:203回 ・育児相談件数:319件	・開放保育実施回数:911回 ・地域との交流事業回数:182回 ・育児相談件数:445件	・開放保育実施回数:877回 ・地域との交流事業回数:178回 ・育児相談件数:350件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	各事業、地域差があるので、地域ごとのニーズに合わせた取り組みについて検討していく必要があります。		各事業、地域差があるので、地域ごとのニーズに合わせた取り組みについて検討していく必要があります。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	5	事業名	青少年指導者育成支援事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	---	-----	--------------	-------	----------

当初計画

事業内容	青少年指導員連絡協議会、子ども会連絡協議会、母親クラブ連絡協議会の活動を支援するとともに、指導者を養成します。				
今後の取り組み方針	青少年健全育成を進める団体の活性化や、地域指導者、青少年サークルの育成を支援し、地域での健全育成に対する取り組みを推進していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・青少年指導員人数:107人 ・子ども会人数:3,162人 ・母親クラブ人数:134人	21年度 実績値	・青少年指導員人数:105人 ・子ども会人数:3,024人 ・母親クラブ人数:142人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	青少年健全育成を進める団体の活性化や、地域指導者、青少年サークルの育成を支援し、地域での健全育成に対する取り組みを推進しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・青少年指導員人数:108人 ・子ども会人数:3,013人 ・母親クラブ人数:150人	・青少年指導員人数:107人 ・子ども会人数:2,996人 ・母親クラブ人数:134人	・青少年指導員人数:110人 ・子ども会人数:2,896人 ・母親クラブ人数:140人	・青少年指導員人数:109人 ・子ども会人数:2,850人 ・母親クラブ人数:137人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	・青少年指導員連絡協議会は現状維持となりました。 ・子ども会連絡協議会は、未加入団体の整理を行うとともに、現状の問題点を把握するため、団体へのアンケート調査を支援しました。 ・母親クラブ連絡協議会は現状維持となりました。		・青少年指導員連絡協議会は現状維持となりました。 ・子ども会連絡協議会は、新規の共催事業としてわくわくコンサートの支援を行いました。 ・母親クラブ連絡協議会は現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	6	事業名	大和市家庭・地域教育活性化会議支援事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	---	-----	---------------------	-------	----------

当初計画

事業内容	学校、地域、家庭が一体となり、地域ぐるみで青少年の育成を推進していくために、地域の人々が主体的に運営する推進委員会と9つの地区活性化会議の活動を支援します。				
今後の取り組み方針	各地区活性化会議の活動内容を推進委員会において審議・検討し、各地区の特性を活かした活動となるよう継続して支援していきます。				
指標値(20年度指標値)	推進委員会開催回数:4回	21年度実績値	推進委員会開催回数:4回	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	推進委員会を開催し、各地区活性化会議による特色のある活動となるよう支援しました。				
事業実績		23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	推進委員会開催回数:4回	推進委員会開催回数:4回	推進委員会開催回数:4回	推進委員会開催回数:4回	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		平成25年度については、現状維持となりました。事業内容の質的改善について、2月に開催した推進委員会で提案を行いました。その成果については平成26年度に出てくるものと考えています。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実 個別目標(4)- : 次代の親の育成(再掲)

番号	7	事業名	講座等開催事業 (乳幼児家庭教育セミナー、子育て支援サロン、保育ボランティア養成講座など)	所管・窓口	生涯学習センター
----	---	-----	--	-------	----------

当初計画

事業内容	生涯学習センターをはじめ各学習センターでは、関係機関や市民団体・地域ボランティアが主体となり、親子の交流や子育て相談、読み聞かせなど気軽に参加できる催しを実施しています。				
今後の取り組み方針	時代に即した課題に対応できるよう取り組んでいきます。				
指標値 (20年度実績値)	親・乳幼児を対象とした開催講座数:31講座	21年度実績値	親・乳幼児を対象とした開催講座数:35講座	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	生涯学習センターをはじめ各学習センターでは、「社会・家庭の教育力の向上」という現代的課題に対応できるよう、乳幼児親子を対象とした講座や催しの開催に取り組みました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	親・乳幼児を対象とした開催講座数:29講座	親・乳幼児を対象とした開催講座数:34講座	親・乳幼児を対象とした開催講座数:43講座	親・乳幼児を対象とした開催講座数:44講座	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	講座数は増加しました。子育てに係わる悩みの解消など、市民のニーズに合わせた講座の充実を図りました。また、親の交流が図れるような学習プログラムの作成に努めました。		子育てに係わる悩みの解消など、市民のニーズに合わせた講座内容となるよう見直しを行い開催しました。また、親の交流が図れるような学習プログラムの作成に努めました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	8	事業名	出前講座「どこでも講座」事業	所管・窓口	生涯学習センター
----	---	-----	----------------	-------	----------

当初計画

事業内容	市民からの依頼に応じて、市職員が職務に関する講座の講師を勤めます。市民の自主学習を支援し、生涯学習のまちづくりを推進します。				
今後の取り組み方針	講座にある子育て関連メニューの見直し、追加充実を図っていきます。				
指標値(20年度実績値)	子育て関連講座数:56件	21年度実績値	子育て関連講座数:58件	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	子育て関連のメニューの見直しを行い、「生涯学習がいどぶっく」発行など情報提供の際には追加充実を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	子育て関連講座数:55件	子育て関連講座数:53件	子育て関連講座数:53件	子育て関連講座数:54件	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	講座数につきましては変更はありませんでしたが、3講座の子育て関連メニューの見直しを行うことができました。		講座数につきましては各課に働きかけを行い子育て関連メニューを1講座増加することができました。子育て関連メニューの見直しを行うことができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	9	事業名	ボランティアグループの活動支援	所管・窓口	(福)社会福祉協議会 ボランティアセンター
----	---	-----	-----------------	-------	--------------------------

当初計画

事業内容	子育て家庭への支援や不登校・引きこもり青年への支援を行うボランティアグループ等の活動を支援します。				
今後の取り組み方針	問題解決のために関係機関等と調整を図ることで、ボランティアグループ等の活動を継続して支援していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	子育て関連の活動支援ボランティアグループ等の団体数:3 団体	21年度 実績値	子育て関連の活動支援ボランティアグループ等の団体数:3 団体	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	ボランティアグループに対し、活動場所の提供や活動資金の助成、各種情報提供等の支援を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	子育て関連の活動支援ボランティアグループ等の団体数:3団体	子育て関連の活動支援ボランティアグループ等の団体数:3団体	子育て関連の活動支援ボランティアグループ等の団体数:3団体	子育て関連の活動支援ボランティアグループ等の団体数:3団体	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特に、事業内容の質的改善は行っていないため、現状維持となりました。		事業内容の質的改善は行っていないため、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	10	事業名	子育てに関する相談・援助	所管・窓口	(福)社会福祉協議会 子育て支援センター
----	----	-----	--------------	-------	-------------------------

当初計画					
事業内容	子育ての相談や講座・催しを開催することにより、子育て家庭の孤立を解消し、育児不安の軽減を図ります。				
今後の取り組み方針	子育て中の親子が気軽に相談ができるよう、情報提供を図っていきます。またグループワークについても、さらなる参加者の拡大に向けて周知方法を工夫していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・子育てなんでも相談数:759件 ・育児支援母親支援事業「ちえりー・かふえ」参加数:14組 ・ふたごみつごのつどい「TWINKLE スター」参加数:116組 ・産後の育児不安軽減事業「ほや*ほや」参加数:26組	21年度 実績値	・子育てなんでも相談数:785件 ・育児支援母親支援事業「ちえりー・かふえ」参加数:18組 ・ふたごみつごのつどい「TWINKLE スター」参加数:137組 ・産後の育児不安軽減事業「ほや*ほや」参加数:43組	取り組み の方向	充実

進捗状況		印:要入力箇所			
「今後の取り組み方針」の状況	・子育て中の親子が気軽に相談できるよう、職員が常時1名以上、親子と共にサロンで過ごし相談対応・情報提供を行いました。また、民生委員児童委員協議会が行う地域の子育てサロン訪問支援の場でも、積極的に相談対応、情報提供に努めました。 ・グループワークについては、市こども総務課母子保健担当との連携を図り周知徹底しました。 ・産後の育児不安軽減事業「ほや*ほや」では、産後間もない母親の相談対応を充実させるため助産師へ講師依頼しました。また、市健康づくり推進課と連携し、講座後に予防接種に関する相談にも対応しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・子育てなんでも相談数:820件 ・育児支援母親支援事業「ちえりー・かふえ」参加数:31組 ・ふたごみつごのつどい「TWINKLE スター」参加数:123組 ・産後の育児不安軽減事業「ほや*ほや」参加数:107組	・子育てなんでも相談数:2,013件 ・育児支援母親支援事業「ちえりー・かふえ」参加数:52組 ・ふたごみつごのつどい「TWINKLE スター」参加数:83組 ・産後の育児不安軽減事業「ほや*ほや」参加数:107組	・子育てなんでも相談数:2,165件 ・育児支援母親支援事業「ちえりー・かふえ」参加数:57組 ・ふたごみつごのつどい「TWINKLE スター」参加数:56組 ・産後の育児不安軽減事業「ほや*ほや」参加数:161組	・子育てなんでも相談数:2,216件 ・育児支援母親支援事業「ちえりー・かふえ」参加数:44組 ・ふたごみつごのつどい「TWINKLE スター」参加数:62組 ・産後の育児不安軽減事業「ほや*ほや」参加数:211組	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	ふたごみつごのつどい「TWINKLE スター」については、父親の参加を見込み開催日を平日より土曜日に変更しましたが、参加者のニーズにそぐわなかったか、参加者数が減少する結果となりました。また、多胎児出生数の減少も参加者減の要因と思われます。		産後の育児不安軽減事業「ほや*ほや」の定員増を図りました。		

評価ランク		印:要入力箇所	
実績値	C	事業内容	B

事務局処理	
1次評価	B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	11	事業名	子育てサロンの運営事業	所管・窓口	(福)社会福祉協議会 子育て支援センター
----	----	-----	-------------	-------	-------------------------

当初計画

事業内容	子育て中の親子が気軽に交流できることで、育児の孤立感や不安の軽減が図れるよう子育て支援センター内のプレイルーム(サロン)を開放しています。				
今後の取り組み方針	サロン運営については、新規来所者の拡大を図れるよう、より周知に努めます。				
指標値 (20年度 指標値)	・年間来所者数: 13,386人 ・利用者のつどい「ホットラウンジ」:年間参加者75組	21年度 実績値	・年間来所者数: 11,102人 ・利用者のつどい「ホットラウンジ」:年間参加者75組	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市こども総務課、学習センター、民生委員児童委員など関係機関との連携で周知を徹底し、新規来所者の拡大を図りました。 ・サロン開放日は毎日「おたのしみタイム」(保育士による手遊び等の提供)を実施し、親子への遊びを提供することで、親子が楽しく気軽に利用できるサロン展開に努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・年間来所者数: 13,429人 ・利用者のつどい 「ホットラウンジ」: 年間参加者93組	・年間来所者数: 18,271人 ・ホットラウンジは 発展改組し個別講 座として実施84組	・年間来所者数: 19,752人 ・講座「R38ママのつ どい」75組(年2回) ・講座「U22ママのつ どい」17組(年2回)	・年間来所者数: 21,803人 ・講座「R38ママのつ どい」73組(年2回) ・講座「U22ママのつ どい」13組(年2回)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	・「おたのしみタイム」は、クリスマスイベントなどの季節感を取り入れた内容で提供し、来所者に楽しんでいただきました。 ・「U22ママのつどい」では、髪飾りの製作などを取り入れ、親子が楽しく交流しやすい内容で実施しました。		「おたのしみタイム」において、月1度「お誕生会」を開催することで、来所者の利用拡大を図りました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

## 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	12	事業名	子育てサークルの育成支援事業	所管・窓口	(福)社会福祉協議会 子育て支援センター
----	----	-----	----------------	-------	-------------------------

### 当初計画

事業内容	子育てサークルの設立支援や、既設サークルへの運営相談や活動相談、物品の貸し出しなどを行います。また、サークル相互の連携を図れるよう代表者の会議を開催します。				
今後の取り組み方針	地域育児センター(市立保育園)でも子育てサークルを支援していることから、相互に連携を図りながら推進します。				
指標値 (20年度 指標値)	自主サークル代表者会議開催 数:2回/年	21年度 実績値	自主サークル代表者会議開催 数:4回/年	取り組み の方向	維持

### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・地域子育て連絡会などの場で、地域育児センター(保育園)との連携を図り、サークルの活動支援を行いました。 ・自主サークル代表者会を開催し、サークル間の連携を促すと同時に情報提供を行いました。 ・サークル活動日に職員が訪問支援(手遊び等の提供)を行い、活動を活性化させました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	自主サークル代表 者会議開催数:2 回/年	自主サークル代表 者会議開催数:2 回/年	自主サークル代表 者会議開催数:2 回/年	自主サークル代表 者会議開催数:2 回/年	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	高齢出産者対象講座「R38ママのつどい」開催後、参加者を対象とした自主サークル「やまと38」の設立を支援しました。		高齢出産者対象講座「R38ママのつどい」開催後、参加者を対象とした自主サークル「やまとなでしこ」の設立を支援しました。		

### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

### 事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	13	事業名	子育て支援ボランティア養成事業	所管・窓口	(福)社会福祉協議会 子育て支援センター
----	----	-----	-----------------	-------	-------------------------

当初計画

事業内容	子育てについての理解を広め、市内の子育て支援活動の運営サポーターを養成することを目的に講座を開設しています。				
今後の取り組み方針	活動できるボランティアの育成と同時に、子育て支援の理解者も増やしていくことを目指し、事業を継続していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	養成講座参加人数:11人	21年度 実績値	養成講座参加人数:9人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・「子育て支援ボランティア養成講座」を年1度開催しました。受講者の内4名が子育て支援センターボランティアとして登録し活動しています。 ・福祉分野での就労を希望する学生や高校生のボランティアを受け入れることで、若い世代にも子育てに関する理解を広めることができました。 ・既に活動しているボランティア登録者に対しては、ボランティア実践講座、ボランティア交流会を実施することで、技術向上とボランティア同士の交流・情報交換を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	養成講座参加人数:11人	養成講座参加人数:9人	養成講座参加人数:8人	養成講座参加人数:5人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	・子育て支援ボランティア養成講座体験学習を、子育て支援センターサロン、及び講座で実施することで、子育て中の親子の状況がより理解しやすくなりました。 ・学生や高校生の長期休み期間を利用したボランティア活動を受け入れることで、若い世代に対しても子育てに関する理解を広めることができました。		既に活動しているボランティア登録者の多様なニーズに対応するため、保育ボランティア実践講座は「手遊び編」と「製作編」に分け、受講者が希望のコースを選択できるようにしました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	D	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	14	事業名	子育ての仲間作りの機会提供事業	所管・窓口	(福)社会福祉協議会 子育て支援センター
----	----	-----	-----------------	-------	-------------------------

当初計画

事業内容	同じ月齢の子と親が集まり、親子のコミュニケーションを深めるとともに、子育ての仲間を見つけることで、子育て家庭の孤立を防ぎます。				
今後の取り組み方針	仲間作りの場を求めるニーズの状況に応じて、さらに必要な事業を検討していきます。また父親向けの事業として充実を図ります。				
指標値(20年度指標値)	バブちゃんとおそぼ! :年間参加179組	21年度実績値	バブちゃんとおそぼ! :年間参加231組	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	1~3ヶ月児の集い「ほや*ほや」、4~6か月児の集い「バブちゃんとおそぼ!」、7~9か月児の集い「ポニョ ポニョ」をそれぞれ実施し、月齢ごとの親子の交流の場を提供しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	バブちゃんとおそぼ! :年間参加206組	バブちゃんとおそぼ! :年間参加257組 (ポニョ ポニョ:年間参加111組(隔月開催))	バブちゃんとおそぼ! :年間参加290組 (ポニョ ポニョ:年間参加173組(隔月開催))	バブちゃんとおそぼ! :年間参加400組 (ポニョ ポニョ:年間参加340組)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	「バブちゃんとおそぼ!」「ポニョ ポニョ」では、ボランティアの協力(第1子の保育)を得て、第2子の参加を積極的に受け入れました。		・「バブちゃんとおそぼ!」の開催を月2回に増回しました。 ・「ポニョ ポニョ」の開催を月1回に増回しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	15	事業名	子育てに関する学習機会提供事業	所管・窓口	(福)社会福祉協議会 子育て支援センター
----	----	-----	-----------------	-------	-------------------------

当初計画

事業内容	子育てにとまどう親や、子育ての情報が多すぎて不安を感じている親などに対し、社会福祉士や保育士等が直接子育てに関する知識を提供することで、不安の軽減を図り安心して子育てができるよう支援します。				
今後の取り組み方針	講座参加者の意見等を取り入れながら、ニーズにあった内容を検討していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・ママとベビーのふれあいルーム参加組数:154組/年 ・子育て講座開催数:5回/年	21年度 実績値	・ママとベビーのふれあいルーム参加組数:135組/年 ・子育て講座開催数:3回/年	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て講座「お家の中の事故防止・体調変化時の対応」は、生後5～10ヶ月の子の成長過程において必要な、在宅時の事故防止の方法や体調変化時の対応法を学ぶため、保健師に講師依頼し実施しました。</li> <li>・子育て講座「ワーキングママのつどい」は、保育園園長に講師依頼し、子育て支援制度や保育園の現状など、就労を希望する母達のニーズに応じた内容で実施しました。</li> <li>・育児不安軽減事業「ほや＊ほや」参加者を対象に、乳幼児揺さぶられ症候群予防を目的としたDVD視聴会を行いました。</li> </ul>					
	事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ママとベビーのふれあいルーム参加組数:0組/年(平成22年度廃止)</li> <li>・子育て講座開催数:3回/年</li> </ul>	子育て講座開催数:3回/年 (参加組数:84組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て講座「お家の中の事故防止・体調変化時の対応」,63組(年2回)</li> <li>・子育て講座「ワーキングママのつどい」,72組(年2回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て講座「お家の中の事故防止・体調変化時の対応」,114組(年3回)</li> <li>・子育て講座「ワーキングママのつどい」,63組(年2回)</li> </ul>		
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お家の中の事故防止・体調変化時の対応」では、実技に使用する新生児人形の借入数を増やすことで定員増を図りました。</li> <li>・「ワーキングママのつどい」は、利用者ニーズに応じ年2回開催に増回しました。</li> <li>・乳幼児揺さぶられ症候群を周知するため、DVD視聴会を実施しました(9回/年)</li> </ul>		学習センターとの共催事業「お家の中の事故防止・体調変化時の対応」の開催数を増回しました。			

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価	B
------	---

(様式1)

### 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て支援ネットワークと情報提供の充実

番号	16	事業名	子育て情報提供事業	所管・窓口	(福)社会福祉協議会 子育て支援センター
----	----	-----	-----------	-------	-------------------------

#### 当初計画

事業内容	子育てに関する情報を冊子類やホームページで提供していきます。				
今後の取り組み方針	子育て情報専用のホームページを立ち上げて、子育て情報の集約化を図り、掲示板等を通じて子育て家庭の交流支援を図ります。				
指標値 (20年度 指標値)	・子育て情報誌の発行数:年1回 ・HPの更新回数:月1回 ・機関紙の発行数:月1回 ・子育て支援センターパンフレットの発行数:1,300部	21年度 実績値	・子育て情報誌の発行数:年1回 ・HPの更新回数:月1回 ・機関紙の発行数:月1回 ・子育て支援センターパンフレットの発行数:1,300部	取り組み の方向	充実

#### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・26年度ホームページ立ち上げに向け情報収集を行いました。 ・子育てサロンに設置する掲示板では、市内子育て情報を掲示し、子育て家庭に対する情報提供や交流支援を行いました。 ・育児に関連する書籍やDVDの貸し出しを行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・子育て情報誌の発行数:年2回 ・HPの更新回数:月1回 ・機関紙の発行数:月1回 ・子育て支援センターパンフレットの発行数:1,300部	・子育て情報誌の発行数:年1回 ・HPの更新回数:月1回 ・機関紙の発行数:月1回 ・子育て支援センターパンフレットの発行数:1,300部	・子育て情報誌の発行数:年1回 ・HPの更新回数:月1回 ・機関紙の発行数:月1回 ・子育て支援センターパンフレットの発行数:1,800部	・子育て情報誌の発行数:年1回 ・HPの更新回数:月1回 ・機関紙の発行数:月1回 ・子育て支援センターパンフレットの発行数:1,800部	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	・子育て支援センターパンフレットの内容を、よりわかりやすく改善しました。 ・社協ホームページの内容を、よりわかりやすく改善しました。		事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

#### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	C
-----	---	------	---

#### 事務局処理

1次評価

B



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て家庭への経済的支援

番号	17	事業名	出産育児一時金支給事業	所管・窓口	保険年金課
----	----	-----	-------------	-------	-------

当初計画

事業内容	国民健康保険加入世帯に対して、出産にかかる費用を援助するため、一時金を支給します。				
今後の取り組み方針	平成21年10月1日から平成23年3月31日の間に出産した場合の支給額が420,000円となり、医療機関等に直接支払うことになりました(時限措置)。				
指標値(20年度実績値)	出産育児一時金対象の出産件数:461件	21年度実績値	出産育児一時金対象の出産件数:378件	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	出産育児一時金支給額420,000円を継続しています。 出産費用について、支給額の範囲で医療機関等に直接保険者が支払うことを継続しています。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	出産育児一時金対象の出産件数:400件	出産育児一時金対象の出産件数:398件	出産育児一時金対象の出産件数:391件	出産育児一時金対象の出産件数:352件	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	支給金額の継続及び直接支払制度の恒久化により、出産しやすい環境が整備されました。		支給金額の継続及び直接支払制度の恒久化により、出産しやすい環境が整備されました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て家庭への経済的支援

番号	18	事業名	私立幼稚園就園支援事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	-------------	-------	--------

当初計画

事業内容	私立幼稚園の通園にかかる経済的な負担を軽くするために、入園料・保育料の一部を補助する制度です。				
今後の取り組み方針	保護者の経済的負担の軽減のため今後とも継続して実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	対象園児数:3,976人	21年度 実績値	対象園児数:3,908人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	早ければ、平成27年度より実施される子ども・子育て支援新制度に対応するよう、制度の枠組みについて検討を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	対象園児数:3,861 人	対象園児数:4,017 人	対象園児数:4,112 人	対象園児数:4,161 人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	国の補助単価が変わりましたが、対象、手段、手法に変更がないため、現状維持となりました。		国の補助単価が変わりましたが、対象、手段、手法に変更がないため、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て家庭への経済的支援

番号	19	事業名	小児医療費助成事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	-----------	-------	--------

当初計画

事業内容	子どもが病気や怪我などにより、医療機関を受診した際に、保険診療で支払う医療費の自己負担分を助成します。				
今後の取り組み方針	対象年齢の拡大等、見直しについて検討を進めていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	医療証交付件数: 12,497件	21年度 実績値	医療証交付件数: 12,500件	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成26年7月の通院助成対象者の拡大に向け、システム改修や条例改正等を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	医療証交付件数: 21,126件	医療証交付件数: 21,901件	医療証交付件数: 24,646件	医療証交付件数: 22,686件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	対象、手段、手法は変更がないため現状維持となりました。		平成26年7月の通院助成対象者の拡大に向け、ホームページや広報で制度の周知に努めました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て家庭への経済的支援

番号	20	事業名	児童手当支給事業 (旧、子ども手当支給事業)	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	---------------------------	-------	--------

当初計画

事業内容	次代の社会を担う子どもの育ちを支援するために、子ども手当を支給します。				
今後の取り組み方針	国の制度に基づき事業を進めます。				
指標値 (22年度見込値)	受給者数:31,000人	21年度実績値	取り組みの方向		新規

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	児童手当法にのっとり事業を円滑かつ正確に実施しました。				
事業実績		23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	支給対象児童数: 30,728人	支給対象児童数: 30,631人	支給対象児童数: 30,666人	支給対象児童数: 30,479人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	手段、手法は変更がないため現状維持となりました。		手段、手法は変更がないため現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て家庭への経済的支援

番号	21	事業名	奨学金給付事業	所管・窓口	学校教育課
----	----	-----	---------	-------	-------

当初計画

事業内容	経済的理由により、高等学校課程の就学が困難な家庭に対して奨学金を給付し高等学校進学を支援します。				
今後の取り組み方針	高等学校への進学率は高く、経済状況の悪化もあることから、奨学金の受給希望者は多いものと予測されますので、今後も引き続き事業を実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	奨学金給付件数:72件	21年度 実績値	奨学金給付件数:75件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	中学校長会議を通じ、制度の周知に努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	奨学金給付件数: 75件	奨学金給付件数: 75件	奨学金給付件数 旧制度:50件 新制度:31件	奨学金給付件数 旧制度:26件 新制度:60件 (うち30件は更新 件数)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	対象要件をより明確にし、奨学金額も改めました。		事業内容の質的変更はありません。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て家庭への経済的支援

番号	22	事業名	小学校学用品等就学援助事業	所管・窓口	学校教育課
----	----	-----	---------------	-------	-------

当初計画

事業内容	経済的理由により、小学校への就学が困難な家庭に対し給食費や学用品費等の援助を行います。				
今後の取り組み方針	経済的理由により就学が困難な家庭に対して、必要な支援を行い、児童が安心して学校生活を送ることができる本事業への期待は今後も続くものと考えます。				
指標値 (20年度 指標値)	就学援助の認定・支給件数 :3,126人	21年度 実績値	就学援助の認定・支給件数 :3,339人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	制度の周知の徹底を図るため、今後も申請書を全校児童に配布するとともに、広報やまともにも案内記事を掲載しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	就学援助の認定・ 支給件数:3,528人	就学援助の認定・ 支給件数:3,408人	就学援助の認定・ 支給件数:3,238人	就学援助の認定・ 支援件数:3,205人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	所得確認を基幹システム上で行うことにより、原則申請者からの添付書類を不要としました。		事業内容の質的変更はありません。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て家庭への経済的支援

番号	23	事業名	中学校学用品等就学援助事業	所管・窓口	学校教育課
----	----	-----	---------------	-------	-------

当初計画

事業内容	経済的理由により、中学校への就学が困難な家庭に対し給食費や学用品費等の援助を行います。				
今後の取り組み方針	経済的理由により就学が困難な家庭に対して、必要な支援を行い、生徒が安心して学校生活を送ることができる本事業への期待は今後も続くものと考えます。				
指標値 (20年度 指標値)	就学援助の認定・支給件数 :1,427人	21年度 実績値	就学援助の認定・支給件数 :1,502人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	制度の周知の徹底を図るため、今後も申請書を全校児童に配布するとともに、広報やまともにも案内記事を掲載しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	就学援助の認定・ 支給件数:1,647人	就学援助の認定・ 支給件数:1,703人	就学援助の認定・ 支援件数:1,708人	就学援助の認定・ 支援件数:1,691人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	所得確認を基幹システム上で行うことにより、原則申請者からの添付書類を不要としました。		事業内容の質的変更はありません。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て家庭への経済的支援

番号	24	事業名	小学校医療費等就学援助事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	---------------	-------	-------

当初計画

事業内容	経済的理由により小学校への就学が困難な家庭に対し、法令等で定められた疾病の医療費や眼鏡の購入費等を援助します。				
今後の取り組み方針	保護者の負担軽減のため、今後も法令等に基づき実施します。				
指標値 (20年度 指標値)	就学援助の認定件数:3,126人	21年度 実績値	就学援助の認定件数:3,339人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・学校で行われる健康診断等において、特定の疾病について治療が必要と診断された場合、保護者の申請により医療券を交付し、医療費を補助しました。 ・学校で行われる視力検査の結果、めがねが必要と思われる児童について、保護者の申請によりめがね券を交付し、検眼料及びめがね購入費を補助しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	就学援助の認定 件数:3,528人	就学援助の認定 件数:3,408人	就学援助の認定 件数:3,238人	就学援助の認定 件数:3,199人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	就学援助の認定されるまでの間、医療費等の支給が出来ない為、償還払いを導入し、早期治療等出来るようにしました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て家庭への経済的支援

番号	25	事業名	中学校医療費等就学援助事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	---------------	-------	-------

当初計画

事業内容	経済的理由により中学校への就学が困難な家庭に対し、法令等で定められた疾病の医療費や眼鏡の購入費等を援助します。				
今後の取り組み方針	保護者の負担軽減のため、今後も法令等に基づき実施します。				
指標値 (20年度 指標値)	就学援助の認定件数:1,427人	21年度 実績値	就学援助の認定件数:1,502人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・学校で行われる健康診断等において、特定の疾病について治療が必要と診断された場合、保護者の申請により医療券を交付し、医療費を補助しました。 ・学校で行われる視力検査の結果、めがねが必要と思われる生徒について、保護者の申請によりめがね券を交付し、検眼料及びめがね購入費を補助しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	就学援助の認定 件数:1,647人	就学援助の認定 件数:1,703人	就学援助の認定 件数:1,709人	就学援助の認定 件数:1,693人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	就学援助の認定されるまでの間、医療費等の支給が出来ない為、償還払いを導入し、早期治療等出来るようにしました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て家庭への経済的支援

番号	26	事業名	小児医療援護事業	所管・窓口	厚木保健福祉事務所大和センター(旧:大和保健福祉事務所)保健福祉課
----	----	-----	----------	-------	-----------------------------------

当初計画

事業内容	未熟児、18歳未満の特定疾患児が、指定医療機関で受診した際に、保険診療で支払う医療費の自己負担分(の一部)を助成します。				
今後の取り組み方針	保護者の経済的負担の軽減のため今後とも継続して実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	支給件数:238件	21年度実績値	支給件数:231件	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	母子保健法の市町村移譲に伴い、養育医療援護制度が大和市で実施主体となりました。小児慢性特定疾患医療援護制度だけの実施となりました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	支給件数:224件	支給件数:209件	支給件数:198件 (大和市132件)	支給件数:214件 (大和市141件)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

## 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 子育て家庭への経済的支援

番号	27	事業名	特定不妊治療助成事業	所管・窓口	厚木保健福祉事務所大和センター(旧:大和保健福祉事務所)保健福祉課
----	----	-----	------------	-------	-----------------------------------

### 当初計画

事業内容	不妊治療のうち、医療保険が適用されない高額な特定の治療について、経済的負担の軽減のために、年度内二回まで助成します(ただし、初年度のみ3回)。				
今後の取り組み方針	不妊治療を望む夫婦が増える中で、費用負担が高額なため今後も継続して実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	助成件数:120件	21年度実績値	助成件数:174件	取り組みの方向	維持

### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	不妊治療の経済的負担の軽減のため、継続して事業を実施するとともに、平成26年度からの制度改正について、医療機関等へ周知しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	助成件数:221件	助成件数:288件	助成件数:361件(大和市294件)	助成件数:393件(大和市301件)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	申請日から助成決定までの平均日数の短縮化を図ったことで、79日から58日へと20日近く短縮することができました。		事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

### 事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	28	事業名	私立幼稚園運営支援事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	-------------	-------	--------

当初計画

事業内容	幼稚園の安定した運営を図ることを目的として、補助金を交付します。				
今後の取り組み方針	市内幼稚園の安定した運営を図るため、今後も事業を継続していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	管理運営費補助金:18件	21年度 実績地	管理運営費補助金:18件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	私立幼稚園教職員の資質向上と管理運営費用の軽減を図るため、補助金を交付しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	管理運営費補助金:19件	管理運営費等補助金:35件	管理運営費等補助金:18件	管理運営費等補助金:18件	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	29	事業名	ファミリーサポートセンター事業 (旧、子育て家庭支援事業)	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	----------------------------------	-------	-------

当初計画

事業内容	会員登録制で、保育園・幼稚園等への送迎、一時預かり、産後の家事支援に対するヘルパー派遣などをNPO法人と市の協働事業として実施しています。				
今後の取り組み方針	利用者の増加が見込まれることから、本事業と同趣旨のファミリー・サポート・センター事業への移行を検討して行きます。				
指標値 (20年度 指標値)	利用件数:4,731件	21年度 実績値	利用件数:4,715件	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	広く子育て関係機関において情報提供を行い、サービス利用者拡大に努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	利用件数:5,799件	子育て家庭支援事業 利用件数:3,592件 ファミリーサポートセンター 事業利用件数:3,483件	利用件数:8,902件	利用件数:9,101件	
事業内容 の質的 改善事項			評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	30	事業名	私設保育施設支援事業	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	------------	-------	-------

当初計画

事業内容	市内私設保育施設を利用する児童が、安心して保育を受けるために、健康診断の実施等について支援します。				
今後の取り組み方針	私設保育施設を利用する児童の健康を守るため、引き続き健康診断の実施等について支援しました。				
指標値 (20年度 指標値)	健康診断受診児童数:275人	21年度 実績値	健康診断受診児童数:323人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	私設保育施設を利用する児童の健康を守るため、引き続き健康診断の実施等について支援しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	健康診断受診児童数:373人	健康診断受診児童数:478人	健康診断受診児童数:377人	健康診断受診児童数:462人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	31	事業名	認定保育施設運営費助成事業	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	---------------	-------	-------

当初計画

事業内容	大和市の児童が入所する認定保育施設に対し運営費を助成することで適切な保育環境を提供します。				
今後の取り組み方針	待機児童の解消にもつながることから、認定保育施設への支援を充実していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	認定保育施設入所者数:4,274 人(延べ)	21年度 実績値	認定保育施設入所者数:4,554 人(延べ)	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	従来の支援のほかに、新制度化での認可化を見据えた支援を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	認定保育施設入 所者数:4,556人 (延べ)	認定保育施設入 所者数:4,771人 (延べ)	認定保育施設入 所者数:5,703人 (延べ)	認定保育施設入 所者数:5,759人 (延べ)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	32	事業名	認可保育所運営事務	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	-----------	-------	-------

当初計画

事業内容	認可保育所への入所を決定するため毎月審査会を開催します。また、保育料の決定・徴収を行います。				
今後の取り組み方針	毎年度4月1日の待機児童数を50人以内にしていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・入所決定児童数:1,614人 ・待機児童数:46人	21年度 実績値	・入所決定児童数:1,696人 ・待機児童数:88人	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	待機児童数が多く、依然として増加傾向にあることから、今後も引き続き待機児童対策を講じ更なる待機児童の解消に努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・入所決定児童数:1,849人 ・待機児童数:119人	・入所決定児童数:1888人 ・待機児童数:97人	・入所決定児童数:1,897人 ・待機児童数:127人	・入所決定児童数:2,040人 ・待機児童数:147人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	選考基準に則り、より緊急性の高い児童の入所を図りました。		選考基準に則り、より緊急性の高い児童の入所を図りました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	33	事業名	保育所運営費負担金事業	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	-------------	-------	-------

当初計画

事業内容	市内民間保育所、市外公立・民間保育所に運営費負担金等を交付することで健全で安定した運営を図ります。				
今後の取り組み方針	安心して児童を預けられるように、市内民間保育所等の安定した運営を支援していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・入所児童数:18,107人 ・児童が入所した市内外保育 所数:70か所	21年度 実績値	・入所児童数:18,420人 ・児童が入所した市内外保育 所数:88か所	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	安心して児童を預けられるように、市内民間保育所等の安定した運営を支援しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・入所児童数: 19,950人 ・児童が入所した 市内外保育所数: 80か所	・入所児童数: 21,107人 ・児童が入所した 市内外保育所数: 91か所	・入所児童数: 21,205人 ・児童が入所した 市内外保育所数: 102か所	・入所児童数: 22,800人 ・児童が入所した 市内外保育所数: 89か所	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	34	事業名	認定保育施設整備支援事業	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	--------------	-------	-------

当初計画

事業内容	認定保育施設の施設整備費を助成、安全な保育環境の整備を図ります。				
今後の取り組み方針	安全な保育環境が提供できるように、認定保育施設の施設整備等を支援していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・認定保育施設数:9か所 ・認定保育施設入所者数: 4,269人	21年度 実績値	・認定保育施設数:9か所 ・認定保育施設入所者数: 4,440人	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	昨年度に引き続き、認定保育施設の施設整備等を支援しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・認定保育施設 数:9か所 ・認定保育施設入 所者数:4,493人	・認定保育施設 数:10か所 ・認定保育施設入 所者数:4,603人	・認定保育施設 数:10か所 ・認定保育施設入 所者数:5,611人	・認定保育施設 数:10か所 ・認定保育施設入 所者数:5,662人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	35	事業名	民間認可保育所運営支援事業	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	---------------	-------	-------

当初計画

事業内容	入所児童数、延長保育利用者数、一時預かり利用者数に基づき補助金を交付することで、民間認可保育所の円滑な運営を推進します。				
今後の取り組み方針	安心して児童を預けられるように民間認可保育所の円滑な運営を支援していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・延長保育延べ利用者数: 18,635人 ・一時保育延べ利用者数: 5,666人	21年度 実績値	・延長保育延べ利用者数: 23,277人 ・一時保育延べ利用者数: 5,564人	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	保護者が安心して子どもを預けられる環境を整備し、民間認可保育所の円滑な運営を支援しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・延長保育延べ利用者数:24,537人 ・一時保育延べ利用者数:5,419人	・延長保育延べ利用者数:30,091人 ・一時保育延べ利用者数:6,577人	・延長保育延べ利用者数:34,546人 ・一時保育延べ利用者数:5,447人	・延長保育延べ利用者数:44,882人 ・一時保育延べ利用者数:5,925人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	36	事業名	民間保育所建設・増設支援事業	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	----------------	-------	-------

当初計画

事業内容	民間認可保育所の設置等を支援し、待機児童解消を図ります。				
今後の取り組み方針	保育所の増設は待機児童の解消につながることから、待機児童の状況を考慮しつつ対応を検討していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	新施設の計画・整備及び増設: 0か所	21年度 実績値	新施設の計画・整備及び増設: 1か所	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	民間保育所4園の整備を支援するとともに、26年度に整備する保育所の選考を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	新施設の計画・整備及び増設: 3か所	新施設の計画・整備及び増設: 0か所	新施設の計画・整備及び増設: 1か所	新施設の計画・整備及び増設: 4か所	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	1園の増設を支援をしました。		民間保育所5園の整備に係る支援を予定しています。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	A
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	37	事業名	公立保育所民営化推進事業	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	--------------	-------	-------

当初計画

事業内容	大和市公立保育園民営化基本計画に基づき民営化を推進します。				
今後の取り組み方針	平成26年度までに公立保育園2園の民営化を実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	民営化実施か所数:0か所	21年度 実績値	民営化実施か所数:1か所	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成25年度の深見台保育園の民営化を行うとともに、平成26年度の若草保育園の民営化に向け、移管先法人との引継ぎ・合同保育を実施して円滑な移行に努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	民営化実施か所数:0か所	民営化実施か所数:0か所	民営化実施か所数:0か所	民営化実施か所数:1か所	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	若草保育園の移管先法人の選定にあたっては、深見台保育園の際の方法を踏襲しており、特に質的改善はありません。		平成25年度から深見台保育園を民営化しました。また、深見台保育園と同様の方法で、若草保育園の移管先法人を選定しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	38	事業名	休日保育事業	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	--------	-------	-------

当初計画

事業内容	保護者の日曜・祝日等の勤務などの際に、市内の認可保育園に在園する児童について、日曜・祝日の保育を実施します。				
今後の取り組み方針	利用状況を見ながら実施か所の増設等を検討していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・利用児童数:56人(延べ) ・実施か所数:2か所	21年度 実績値	・利用児童数:27人(延べ) ・実施か所数:2か所	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	利用実績を見ながら、開所時間や実施場所について検討していきます。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・利用児童数:41人(延べ) ・実施か所数:2か所	・利用児童数:34人(延べ) ・実施か所数:1か所	・利用児童数:64人(延べ) ・実施か所数:1か所	利用児童数:106人(延べ) ・実施か所数:1か所	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		ホームページ等で周知を図ることにより、利用者の増加が見られました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 多様な保育サービスの充実

番号	39	事業名	病児保育事業	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	--------	-------	-------

当初計画

事業内容	急な病気により、ほかの児童との集団生活が困難となった児童を一時的に預かることで保護者の就労を支援します。				
今後の取り組み方針	利用状況を見ながら実施か所の増設等を検討していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・利用児童数:518人(延べ) ・実施か所数:1か所(民間)	21年度 実績値	・利用児童数:815人(延べ) ・実施か所数:1か所(民間)	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	病児保育室を1箇所増設しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・利用児童数:891人(延べ) ・実施か所数:1か所(民間)	・利用児童数:885人(延べ) ・実施か所数:1か所(民間)	・利用児童数:936人(延べ) ・実施か所数:1か所(民間)	・利用児童数:1,110人(延べ) ・実施か所数:2か所(民間)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	市民サービス向上のため、平成25年度途中の病児保育室増設に向けた業務を行いました。		病児保育施設を増設したことで、利用者の利便性が向上しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	A
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 仕事と子育ての両立支援      個別目標(4)- : 次代の親の育成(再掲)

番号	40	事業名	男女共同参画プラン策定・管理事業	所管・窓口	国際・男女共同参画課
----	----	-----	------------------	-------	------------

当初計画

事業内容	「やまと男女共同参画プラン」のもと、子育てに係る社会通念や慣行を見直すなど、男女共同参画を推進します。				
今後の取り組み方針	優先的意識改善課題にかかる、新たな取り組みを行うとともに、各事業の活動の達成度とあわせ、プランの進捗状況を計る一つの視点として、「成果の目安」を公表します。				
指標値(20年度実績値)	行政推進会議開催回数:2回	21年度実績値	行政推進会議開催回数:2回	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	第2次やまと男女共同参画プランの前期実施計画に基づく各事業での実績値をとりまとめ、年次報告書を毎年作成しています。年次報告書の中で「成果の目安」を掲載しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	行政推進会議開催回数:0回 (第2次やまと男女共同参画プラン策定委員会開催回数:1回)	行政推進会議開催回数:2回 (第2次やまと男女共同参画プラン策定委員会開催回数:9回)	行政推進会議開催回数:3回 (大和市男女共同参画懇話会開催回数:4回)	行政推進会議開催回数:4回 (大和市男女共同参画懇話会開催回数:4回)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	第2次やまと男女共同参画プランの進行管理のため、大和市男女共同参画懇話会を設け、広く市民の意見を求める体制を整えました。内部的には、男女共同参画行政推進会議を年3回開催し、プランの進捗状況について審議を行いました。		・大和市男女共同参画懇話会および男女共同参画行政推進会議を実施し、第2次やまと男女共同参画プランの進行管理のために庁内外から意見をいただきました。 ・また、第2次やまと男女共同参画プランの後期実施計画策定の資料とするため、25年度に男女共同参画に関する市民意識調査を実施しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 仕事と子育ての両立支援 個別目標(4)- : 次代の親の育成(再掲)

番号	41	事業名	男女共同参画意識啓発事業	所管・窓口	国際・男女共同参画課
----	----	-----	--------------	-------	------------

当初計画					
事業内容	啓発事業を実施することで、男女共同参画の意識の浸透・向上を図ります。				
今後の取り組み方針	公募市民や学識経験者の意見、先進自治体の事例などを参考にしながら、行政と市民が一体となった事業を展開していきます。				
指標値 (20年度実績値)	・啓発事業の開催回数:11回 ・情報誌の年間発行部数: 10,000部	21年度 実績値	・啓発事業の開催回数:10回 ・情報誌の年間発行部数: 10,000部	取り組み の方向	維持

進捗状況		印:要入力箇所				
「今後の取り組み方針」の状況	25年度は10月の市民セミナーを桜丘学習センターと共催で実施するほか、県立かながわ女性センターのDV気づき講座の1回を本市との共催として実施するなど、事業実施の方法を検討しました。今後も公募委員のやまと男女共同参画啓発事業企画運営委員と連携して事業を実施していきます。					
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
各年度実績値	・啓発事業の開催回数:8回 ・情報誌の年間発行部数:10,000部	・啓発事業の開催回数:9回 ・情報誌の年間発行部数:10,000部	・啓発事業の開催回数:8回 ・情報誌の年間発行部数:10,000部 (・FMやまとでの事業PR:4回) (・自治会会報誌でのPR:1回)	・啓発事業の開催回数:10回 ・情報誌の年間発行部数:10,000部 (・FMやまとでの事業PR:3回) (・自治会会報誌でのPR:1回)		
事業内容の質的改善事項	やまと男女共同参画意識啓発事業企画委員とともに、年間を通して、事業を実施しました。また、男女共同参画懇話会委員と行政推進会議AS会議メンバー対象の研修会を開催したほか、11月から、月1回職員向けの男女共同参画メールマガジンを発行し、職員向けの意識啓発に努めました。		評価対象年度 ・やまと男女共同参画意識啓発事業企画委員とともに、年間を通して、事業を実施しました。 ・また、人財課と連携し、女性職員を対象にしたキャリアデザイン研修を実施しました。			

評価ランク		印:要入力箇所	
実績値	C	事業内容	B

事務局処理	
1次評価	B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(1)- : 仕事と子育ての両立支援

番号	42	事業名	ワーク・ライフ・バランス啓発事業	所管・窓口	国際・男女共同参画課 産業活性課 こども総務課
----	----	-----	------------------	-------	-------------------------------

当初計画

事業内容	市内事業所の状況調査の実施や、市民・大規模事業所に対して多様な価値観やライフスタイルを受容できる職場や家庭が実現できるよう啓発事業などを実施します。					
今後の取り組み方針	市民や市内事業所がワーク・ライフ・バランスに取り組むよう啓発活動を実施していきます。また、推進組織の立ち上げを目指します。					
指標値 (22年度見込値)	啓発事業の回数:1回	21年度実績値	/		取り組みの方向	新規

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	25年度に実施した「大和市 男女共同参画に関する市民意識調査」では、ワーク・ライフ・バランスという言葉の認知度が49.5%で、前回21年度の44.0%と比べて増加しました。また、ワーク・ライフ・バランスを進める効果についても、肯定的な意見が約2倍に増えています。このような状況に鑑み、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発活動を継続して実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	啓発事業の回数: 2回	啓発事業の回数: 2回	啓発事業の回数: 4回	啓発事業の回数: 2回	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	第2次やまと男女共同参画プランの基本目標の4「仕事と生活の調和づくり」に基づき、市民及び職員向けにセミナー及びパネル展示を行いました。		イクメン(育児に積極的な男性)をテーマに男女共同参画フォーラムを実施し、ワーク・ライフ・バランスに関する内容も取り上げました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 外出しやすいまちづくりの推進

番号	43	事業名	鉄道輸送円滑化促進事業	所管・窓口	街づくり総務課
----	----	-----	-------------	-------	---------

当初計画

事業内容	鉄道輸送力の増強や駅施設の整備・改善を図り、バリアフリー化を進めるため、改善等を関係業界へ要望します。				
今後の取り組み方針	時代の変化に伴い、公共交通の必要性は今後さらに高まっていくため、鉄道事業者との連携を密にし、誰もが利用しやすい駅施設の整備、改善を要望していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・国への要望活動の回数:1回 ・県鉄道輸送力増強促進会議等の会議出席回数:6回	21年度 実績値	・国への要望活動の回数:1回 ・県鉄道輸送力増強促進会議等の会議出席回数:9回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	国や鉄道事業者に対し、神奈川県鉄道輸送力増強促進協議会を通じて、駅施設の改善や運行に関する要望活動を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・国への要望活動の回数:1回 ・県鉄道輸送力増強促進会議等の会議出席回数:9回	・国への要望活動の回数:1回 ・県鉄道輸送力増強促進会議等の会議出席回数:6回	・国への要望活動の回数:1回 ・県鉄道輸送力増強促進会議等の会議出席回数:7回	・国への要望活動の回数:1回 ・県鉄道輸送力増強促進会議等の会議出席回数:9回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	駅施設の改善要望活動を通じ、大和市内の全鉄道駅に内方線付き誘導ブロックが設置され、鉄道利用者の安全性が向上しました。		駅施設の改善要望活動を通じ、ホームからの転落や、列車との接触事故防止などを目的としたホームドアの設置に係わる実証実験を、東急田園都市線つきみ野駅にて行いました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 外出しやすいまちづくりの推進

番号	44	事業名	コミュニティバス運行事業	所管・窓口	街づくり総務課
----	----	-----	--------------	-------	---------

当初計画

事業内容	身近な移動手段を持たない子育て世帯を含む市民の移動手段の確保のため、現在の公共交通網を補完し、市内における地域間移動の円滑化を図ります。				
今後の取り組み方針	引き続き運行委託を行います。また事業効果を高めるため、ルートの見直し等により、市民の利用率及び利便性の向上を図ります。				
指標値 (20年度 指標値)	・バス運行本数: 8,395本 ・利用者数: 341,387人	21年度 実績値	・バス運行本数: 8,395本 ・利用者数: 330,828人	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・南北2ルートにおいて、コミュニティバス「のろっと」を運行しました。 ・既存コミュニティバスに係る再編検討調査を実施しました。 ・市内4地域において、新しいコミュニティバスの実験運行を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・バス運行本数: 8,395本 ・利用者数: 323,961人	・バス運行本数: 8,418本 ・利用者数: 322,542人	・バス運行本数: 8,395本 ・利用者数: 332,426人	・バス運行本数: 34,775本 ・利用者数: 375,072人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	ルート変更やバス停環境整備により、利便性の向上が図られました。		・再編検討調査により「のろっと」の更なる利便性向上と、運行の効率化を図るための見直し方針を定めることができました。 ・新しいコミュニティバスの実験運行では、多くの市民から好評を得るとともに、交通利便性の向上を促進すべき地域において、利便性の向上を図ることができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	A
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 外出しやすいまちづくりの推進

番号	45	事業名	地域公共交通施策事業	所管・窓口	街づくり総務課
----	----	-----	------------	-------	---------

当初計画

事業内容	公共交通不便地域の解消に向けた調査・実験運行を実施し、子育て世帯を含めた市民の交通利便性の向上に地域と協働で取り組みます。				
今後の取り組み方針	子育て世帯を含む市民の移動手段の確保を地域とともに推進し、地域で支えあう持続可能な新たな交通を創出します。				
指標値(20年度指標値)	ワークショップへの参加回数:3回	21年度実績値	ワークショップへの参加回数:2回	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・「大和市総合交通施策」の実現に向け、鉄道事業者との協議・調整を図るとともに、事業の実施に際して必要となる財源(社会資本整備総合交付金)の確保に向け、国・県との調整を図りました。 ・地域との協働による移動手段創出の取り組みに対し、車両の確保、燃料費の負担を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	ワークショップへの参加回数:1回	ワークショップ(意見交換会)への参加回数:1回 (庁内検討会:9回、地域公共交通会議:3回)	ワークショップ(地域交流会)への参加回数:1回 (地域でののりあい運営に関わる会議参加回数:24回)	ワークショップ(地域交流会)への参加回数:1回 (地域でののりあい運営に関わる会議参加回数:15回)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	地域による移動手段創出の取り組みに対する支援を通じて、地域コミュニティの活性化や地域の方々の外出機会の創出につながりました。		・鉄道事業者との度重なる協議・調整により、中央林間駅北口にバスベイが整備できる見込みとなりました。また、財源についても社会資本整備総合交付金の交付が受けられるよう調整を図ることができました。 ・地域による移動手段創出の取り組みに対する支援を通じて、地域コミュニティの活性化や地域の方々の外出機会の創出につながりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 外出しやすいまちづくりの推進

番号	46	事業名	建築物バリアフリー審査事務	所管・窓口	建築指導課
----	----	-----	---------------	-------	-------

当初計画

事業内容	不特定多数の利用者が利用する一定規模以上の公共的施設の建築主に対して、安全かつ快適に利用できるような施設整備を進めるよう指導・助言等を行います。				
今後の取り組み方針	子育て家庭をはじめ高齢者や障がい者などすべての人に配慮した建築空間、設備等を整備していくよう周知していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	事前協議件数:43件	21年度 実績値	事前協議件数:44件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	子育て家庭をはじめ高齢者や障がい者などすべての人に配慮した建築空間、設備等を整備するため、不特定多数の人が利用する一定規模以上の指定施設について、未協議者への催促と整備基準への適合に向け協議を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	事前協議件数:59 件	事前協議件数:34 件	事前協議件数:35 件	事前協議件数:44 件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 子どもの安全の確保

番号	47	事業名	街頭防犯カメラ整備事業	所管・窓口	生活あんしん課
----	----	-----	-------------	-------	---------

当初計画

事業内容	犯罪発生か所等における犯罪発生抑止と市民の安心感の向上のため、防犯カメラを設置します。				
今後の取り組み方針	街頭防犯カメラ設置後の効果を検証し、必要な場所に設置していきます。				
指標値(21年度見込値)	街頭防犯カメラを設置するか所数:1か所	21年度実績値	街頭防犯カメラを設置したか所数:3か所	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・小学校通学路に21か所43台、駅周辺(つきみ野、鶴間、相模大塚、桜ヶ丘、高座渋谷)に13か所26台、大規模(引地台、泉の森、ふれあいの森)に7か所14台設置しました。 ・通学路における児童の安全確保と犯罪発生を抑止を図ることができました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	街頭防犯カメラを設置したか所数:7か所	街頭防犯カメラを新規設置したか所数:2か所 設置したか所合計:12か所	街頭防犯カメラを新規設置したか所数:5か所 設置したか所合計:17か所	街頭防犯カメラを新規設置したか所数:41か所 設置したか所合計:58か所	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	中央林間駅及び大和駅周辺に街頭防犯カメラを5箇所10台設置したことにより、駅周辺の犯罪発生を抑止し、市民の体感治安が向上しました。市内に合計17箇所36台の街頭防犯カメラが設置されました。		街頭防犯カメラを小学校通学路に21か所43台、各駅周辺に13か所26台、大規模公園に7か所14台設置したことにより、通学路における児童の安全確保と犯罪発生を抑止を図ることができました。市内に合計箇所119台の街頭防犯カメラが設置されました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	A
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 子どもの安全の確保

番号	48	事業名	防犯灯整備支援事業	所管・窓口	生活あんしん課
----	----	-----	-----------	-------	---------

当初計画

事業内容	夜間安心して街を歩けるよう防犯灯を整備します。				
今後の取り組み方針	市内には、1万灯以上の防犯灯が設置されていることから、今後は老朽化した防犯灯の建て替え要望が多くなると予想され、その対応を検討します。				
指標値(20年度実績値)	・防犯灯の設置数、器具交換数:317灯 ・防犯灯総数:11,310灯	21年度実績値	・防犯灯の設置数、器具交換数:316灯 ・防犯灯総数:11,314灯	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市内には約1万2,000灯の防犯灯が設置されていますが、今後、CO2排出量及び電気使用量の削減と電気料抑制に向け、防犯灯の一括LED化を検討しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・防犯灯の設置数、器具交換数:329灯 ・防犯灯総数:11,533灯	・防犯灯の設置数、器具交換数:236灯 ・防犯灯総数:11,577灯	・防犯灯の設置数、器具交換数:389灯 ・防犯灯総数:11,770灯	・防犯灯の設置数、器具交換数:361灯 ・防犯灯総数:11,866灯	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	暗い箇所への効果的・効率的な防犯灯設置、交換事業を支援しました。また、助成金を活用し、省エネ・高効率化を図れるLED防犯灯の導入を支援しました。		・暗い箇所への効果的・効率的な防犯灯設置、交換事業を支援しました。 ・LED防犯灯への一括切り替えに向けた手法を検討しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 子どもの安全の確保

番号	49	事業名	地域防犯活動支援事業	所管・窓口	生活あんしん課
----	----	-----	------------	-------	---------

当初計画

事業内容	市・大和警察署や市防犯協会・市民らが一体となって、街頭キャンペーン・街頭パトロールなどを実施することで、防犯への取り組みや意識を高めます。				
今後の取り組み方針	子どもが犯罪に巻き込まれる事件が全国で連続して発生していることから、子どもの安全について、さらに取り組みを強化することを検討していきます。				
指標値(20年度実績値)	・重点地区防犯キャンペーン参加人数:472人 ・大和市防犯協会ニュース配布枚数:10,500部	21年度実績値	・重点地区防犯キャンペーン参加人数:493人 ・大和市防犯協会ニュース配布枚数:5,500部	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	子どもの安全を守るために、街頭防犯キャンペーンや防犯パトロールを実施しました。 市内で多発していた振込め詐欺や自転車盗防止のためのキャンペーンを実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・重点地区防犯キャンペーン参加人数:384人 ・大和市防犯協会ニュース配布枚数:2,000部	・重点地区防犯キャンペーン参加人数:633人 ・大和市防犯協会ニュース配布枚数:2,000部	・重点地区防犯キャンペーン参加人数:421人 ・大和市防犯協会ニュース配布枚数:2,000部	・重点地区防犯キャンペーン参加人数:814人 ・大和市防犯協会ニュース配布枚数:4,000部	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	・新一年生向け防犯マニュアルを市内全小学校(私立含む)へ配布しました。 ・地域、警察、防犯活動団体と連携した防犯キャンペーン、防犯パトロールを実施しました。		・新一年生向け防犯マニュアルを市内全小学校(私立含む)へ配布しました。 ・地域、警察、防犯活動団体と連携した防犯キャンペーン、防犯パトロールを実施しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 子どもの安全の確保

番号	50	事業名	地域防犯活動推進事業	所管・窓口	生活あんしん課
----	----	-----	------------	-------	---------

当初計画

事業内容	防犯教室や防犯活動の表彰などを通じ、市民一人ひとりの自主防犯意識の高揚を図ります。				
今後の取り組み方針	犯罪が年々巧妙化し、防犯対策について知識と技術の普及を図る必要があります。犯罪の発生状況を可能な限り公開し、効果的な防犯活動を推進していきます。				
指標値(20年度実績値)	防犯教室の実施回数:30回	21年度実績値	防犯教室の実施回数:17回	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・児童・生徒に誘拐防止などの防犯教室を実施し、防犯意識の高揚を図りました。 ・高齢者への振込め詐欺防止講話などの防犯教室を実施し、啓発活動を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	防犯教室の実施回数:25回	防犯教室の実施回数:25回	防犯教室の実施回数:33回	防犯教室の実施回数:35回	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	・前年度に引き続き、落書き消しを実施しました。 ・教職員を対象にした不審者侵入対策の防犯教室を実施しました。		・子どもと一緒に通学路などをパトロールし、危険箇所について啓発活動を実施しました。 ・教職員を対象にした不審者侵入対策の防犯教室を実施しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 子どもの安全の確保

番号	51	事業名	交通安全啓発事業	所管・窓口	道路安全対策課
----	----	-----	----------	-------	---------

当初計画

事業内容	歩き方教室・自転車教室・交通安全映画会などの開催や新入学児童全員に黄色い帽子を配布するなど交通安全に対する意識の啓発を行います。				
今後の取り組み方針	市内では、自転車関係事故の割合が高いことから、自転車利用者に対しての意識啓発を継続的に行っていきます。				
指標値(20年度実績値)	交通安全教室等参加人数:31,773人 黄色い帽子配付数:2,102人 (新入学児童数)	21年度実績値	交通安全教室等参加人数:33,590人 黄色い帽子配付数:2,084人 (新入学児童数)	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	交通安全教室(年間200回以上)などを実施することで、子どもやご両親への交通安全啓発を継続していきました。また、新入学児童に黄色い帽子を配布し、学校・家庭・地域が一体となって交通安全啓発を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	交通安全教室等参加人数:37,945人 黄色い帽子配付数:2,016人 (新入学児童数)	交通安全教室等参加人数:28,943人 黄色い帽子配付数:1,869人 (新入学児童数)	交通安全教室等参加人数:47,349人 黄色い帽子配付数:2,056人 (新入学児童数)	交通安全教室等参加人数:38,481人 黄色い帽子配付数:2,150人 (新入学児童数)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	教室等参加人数は増加しており、自転車利用者に対しての交通安全啓発を実施できました。特に、従来の教室で実施できていない市内中学生を対象に、スタントマンを活用した交通安全教室を実施できました。		教室等参加人数は減少していますが、スタントマンを活用した交通安全教室を継続して行い、また、新たに、小学生に対し、大和市自転車運転免許証を配布するなどして、自転車利用者に対する交通安全啓発に力を入れ実施した結果、交通人身事故に対する自転車事故割合は減りました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 子どもの安全の確保

番号	52	事業名	交通安全要望対策事業	所管・窓口	道路安全対策課
----	----	-----	------------	-------	---------

当初計画

事業内容	交通安全全般の要望を受け関係機関と調整を図り、その実現に努めます。また、児童の通学時の安全確保に努めます。				
今後の取り組み方針	市民の要望を交通管理者等と調整し、注意・啓発看板の設置を継続的に行っていく必要があります。				
指標値 (20年度実績値)	交通安全要望受付件数: 195件 通学路点検回数: 14回	21年度 実績値	交通安全要望受付件数: 192件 通学路点検回数: 16回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	児童の通学時の安全を確保するために、学校、地域などや市民から交通安全要望を受け、その実現に向けて関係機関との調整を図り、注意・啓発看板等を設置しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	交通安全要望受付件数: 174件 通学路点検回数: 17回	交通安全要望受付件数: 188件 通学路点検回数: 18回	交通安全要望受付件数: 225件(通学路点検を除く) 通学路点検回数: 22回	交通安全要望受付件数: 223件(通学路点検を除く) 通学路点検回数: 19回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	要望1件ごとの経過状況(対応記録、進捗度合)の管理方法を見直し、要望への対応を速やかに行うことができました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 子どもの安全の確保

番号	53	事業名	大和市社会を明るくする運動推進支援事業	所管・窓口	健康福祉総務課
----	----	-----	---------------------	-------	---------

当初計画

事業内容	社会を明るくする運動を展開することで、青少年の非行や犯罪のない明るい社会づくりを推進します。				
今後の取り組み方針	社会を明るくする運動は、全国的な取り組みであることから国・県と連携を図りつつ、更生保護及び犯罪防止につなげる活動として地域社会の実情に合わせた啓発活動を継続的に取り組んでいきます。				
指標値(20年度実績値)	・啓発事業実施数: 4回 ・啓発事業参加数: 858人	21年度実績値	・啓発事業実施数: 4回 ・啓発事業参加数: 1,165人	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	社会を明るくする運動は、全国的な取り組みであることから国・県と連携を図りつつ、更生保護及び犯罪防止につなげる活動として地域社会の実情に合わせた啓発活動を継続的に取り組んでいます。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・啓発事業実施数: 3回 ・啓発事業参加数: 1,155人	・啓発事業実施数: 3回 ・啓発事業参加数: 1,124人	・啓発事業実施数: 3回 ・啓発事業参加者: 966人	・啓発事業実施数: 3回 ・啓発事業参加者: 980人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	・キャンペーンは、オークシティで薬物乱用防止キャンペーンと合同で開催し、幅広い関係団体から協力を得て、効果的な活動ができました。 ・地区集会は、南部地区の活性化会議と連携し、新たな参加者に対して啓発を行うことができました。		・キャンペーンは、オークシティで薬物乱用防止キャンペーンと合同で開催し、幅広い関係団体から協力を得て、効果的な活動ができました。 ・地区集会は、引地台地区の活性化会議及び中央地区社会福祉協議会と連携し、新たな参加者に対して啓発を行うことができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 子どもの安全の確保

番号	54	事業名	交通安全施設整備事業	所管・窓口	道路安全対策課
----	----	-----	------------	-------	---------

当初計画

事業内容	道路の快適な通行、交通事故の防止を図るため、交差点や歩道の改良、カーブミラー、道路照明灯等の整備を行います。				
今後の取り組み方針	交通の円滑化と安全性の向上を目指し、安心して安全なまちづくりの観点から道路の危険箇所等に安全施設の整備を進めていきます。				
指標値(20年度指標値)	交通安全施設整備箇所:81か所	21年度実績値	交通安全施設整備箇所:84か所	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	交通事故防止の観点から、道路の危険箇所等に交差点や歩道の改良、道路照明灯、カーブミラー、道路区画線、道路反射鏡等の交通安全施設の整備・補修を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	交通安全施設整備箇所:90か所	交通安全施設整備箇所:79か所	交通安全施設整備箇所:120か所	交通安全施設整備箇所:147か所	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っていませんが、市民からの要望に応じた安全施設の整備を行いました。		特段、事業内容の質的改善は行っていませんが、市民からの要望に応じた安全施設の整備ができました。また、昨年より27件も交通安全施設の整備・補修箇所が増加しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 子どもの安全の確保

番号	55	事業名	不法占用の巡視及び撤去・改善・指導事務	所管・窓口	土木管理課
----	----	-----	---------------------	-------	-------

当初計画

事業内容	道路の不法占用のパトロールや放置車両の撤去などを行い、道路の健全な機能を維持します。				
今後の取り組み方針	撤去・処理件数は、放置車両・不法占用物件・不法投棄物とも減少傾向にあり、迅速に処理しています。今後も体制等を維持し適正に進めていきます。				
指標値 (20年度実績値)	・道路巡回パトロール日数:339日(年間) ・業者委託による不法占用物の撤去日数:91日(年間)	21年度実績値	・道路巡回パトロール日数:297日(年間) ・業者委託による不法占用物の撤去日数:78日(年間)	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	引き続き体制等を維持し、適正に進め、迅速に処理を進めています。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・道路巡回パトロール日数:298日(年間) ・業者委託による不法占用物の撤去日数:74日(年間)	・道路巡回パトロール日数:296日(年間) ・業者委託による不法占用物の撤去日数:47日(年間)	・道路巡回パトロール日数:313日(年間) ・業者委託による不法占用物の撤去日数:43日(年間)	・道路巡回パトロール日数:303日(年間) ・業者委託による不法占用物の撤去日数:53日(年間)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	撤去、処理件数は減少のまま横ばい傾向にあり、業者委託の日数を維持し、体制等の現状維持を確保できました。		道路巡回パトロールに日数は現象したものの、業者委託による、撤去、処理件数は増加したため、全体的には前年度と同様の日数と体制を確保できました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 子どもの安全の確保

番号	56	事業名	通学路指定・補修要望事務	所管・窓口	学校教育課
----	----	-----	--------------	-------	-------

当初計画

事業内容	児童生徒の登下校の安全を図るため、通学路の安全点検を行います。				
今後の取り組み方針	通学路の安全確保のため、交通管理者・道路管理者に交通安全対策を依頼し、児童生徒の登下校の安全を確保していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	通学路補修の実施件数:279件	21年度 実績値	通学路補修の実施件数:272 件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	交通管理者・道路管理者との連携を密にして、通学路上の危険箇所の改善に努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	通学路補修の実 施件数:175件	通学路補修の実 施件数:139件	通学路補修の実 施件数:145件	通学路補修の実 施件数:160件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	3小学校区において、都市施設部所管の「街ぐるみ総点検」のなかで、警察署や県土木事務所も交えた通学路点検を実施しました。また、夏季には、関係機関が一堂に会しての通学路緊急合同点検を実施しました。			事業内容の質的変更はありません。	

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(2)- : 子どもの安全の確保

番号	57	事業名	児童生徒安全対策事業	所管・窓口	指導室
----	----	-----	------------	-------	-----

当初計画

事業内容	児童生徒の安全性を向上させるためメール配信システムを活用し、不審者情報等を迅速に保護者へお知らせします。				
今後の取り組み方針	メール配信システム登録者が増加し、保護者に対するサービスが浸透してきました。今後も児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、より充実したサービスを目指します。				
指標値(20年度指標値)	システム利用登録者数 :10,931人	21年度実績値	システム利用登録者数 :12,055人	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	各学校では、学校PSメールの有効性を保護者に周知するとともに、1年間を通して登録を受け付けました。 教育委員会では、学校PSメールで発信する内容が、各家庭に伝わることが重要なことから登録者数の変化と同時に、平成24年度から登録世帯率についても調査するとともにより多くの世帯に情報が伝わるよう学校からも保護者へ加入の依頼を実施しました。 登録世帯率は平成24年度が81%に対し平成25年は86%となりました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	システム利用登録者数:13,080人	システム利用登録者数:16,012人	システム利用登録者数:17,128人	システム利用登録者数:18,379人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	不審者情報だけでなく、自然災害に伴う登下校の情報発信、さらに、学校行事や学校ごとの連絡事項などの有効な情報配信を行いました。		保護者に対して、学校PSメールで発信する情報の内容としては、不審者情報・登下校に関する情報や学校行事に関する情報など前年度と同様でした。 不審者情報など児童生徒の安全を守る必要がある内容については、生活あんしん課にも情報伝達できるように調整し市内パトロールに生かすことができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 医療体制の整備・充実

番号	58	事業名	休日夜間急患診療所運営事業	所管・窓口	健康づくり推進課
----	----	-----	---------------	-------	----------

当初計画

事業内容	休日及び夜間の内科・小児科の軽症患者に対して、大和市地域医療センター休日夜間急患診療所で適切な一次救急医療を確保します。				
今後の取り組み方針	二次救急医療の医師が不足する中、当センターの一次救急医療機関としての役割は特に重要になってきており、市民への適切な受診を周知するなども含めて対応していきます。				
指標値 (20年度実績値)	診療件数: 10,889件	21年度 実績値	診療件数: 16,515件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印: 要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	不要不急の受診を控えていただくために、子ども救急パンフレットを市内公共施設への配架や乳幼児健診、新生児訪問で配布し、意識啓発に努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	診療件数: 13,217件	診療件数: 12,725件	診療件数: 13,018件	診療件数: 12,586件	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	1~3月の混雑期に試験的に医師等を増員し、診療体制を充実しました。		前年度に試験的に実施した混雑期(1~3月)の医師増員を継続し、診療体制を充実しました。		

評価ランク

印: 要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 医療体制の整備・充実

番号	59	事業名	夜間診療所運営支援事業	所管・窓口	健康づくり推進課
----	----	-----	-------------	-------	----------

当初計画

事業内容	休日及び夜間に、内科・小児科の入院を必要とするような重症の救急患者に対して、病院群輪番制病院で適切な二次救急医療を確保します。				
今後の取り組み方針	小児救急患者の受入体制の充実が求められているため、引き続き円滑な制度の維持に向け、輪番制参加医療機関を支援します。				
指標値 (20年度実績値)	夜間診療受診者数:29,708人	21年度 実績値	夜間診療受診者数:27,871人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	二次救急医療の確保、充実のために、医療機関や他自治体と継続的に協議を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	夜間診療受診者数:27,717人	夜間診療受診者数:28,057人	夜間診療受診者数:27,214人	夜間診療受診者数:26,109人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	地域の基幹病院である市立病院の当番日を拡大しました。		海老名市、座間市及び綾瀬市との協議を行い、小児二次救急の広域運営を開始しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 医療体制の整備・充実

番号	60	事業名	休日歯科診療所運営支援事業	所管・窓口	健康づくり推進課
----	----	-----	---------------	-------	----------

当初計画

事業内容	休日の歯科救急患者への適切な医療を確保します				
今後の取り組み方針	歯科救急患者が安心して利用できる体制を維持するためにも、今後とも支援を継続します。また、市民への周知にも引き続き努めます。				
指標値 (20年度実績値)	・休日診療日数:72日 ・受診者数:359人	21年度 実績値	・休日診療日数:72日 ・受診者数:375人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	広報やまとや、市ホームページで広報を実施し、利用者への周知を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・休日診療日数: 71日 ・受診者数:347人	・休日診療日数: 71日 ・受診者数:351人	・休日診療日数: 72日 ・受診者数:358人	・休日診療日数: 71日 ・受診者数:314人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 医療体制の整備・充実

番号	61	事業名	健康相談・教育事業	所管・窓口	健康づくり推進課
----	----	-----	-----------	-------	----------

当初計画

事業内容	従来からの保健師や栄養士等による相談・教育・訪問指導に加え、市民からの健康・医療等に関する電話相談を医師や保健師等が24時間いつでも対応します。				
今後の取り組み方針	電話相談は平成21年12月から開始したため、有用性の検証をしながら充実させていきます。				
指標値 (21年度見込値)	電話相談件数:1,000件/月	21年度実績値	電話相談件数:2,096件/月	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	相談体制の充実を図るため、委託事業者との情報交換を適時行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	電話相談件数: 2,019件/月	電話相談件数: 2,022件/月	電話相談件数: 1,781件/月	電話相談件数: 1,623件/月	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 医療体制の整備・充実

番号	62	事業名	産科医等確保支援事業	所管・窓口	健康づくり推進課
----	----	-----	------------	-------	----------

当初計画

事業内容	産科医療機関に対して分娩取扱件数に応じた補助金を交付することで、産科医療機関の安定した経営を促進し、産科医等の確保を図ります。				
今後の取り組み方針	今後も国、県の制度に基づき事業を進めます。				
指標値 (21年度見込値)	分娩取扱件数:1,100件	21年度実績値	分娩取扱件数:557件	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	要綱に従って、補助金の交付を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	分娩取扱件数: 759件	分娩取扱件数: 379件	分娩取扱件数: 351件	分娩取扱件数: 350件	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援

番号	63	事業名	予防接種事業	所管・窓口	健康づくり推進課
----	----	-----	--------	-------	----------

当初計画					
事業内容	予防接種法に基づく各種予防接種を集団及び個別で実施し、疾病の発生及び蔓延を防止します。				
今後の取り組み方針	疾病の蔓延予防のため、さらに未接種者への周知・勧奨・指導が必要です。				
指標値 (20年度実績値)	予防接種者数: 25,616人	21年度 実績値	予防接種者数: 27,643人	取り組み の方向	充実

進捗状況		印:要入力箇所				
「今後の取り組み方針」の状況	ホームページや広報、予防接種情報提供サービス「らくらく予防接種」で接種に関する情報提供を行うとともに、各予防接種の接種対象者及び未接種者へに接種勧奨の個別通知を実施しました。今年度は風しんの流行があり、先天性風しん症候群発症予防のため妊娠を希望する女性と妊婦の夫に対して風しん予防接種の公費助成を行いました。また、HPV(子宮頸がん予防)ワクチン接種の積極的勧奨の一時差し控えに伴い、対象者に情報提供を行い、接種者に対しては接種後の状況調査を行いました。					
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
各年度実績値	予防接種者数: 39,452人	予防接種者数: 61,902人	予防接種者数: 75,687人	予防接種者数: 65,779人		
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度			
	・子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の継続、不活化ポリオ、4種混合の定期接種化等、制度の変更に合わせて個別通知や未接種通知を行い、適正な接種の実施について周知に努めました。 ・予防接種情報提供サービスを導入し、複雑化する予防接種スケジュールへの不安の軽減に努めました。		ヒブ、小児用肺炎球菌、HPV(子宮頸がん予防)ワクチンの定期接種化、BCGの接種対象年齢の拡大等、制度の急激な変更に対応して、ホームページ、広報、予防接種情報提供サービスでの情報提供や個別通知、医療機関への周知により適正な接種の実施について周知に努めました。			

評価ランク		印:要入力箇所	
実績値	A	事業内容	A

事務局処理	
1次評価	A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援

番号	64	事業名	永久歯萌出期歯科保健支援事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	----------------	-------	--------

当初計画

事業内容	4、5歳児とその保護者等を対象に大和歯科医師会が実施するむし歯予防の啓発活動に対して補助金を交付し、幼児期における歯科保健の充実を図ります。				
今後の取り組み方針	対象となる幼稚園等を毎年変えながら継続的に実施していくことで、むし歯予防の意識及びブラッシング技術を向上させていきます。				
指標値(20年度指標値)	むし歯予防講習会の回数:2回/年	21年度実績値	むし歯予防講習会の回数:2回/年	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	対象となるモデル幼稚園を毎年1園決め、1年目に幼稚園教諭を対象とした歯科指導者、2年目に永久歯が萌出する時期である4、5歳児とその保護者を対象とした歯科講習会を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	むし歯予防講習会の回数:2回/年	むし歯予防講習会の回数:2回/年	むし歯予防講習会の回数:2回/年	むし歯予防講習会の回数:2回/年	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	・大和歯科医師会が、モデル幼稚園の教諭及び4、5歳児とその保護者に対し、具体的なブラッシング方法等の歯科講習会を実施しました。 ・市栄養士が朝食の大切さやおやつのとおり方、噛む力を育むための工夫等、幼児期の食事について情報提供を行いました。		・大和歯科医師会が、モデル幼稚園の教諭及び4、5歳児とその保護者に対し、具体的なブラッシング方法等の歯科講習会を実施しました。 ・市栄養士が朝食の大切さやおやつのとおり方、噛む力を育むための工夫等、幼児期の食事について情報提供を行いました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援 個別目標(5)- : 子どもの権利擁護、児童虐待防止策の充実(再掲)

番号	65	事業名	妊産婦・新生児等訪問事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	--------------	-------	--------

当初計画

事業内容	生後4か月までの乳児がいる家庭と保健指導が必要な妊産婦や乳幼児のいる家庭を保健師等が訪問します。				
今後の取り組み方針	子育て家庭の孤立を防ぎ、地域の中で子どもが健やかに成長できる環境整備を図るため、生後4か月までの乳児がいる家庭に対して全戸訪問を目指します。				
指標値(20年度指標値)	・生後4か月までの乳児家庭訪問数:994人/年 ・家庭訪問件数:2,364件/年(延べ)	21年度実績値	・生後4か月までの乳児家庭訪問数:1,473人/年 ・家庭訪問件数:3,662件/年(延べ)	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・生後4か月までの乳児家庭の92.3%を訪問しました。未訪問家庭には、入院や里帰り期間が長く4か月児健診までに訪問できない家庭も含まれています。 ・1回の訪問で会えない家庭は複数回訪問を、また入院や里帰り期間が長い場合は、各家庭の状況により、里帰り先の市町村に訪問を依頼したり、退院後に訪問をする等の対応をしました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・生後4ヶ月までの乳児家庭訪問数:1,633人/年 ・家庭訪問件数:4,052件/年(延べ)	・生後4ヶ月までの乳児家庭訪問数:1,854人/年 ・家庭訪問件数:4,545件/年(延べ)	・生後4ヶ月までの乳児家庭訪問数:1,845人/年 ・家庭訪問件数:4,587件/年(延べ)	・生後4ヶ月までの乳児家庭訪問数:1,979人/年 ・家庭訪問件数:5,268件/年(延べ)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	・訪問により、支援が必要な子育て家庭については養育支援事業訪問等関係機関と連携し継続支援をしました。 ・訪問スタッフ研修会を年3回実施し、各スタッフの育児支援方法の質の向上に努めました。		・健診未受診者で訪問しても会えず、居住実態が確認できない家庭が11件あり、保育家庭課に情報提供し居住先の確認を行いました。 ・ケース検討会議の定例実施、訪問スタッフ研修会を年4回実施し、支援方法の質の向上等に努めました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援

番号	66	事業名	妊婦健康診査事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	----------	-------	--------

当初計画

事業内容	妊娠中に医療機関での受診を促すために、妊婦健康診査費用補助券を母子健康手帳と併せて交付し、妊娠期間中に14回公費で受診できるよう定額助成します。				
今後の取り組み方針	妊婦健康診査受診率の状況等を勘案し、助成内容を検討していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・母子健康手帳交付数:2,474件 ・妊婦健康診査受診率:94.9%	21年度 実績値	・母子健康手帳交付数:2,413件 ・妊婦健康診査受診率:96.5%	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	健診受診率の変動は、母子健康手帳交付後の流産や転出等さまざまな影響が考えられます。助成内容については、他市町村の助成状況等確認した上で前年度同様としました。 妊娠中の健康管理のため定期受診の必要性を母子健康手帳交付時等に繰り返し啓発しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・母子健康手帳交付数:2,329件 ・妊婦健康診査受診率:94.5%	・母子健康手帳交付数:2,308件 ・妊婦健康診査受診率:93.4%	・母子健康手帳交付数:2,318件 ・妊婦健康診査受診率:96.3%	・母子健康手帳交付数:2,327件 ・妊婦健康診査受診率:92.5%	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	・妊娠届出時や母親父親教室等で、定期健診の必要性や償還払い制度について啓発を継続実施しています。 ・母子管理システムの活用により、妊婦の受診状況の把握に努め、必要により関係機関と連携し必要な支援を行いました。		・定期健診の必要性について、妊娠届出時等に継続的な啓発を行いました。 ・母子健康手帳交付等により把握したハイリスク妊婦は、健診の受診状況の確認をし、必要により安心安全な出産に向け必要な支援を行いました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援

番号	67	事業名	4ヶ月児健康診査事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	------------	-------	--------

当初計画

事業内容	乳児の疾病の早期発見や発育発達等の健康状態の確認をするとともに、育児不安の解消を行います。				
今後の取り組み方針	実施受診率向上に努め、健診結果に伴う保健指導や情報提供を行います。				
指標値 (20年度 指標値)	・受診児数:2,168人 ・受診率:95.2%	21年度 実績値	・受診児数:2,144人 ・受診率:97.6%	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・受診率向上をめざし、個別通知による受診案内、再受診勧奨通知、未受診訪問時の勧奨を継続的に行いました。 ・健診後も安心して子育てができるよう、健診結果や各家庭の状況に合わせた助言や育児支援となるよう取り組みました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・受診児数:2,068人 ・受診率:98.0%	・受診児数:2,145人 ・受診率:96.6%	・受診児数:2,073人 ・受診率:96.2%	・受診児数:2,068人 ・受診率:96.6%	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	・受診者の待ち時間解消のために健診の流れを再度見直しました。 ・離乳食の始め方についてグループ指導に加え、実物の展示を始めました。 ・引き続き未受診者に対し、再受診勧奨通知を行い、その後に育児状況の確認を行いました。		外国人が乳幼児健診の通知であることを理解しやすいよう封書に4ヶ国語で明記したと共に、受診票やアンケート用紙の翻訳版(4ヶ国語)作成に取り組みました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援

番号	68	事業名	8ヶ月児健康診査事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	------------	-------	--------

当初計画

事業内容	協力医療機関にて乳児の発育、運動発達、精神発達や栄養状態等を診察し、健康状態の確認を行います。				
今後の取り組み方針	実施受診率向上に努め、健診結果に伴う保健指導や情報提供を行います。				
指標値 (20年度 指標値)	・受診児数:2,097人 ・受診率:92.5%	21年度 実績値	・受診児数:2,147人 ・受診率:93.6%	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・受診率向上をめざし、個別通知による受診案内、再受診勧奨通知、未受診訪問時の勧奨を継続的に行いました。 ・医療機関から報告された健診結果の内容から、必要により精密検査の受診勧奨や必要な育児支援を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・受診児数:2,030人 ・受診率:94.7%	・受診児数:2,099人 ・受診率:94.3%	・受診児数:2,106人 ・受診率:98.3%	・受診児数:2,050人 ・受診率:95.7%	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	再受診勧奨通知を行った上で、未受診者に対しては家庭訪問等により体調の確認を行いました。		外国人が乳幼児健診の通知であることを理解しやすいよう封書に4ヶ国語で明記したと共に、受診票やアンケート用紙の翻訳版(4ヶ国語)作成に取り組みました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援

番号	69	事業名	1歳6ヶ月児健康診査事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	--------------	-------	--------

当初計画

事業内容	疾病や発達面等支援の必要な幼児を早期に発見するとともに、早期の対応で健康を保持することができるように保健指導を行います。				
今後の取り組み方針	実施受診率向上に努め、健診結果に伴う保健指導や情報提供を行います。				
指標値(20年度指標値)	・健康診査受診率:91.9% ・歯科健康診査受診率:87.7%	21年度実績値	・健康診査受診率:90.2% ・歯科健康診査受診率:85.1%	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・受診率向上をめざし、個別通知による受診案内、再受診勧奨通知、未受診訪問時の勧奨を継続的に行いました。 ・健診後も安心して子育てができるよう、健診結果や各家庭の状況に合わせた助言や育児支援となるよう取り組みました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・健康診査受診率:91.1% ・歯科健康診査受診率:85.5%	・健康診査受診率:92.9% ・歯科健康診査受診率:88.1%	・健康診査受診率:92.7% ・歯科健康診査受診率:88.0%	・健康診査受診率:94.0% ・歯科健康診査受診率:90.9%	
事業内容の質的改善事項	・むし歯予防、歯みがきの習慣化を目的としたパンフレット(試供品付)を受診者に配布しました。 ・再受診勧奨通知を行った上で、未受診者に対しては家庭訪問等により体調の確認を行いました。		評価対象年度 ・受診者の待ち時間解消のために健診の流れを再度見直しました。 ・外国人が乳幼児健診の通知であることを理解しやすいよう封書に4ヶ国語で明記したと共に、受診票やアンケート用紙の翻訳版(4ヶ国語)作成に取り組みました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援

番号	70	事業名	3歳6ヶ月児健康診査事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	--------------	-------	--------

当初計画

事業内容	幼児の身体発育や精神発達等の確認により、支援の必要な幼児の早期発見や早期対応を行うとともに、保護者の育児不安の解消を図ります。				
今後の取り組み方針	実施受診率向上に努め、健診結果に伴う保健指導や情報提供を行います。				
指標値 (20年度 指標値)	・受診児数:1,733人 ・受診率:88.9%	21年度 実績値	・受診児数:1,809人 ・受診率:88.1%	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・受診率向上をめざし、個別通知による受診案内、再受診勧奨通知、未受診訪問時の勧奨を継続的に行いました。 ・健診後も安心して子育てができるよう、健診結果や各家庭の状況に合わせた助言や育児支援となるよう取り組みました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・受診児数:1,870人 ・受診率:90.2%	・受診児数:1,922人 ・受診率:91.7%	・受診児数:2,014人 ・受診率:93.0%	・受診児数:1,902人 ・受診率:93.4%	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	・受診者の待ち時間を活用し、栄養士、歯科衛生士による食育やむし歯予防のエプロンシアターを実施しました。 ・受診者の待ち時間解消のために健診の流れを再度見直しました。		・特に時間を要する一般健診(内科診察)の医師を2名から3名に増やし、診察体制を整えました ・外国人が乳幼児健診の通知であることを理解しやすいよう封書に4ヶ国語での明記に加え、受診票やアンケート用紙の翻訳版(4ヶ国語)作成に取り組みました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援

番号	71	事業名	経過検診事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	--------	-------	--------

当初計画

事業内容	各種健診の結果、心身の発達や疾病等の疑いのある乳幼児を診察し、また臨床心理士が適切に保健指導を継続して行います。				
今後の取り組み方針	診察する小児科医の確保に努め、月1回の経過検診を実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・経過検診回数:0回 ・こども(心理)相談回数:24回/ 年	21年度 実績値	・経過検診回数:5回/年 ・こども(心理)相談回数:24回/ 月	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	各種健診の結果から経過観察の必要な乳幼児に対し、小児科医による診察と助言を定期的に実施しました。 ・精神発達面について経過観察が必要な幼児に対し、臨床心理士による面接と助言を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・経過検診回数: 12回/年 ・こども(心理)相談 回数:24回/月	・経過検診回数: 12回/年 ・こども(心理)相談 回数:24回/月	・経過検診回数: 12回/年 ・こども(心理)相 談回数:24回/年	・経過検診回数: 12回/年 ・こども(心理)相 談回数:24回/年	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	経過観察の必要な乳幼児に対し、定例実施しました。		体重増加不良や首すわりやおすわり等の経過観察の必要な乳幼児に対し、定期的に行いました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

### 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援      個別目標(3)- : 食育の推進(再掲)

番号	72	事業名	母子保健相談指導事業	所管・窓口	こども総務課
----	----	-----	------------	-------	--------

#### 当初計画

事業内容	母体の健康管理を図り、安全な出産を迎えるため、また産後の生活の安定と乳幼児の育児面における情報の提供を行うことで、安定した生活が送れるように支援します。				
今後の取り組み方針	現在実施している各教室・相談の開催回数や開催内容の充実を図っていくとともに、乳幼児健診後のフォロー教室を新たに実施します。				
指標値 (20年度 指標値)	・母親父親教室参加者数:1,340人(延べ) ・もぐもぐ教室参加者数:319人 ・ぱくぱく教室参加者数:146人 ・2歳児歯科相談参加者数:317人	21年度 実績値	・母親父親教室参加者数:1,241人(延べ) ・もぐもぐ教室参加者数:346人 ・ぱくぱく教室参加者数:138人 ・2歳児歯科相談参加者数:288人	取り組み の方向	充実

#### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・むし歯の発生が多くなる時期に実施している2歳児歯科相談の対象の拡大や複数回利用も可能とし、利便性を高めました。また、おべんとう教室の実施会場を増やしました。 ・健診後の発達面のフォロー教室(おやこ教室)や育児相談(小児科医によるエコチル育児相談含む)を継続実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・母親父親教室参加者数:1,221人(延べ) ・もぐもぐ教室参加者数:346人 ・ぱくぱく教室参加者数:185人 ・2歳児歯科相談参加者数:328人	・母親父親教室参加者数:1,222人(延べ) ・もぐもぐ教室参加者数:306人 ・ぱくぱく教室参加者数:170人 ・2歳児歯科相談参加者数:294人	・母親父親教室参加者数:1,185人(延べ) ・もぐもぐ教室参加者数:433人 ・ぱくぱく教室参加者数:155人 ・2歳児歯科相談参加者数:316人	・母親父親教室参加者数:1,243人(延べ) ・もぐもぐ教室参加者数:358人 ・1歳児育児教室参加者数:244人 ・2歳児歯科相談参加者数:245人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	育児相談にどの地域からも参加しやすいように、会場を保健福祉センター、子育て支援センターの他に、渋谷学習センターでも実施しました。		ぱくぱく教室参加者へのアンケートにより、1歳前後の子を持つ親のニーズを確認し、教室の内容を充実しました。その上で名称も変更して、新たに「1歳児育児教室」として開催しました。		

#### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

#### 事務局処理

1次評価

B



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援      個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実(再掲)

番号	73	事業名	読書活動推進事業「ブックスタート事業」	所管・窓口	図書館
----	----	-----	---------------------	-------	-----

当初計画				
事業内容	親子のふれあいと本に親しんでもらうため、こども総務課で行う4か月児健診時に絵本と読み聞かせや子育てアドバイス集の入った「ブックスタートパック」をプレゼントします。			
今後の取り組み方針	単に配布するだけでなく、読み聞かせなどを行い、読書のよこびを伝えるとともに、絵本を通じた親子のふれあいの時間づくりを推進できるよう取り組みます。			
指標値 (22年度見込値)	絵本配布人数:2,200人	21年度実績値	取り組みの方向	新規

進捗状況		印:要入力箇所				
「今後の取り組み方針」の状況	・読み聞かせボランティアにより、4ヶ月児健診を受診した子どもと保護者に読み聞かせを実施しました。 ・絵本を通じた親子のふれあいの時間づくりのための情報を提供するとともに、図書館でのおはなし会や「こどもタイム」等の案内も行いました。					
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	
各年度実績値	絵本配布人数: 1,366人 8月から開始したため8か月分の実績です。	絵本配布人数: 2,123人	絵本配布人数: 2,051人	絵本配布人数: 2,053人		
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度			
	ボランティアのスキルアップを行い、より一層絵本を通じた親子のふれあいの時間が作られるよう取り組みました。		ボランティア登録者を増やし、より充実した絵本を通じた親子のふれあいの時間が作られるよう取り組みました。			

評価ランク		印:要入力箇所	
実績値	C	事業内容	B

事務局処理	
1次評価	B

(様式1)

### 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援      個別目標(4)- : 思春期保健対策の充実(再掲)

番号	74	事業名	生涯を通じた女性の保健相談等事業	所管・窓口	厚木保健福祉事務所大和センター(旧:大和保健福祉事務所)保健福祉課
----	----	-----	------------------	-------	-----------------------------------

#### 当初計画

事業内容	健康状態に応じ的確に自己管理を行い、生涯を通じた女性の健康の保持増進が図れるよう相談指導を行います。				
今後の取り組み方針	関係機関・関係職種と連携を図りながら継続して実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・健康教育回数:2回、参加人数147人(延べ) ・健康相談件数:21件(綾瀬市含む)	21年度 実績値	・健康教育回数:2回、参加人数103人(延べ) ・健康相談件数:41件(綾瀬市含む)	取り組み の方向	維持

#### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	関係機関・関係職種と連携を図りながら継続して実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・健康教育回数:1回、参加人数32人(延べ) ・健康相談件数:21件(綾瀬市含む)	・健康教育回数:1回、参加人数46人(延べ) ・健康相談件数:35件(綾瀬市含む)	・健康教育回数:1回、参加人数57人(延べ) ・健康相談件数:46件(綾瀬市分含む)	・健康教育回数:1回、参加人数47人 ・健康相談件数:25件(綾瀬市分含む)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	・専門相談は質的内容は現状維持できています。 ・健康教育は同じテーマが2年連続したので、次年度は分野を変更します。		・専門相談は、質的内容の改善は行っておらず、現状維持となりました。 ・健康教育は、思春期の栄養に焦点を当てて行いました。		

#### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

#### 事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援

番号	75	事業名	養育支援事業	所管・窓口	厚木保健福祉事務所大和センター(旧:大和保健福祉事務所)保健福祉課
----	----	-----	--------	-------	-----------------------------------

当初計画

事業内容	医療・福祉・教育等の関係機関と連携し、未熟児や長期療養を必要とする児童の訪問指導や養育相談、所内指導を行います。				
今後の取り組み方針	児童の健やかな発育・発達を促進させるため、関係機関と連携を図りながら、継続して実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	・訪問指導件数:未熟児178人、慢性疾患児15人 ・養育相談件数:親子ほっと相談81件、所内指導598件 ・集団指導回数:22回、参加人数468人(延べ)(綾瀬市含む)	21年度実績値	・訪問指導件数:未熟児200人、慢性疾患児64人 ・養育相談件数:親子ほっと相談121件、所内指導808件 ・集団指導回数:23回、参加人数610人(延べ)(綾瀬市含む)	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	母子保健法の未熟児の訪問指導が市町村に平成25年4月から移譲されたために、慢性疾患児の保健指導だけの対応となりました。児童の健やかな発育・発達を促進させるため、関係機関と連携を図りながら、継続して実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・訪問指導件数:未熟児301人、慢性疾患児14人 ・養育相談件数:親子ほっと相談93件、所内指導924件 ・集団指導回数:18回、参加人数427人(延べ)(綾瀬市含む)	・訪問指導件数:未熟児376人、慢性疾患児7人 ・養育相談件数:親子ほっと相談74件、所内指導908件(綾瀬市含む) ・集団指導回数:17回、参加人数364人(延べ)(綾瀬市含む)	・訪問指導件数:未熟児277人、慢性疾患児22人 ・養育相談件数:親子ほっと相談102件、所内指導915件(綾瀬市含む) ・集団指導回数15回:参加人数347人(延べ)(綾瀬市含む)	・訪問指導件数:慢性疾患児29件 ・養育相談件数:親子ほっと相談89件、所内指導160件(綾瀬市含む) ・集団指導回数1回:参加人数13人(他市含む)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		小児慢性特定疾患医療の初回申請時に保健師の相談案内チラシを渡し周知を図りました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援

番号	76	事業名	歯周疾患予防対策事業	所管・窓口	厚木保健福祉事務所大和センター(旧:大和保健福祉事務所)保健福祉課
----	----	-----	------------	-------	-----------------------------------

当初計画

事業内容	歯周疾患を予防し進行を防止するためのセルフケア技術や生活習慣に関わる知識の普及を行います。				
今後の取り組み方針	成人の歯科保健の向上を図るため、継続して事業を実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	妊婦・大人の歯ぐき検診開設回数:12回(綾瀬市含む)	21年度実績値	妊婦・大人の歯ぐき検診開設回数:10回(綾瀬市含む)	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市の母子歯科保健事業と連携を図りながら継続して実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	妊婦・大人の歯ぐき検診開設回数:10回(綾瀬市含む)	妊婦・大人の歯ぐき検診開設回数:12回(綾瀬市含む)	妊婦・大人の歯ぐき検診開設回数:9回(綾瀬市含む)	妊婦・大人の歯ぐき検診開設回数:9回(綾瀬市含む)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

### 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 子どもと親の健康支援

番号	77	事業名	重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業	所管・窓口	厚木保健福祉事務所大和センター(旧:大和保健福祉事務所)保健福祉課
----	----	-----	-------------------	-------	-----------------------------------

#### 当初計画

事業内容	重度う蝕(むし歯)につながるリスク要因を持っている幼児に対し、歯科保健指導やフッ化物を応用した予防等を行います。				
今後の取り組み方針	地域の重度う蝕幼児の減少を図るため、関係機関と連携しながら、今後も継続して事業を実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	・継続歯科検診開設回数:48回 ・受診者数:302人(延べ) (綾瀬市含む)	21年度実績値	・継続歯科検診開設回数:48回 ・受診者数:273人(延べ) (綾瀬市含む)	取り組みの方向	維持

#### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	地域の重度う蝕幼児の減少を図るため、関係機関と連携しながら、継続して事業を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・継続歯科検診開設回数:36回 ・受診者数:199人(延べ) (綾瀬市含む)	・継続歯科検診開設回数:28回 ・受診者数:245人(延べ) (綾瀬市含む)	・継続歯科検診開設回数:29回 ・受診者数:283人(延べ) (綾瀬市含む)	・継続歯科検診開設回数:27回 ・受診者数:209人(延べ) (綾瀬市含む)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

#### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

#### 事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 食育の推進

番号	78	事業名	農産物消費拡大推進事業	所管・窓口	農政課
----	----	-----	-------------	-------	-----

当初計画

事業内容	「米」や「大和で採れた野菜」などをテーマとした作文コンクールや親子料理教室を開催し、地場農産物の消費拡大を推進していきます。				
今後の取り組み方針	市民体験型イベントを通じて情報提供を行い、地産地消の視点も取り入れながら、食育についての理解、関心を深めていきます。				
指標値(20年度実績値)	・作文コンクール参加者数:615人 ・親子料理教室参加者数:38人	21年度実績値	・作文コンクール参加者数:592人 ・親子料理教室参加者数:28人	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・作文コンクールの開催を通して、地産地消の大切さと理解を深めてもらうことができました。 ・産業フェアでは地場農産物のPR活動を行い、更に関心を持ってもらうことができました。 ・親子料理教室では実際に野菜の収穫体験をし、本市で栽培されている野菜への理解と料理を通して親子の触れ合いを深めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・作文コンクール参加者数:603人 ・親子料理教室参加者数:26人	・作文コンクール参加者数:612人 ・親子料理教室参加者数:24人	・作文コンクール参加者数:669人 ・親子料理教室参加者数:15人	・作文コンクール参加者数:668人 ・親子料理教室参加者数:17人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的改善事項は特になく、現状維持となりました。		事業内容の質的改善事項は特になく、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 食育の推進

番号	79	事業名	保育所給食事業(市立保育所)	所管・窓口	保育家庭課
----	----	-----	----------------	-------	-------

当初計画

事業内容	市立保育所入園児童の健全な発育並びに健康の保持・増進のため、栄養士の立案した献立に基づき給食を提供します。				
今後の取り組み方針	地場野菜の提供等を通じ、公立保育所における食育の推進を図ります。				
指標値 (20年度 指標値)	・年間総給食数:215,545食 ・一日あたりおやつ提供数: 791食	21年度 実績値	・年間総給食数:187,004食 ・一日あたりおやつ提供数: 740食	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市立保育所入園児童の健全な発育並びに健康の保持・増進のため、栄養士の立案した献立に基づき給食を提供しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・年間総給食数: 193,866食 ・一日あたりおやつ 提供数:774食	・年間総給食数: 190,142食 ・一日あたりおやつ 提供数:742食	・年間総給食数: 187,209食 ・一日あたりおやつ 提供数:747食	・年間総給食数: 153,547食 ・一日あたりおやつ 提供数:608食	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	「子どもの食べたいメニュー」を各園で独自の提供方法で実施し、園児が「食」に興味を持てるような取り組みを行いました。		保育士を中心に保育園職員に対してアンケートを実施し、保護者の食事作りの負担感を削減する提案用資料となる「子育て中の簡単食育術」を作成しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 食育の推進

番号	80	事業名	学校給食食育推進事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	------------	-------	-------

当初計画

事業内容	学校給食における食育を推進するため、学校給食の環境整備として、食器及び食器具の改善や米飯給食の回数増などに取り組みます。また研修会等を実施します。				
今後の取り組み方針	学校給食は健全で豊かな人間性を育むための大きな要素であるため、食育のあり方について学校現場との連携を密にして事業の推進を図ります。				
指標値(21年度見込値)	・学校給食展開催日数:3日 ・1週間あたり米飯給食実施回数:2.2回程度	21年度実績値	・学校給食展開催日数:3日 ・1週間あたり米飯給食実施回数:2.23回	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	給食展の開催や食に関する指導リーフレットの作成等を通じて学校現場と連携を図り、食育推進に取り組みました。 米飯に合う和風献立の充実を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・学校給食展開催日数:3日 ・1週間あたり米飯給食実施回数:3.59回	・学校給食展開催日数:3日 ・1週間あたり米飯給食実施回数:3.86回	・学校給食展開催日数:3日 ・1週間あたり米飯給食実施回数:4回	・学校給食展開催日数:3日 ・1週間あたり米飯給食実施回数:4回	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	給食時間における食に関する指導を充実させるため、学校現場と連携を図り、指導用リーフレットを作成しました。		学校での食育指導充実を図るため、大学の准教授と連携し、大和市独自の食に関する指導のリーフレットpart2を作成しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 食育の推進

番号	81	事業名	北部学校給食共同調理場運営事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	-----------------	-------	-------

当初計画

事業内容	調理場における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理を図ります。				
今後の取り組み方針	安全で、栄養のバランスのとれた給食を提供することで、児童生徒の健康増進、体格の向上を図ります。				
指標値 (20年度 指標値)	・小学校給食の実施回数: 185回 ・中学校給食の実施回数: 180回	21年度 実績値	・小学校給食の実施回数: 184回 ・中学校給食の実施回数: 179回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印: 要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	給食は、小学校190回、中学校185回実施し、児童生徒の健康増進を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・小学校給食の実施回数: 180回 ・中学校給食の実施回数: 173回	・小学校給食の実施回数: 184回 ・中学校給食の実施回数: 179回	・小学校給食の実施回数: 191回 ・中学校給食の実施回数: 186回	・小学校給食の実施回数: 190回 ・中学校給食の実施回数: 185回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	新教育課程に伴う授業時間数の増加に合わせて、年間給食実施回数を小中学校ともに6回ずつ増やしました。		バランスの良い給食の提供とともに、児童・生徒の希望を取り入れた「希望献立」「セレクト給食」の採用、学校の訪問により喫食を促しました。		

評価ランク

印: 要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 食育の推進

番号	82	事業名	中部学校給食共同調理場運営事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	-----------------	-------	-------

当初計画

事業内容	調理場における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理を図ります。				
今後の取り組み方針	安全で、栄養のバランスのとれた給食を提供することで、児童生徒の健康増進、体格の向上を図ります。				
指標値 (20年度 指標値)	・小学校給食の実施回数:185回 ・中学校給食の実施回数:180回	21年度 実績値	・小学校給食の実施回数:184回 ・中学校給食の実施回数:178回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	給食は、小学校190回、中学校185回実施し、児童生徒の健康増進を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・小学校給食の実施回数:181回 ・中学校給食の実施回数:173回	・小学校給食の実施回数:184回 ・中学校給食の実施回数:179回	・小学校給食の実施回数:191回 ・中学校給食の実施回数:186回	・小学校給食の実施回数:190回 ・中学校給食の実施回数:185回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	新教育課程に伴う授業時間数の増加に合わせて、年間給食実施回数を小中学校ともに6回ずつ増やしました。		バランスの良い給食の提供とともに、喫食を促すため学校訪問の回数を増やし、児童生徒の給食の好みを積極的に献立に反映しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 食育の推進

番号	83	事業名	南部学校給食共同調理場運営事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	-----------------	-------	-------

当初計画

事業内容	調理場における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理を図ります。				
今後の取り組み方針	安全で、栄養のバランスのとれた給食を提供することで、児童生徒の健康増進、体格の向上を図ります。				
指標値 (20年度 指標値)	・小学校給食の実施回数:185回 ・中学校給食の実施回数:180回	21年度 実績値	・小学校給食の実施回数:184回 ・中学校給食の実施回数:180回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	給食は、小学校190回、中学校185回実施し、児童生徒の健康増進を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・小学校給食の実施回数:182回 ・中学校給食の実施回数:173回	・小学校給食の実施回数:184回 ・中学校給食の実施回数:179回	・小学校給食の実施回数:191回 ・中学校給食の実施回数:186回	・小学校給食の実施回数:190回 ・中学校給食の実施回数:185回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	新教育課程に伴う授業時間数の増加に合わせて、年間給食実施回数を小中学校ともに7回ずつ増やしました。		学校訪問の回数を増やし、児童生徒の給食の好みを積極的に献立に反映しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 食育の推進

番号	84	事業名	給食共同調理場施設維持管理事務	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	-----------------	-------	-------

当初計画

事業内容	学校給食の衛生面、安全性を確保するため、施設を適切に維持管理します。				
今後の取り組み方針	学校給食共同調理場の衛生管理の改善・充実を図るために、施設設備の点検・維持管理を実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	食品衛生監視票の合計点数: 300点 (1施設100点×3施設)	21年度 実績値	食品衛生監視票の合計点数: 300点 (1施設100点×3施設)	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	定期的な自主衛生検査強化により、衛生管理の改善・充実を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	食品衛生監視票 の合計点数:297 点 (1施設100点×3 施設)	食品衛生監視票 の合計点数:295 点 (1施設100点×3 施設)	食品衛生監視票 の合計点数:300 点 (1施設100点×3 施設)	食品衛生監視票 の合計点数:300 点 (1施設100点×3 施設)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	衛生的に管理されており、指摘事項もなかった。		衛生的に管理されており、指摘事項もありませんでした。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 食育の推進

番号	85	事業名	単独調理校運営事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	-----------	-------	-------

当初計画

事業内容	単独調理校8校(小学校)における給食調理業務が円滑に実施されるように、適切な運営管理を図ります。				
今後の取り組み方針	単独調理校の業務委託の拡大について、今後も引き続き慎重な調整をしていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	小学校給食の実施回数:185回	21年度 実績値	小学校給食の実施回数:184回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	単独調理校の業務委託の拡大については、慎重な調整をしています。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	小学校給食の実施回数:182回	小学校給食の実施回数:184回	小学校給食の実施回数:191回	小学校給食の実施回数:190回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	一年を通じて安定した給食を提供することができました。		一年を通じて安定した給食を提供することができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 食育の推進

番号	86	事業名	受入校運営事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	---------	-------	-------

当初計画

事業内容	受入校が給食業務を円滑に実施できるように、適切な運営管理を図ります。				
今後の取り組み方針	安全で、栄養のバランスのとれた給食を提供することで、児童生徒の健康増進、体格の向上を図ります。				
指標値 (20年度 指標値)	・小学校給食の実施回数:185 回 ・中学校給食の実施回数:180 回	21年度 実績値	・小学校給食の実施回数:184 回 ・中学校給食の実施回数:180 回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	安全で、栄養のバランスのとれた給食を提供するため、引き続きバランスよく栄養素をとれる献立のもと、地産池消の取り組みや、季節の食材を使った行事食の提供などを行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・小学校給食の実 施回数:182回 ・中学校給食の実 施回数:173回	・小学校給食の実 施回数:184回 ・中学校給食の実 施回数:179回	・小学校給食の実 施回数:191回 ・中学校給食の実 施回数:186回	・小学校給食の実 施回数:190回 ・中学校給食の実 施回数:185回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	一年を通じて安定した給食を提供することができました。		一年を通じて安定した給食を提供することができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(3)- : 食育の推進

番号	87	事業名	学校給食施設大規模改修事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	---------------	-------	-------

当初計画

事業内容	学校給食施設の大規模な改修を行い、安全で良質な学校給食を提供します。				
今後の取り組み方針	建物を適切に管理運営していくために「第8次大和市総合計画 実施計画」に基づき改修していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	大規模改修件数:1件	21年度 実績値	大規模改修件数:1件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	大和市立上和田小学校ほか2校の給食用エレベーターの補修と中部学校給食共同調理場の受変電設備の更新を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	大規模改修件数: 1件	大規模改修件数: 1件	大規模改修件数: 2件	大規模改修件数: 2件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	88	事業名	図書ボランティア養成講座事業	所管・窓口	図書館
----	----	-----	----------------	-------	-----

当初計画

事業内容	子どもたちに読書の喜びや楽しさを伝えるために、読み聞かせやストーリーテリング等を行う市民ボランティアを養成し、読書活動の推進を図ります。				
今後の取り組み方針	学校等での読書活動の推進を実践できるボランティアの養成を今後も実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	読み聞かせボランティア養成講座の参加人数:146人	21年度実績値	読み聞かせボランティア養成講座の参加人数:160人	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	さまざまな場で読書活動を推進するボランティアを育成しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	読み聞かせボランティア養成講座の参加人数:260人	読み聞かせボランティア養成講座の参加人数:288人	読み聞かせボランティア養成講座の参加人数:157人	読み聞かせボランティア養成講座の参加人数:201人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	既に活動しているボランティアのスキルアップが図られるよう、プログラムと講師依頼先を熟考の上決定し、実施しました。		初めてボランティアとして活動する方、既にボランティアとして活動している方、それぞれに必要な技術・知識が得られるよう、プログラムと講師依頼先を熟考の上決定し、実施しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	89	事業名	小学校大規模改修事業	所管・窓口	教育総務課
----	----	-----	------------	-------	-------

当初計画

事業内容	児童及び学校関係者の学校生活における教育環境の向上を図ります。				
今後の取り組み方針	老朽化した施設(トイレ、給水設備、屋上防水、プールの過装置等)の整備を行います。				
指標値 (20年度 指標値)	改修件数:6件	21年度 実績値	改修件数:8件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・トイレ改修(湿式から乾式への改修等):4件 ・屋上防水改修:2件 ・特別教室改修:2件 ・擁壁改修:1件 ・門扉・フェンス改修:1件				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	改修件数:7件	改修件数:10件	改修件数:11件	改修件数:10件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	学校建物および諸設備等の老朽化に伴う改修及び新設されたことにより、教育環境の向上が図られました。		学校建物および諸設備等の老朽化に伴う改修及び新設されたことにより、教育環境の向上が図られました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	A
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	90	事業名	中学校大規模改修事業	所管・窓口	教育総務課
----	----	-----	------------	-------	-------

当初計画

事業内容	生徒及び学校関係者の学校生活における教育環境の向上を図ります。				
今後の取り組み方針	老朽化した施設(トイレ、給水設備、屋上防水、プールろ過装置等)の整備を行います。				
指標値 (20年度 指標値)	改修件数:4件	21年度 実績値	改修件数:2件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・トイレ改修(湿式から乾式への改修等):1件 ・受変電設備改修:1件				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	改修件数:3件	改修件数:4件	改修件数:5件	改修件数:2件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	学校建物および諸設備等の老朽化に伴う改修及び新設されたことにより、教育環境の向上が図られました。		学校建物および諸設備等の老朽化に伴う改修及び新設されたことにより、教育環境の向上が図られました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	A
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	91	事業名	就学時健康診断事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	-----------	-------	-------

当初計画

事業内容	新入学児童を対象に健康診断と面接を実施し、健康状態の把握と疾病の早期発見を図ります。また、健康面などで配慮が必要な児童の適切な就学を図ります。				
今後の取り組み方針	継続的に事業を行っていくためにも、学校嘱託医との協力関係が保てるよう、連携を図っていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	就学時健康診断の実施数:19校	21年度 実績値	就学時健康診断の実施数:19校	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	医師会、歯科医師会からの協力が得られるよう連携調整を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	就学時健康診断 の実施数:19校	就学時健康診断 の実施数:19校	就学時健康診断 の実施校:19校	就学時健康診断 の実施校:19校	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	92	事業名	児童健康管理事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	----------	-------	-------

当初計画

事業内容	学校医等による健康診断を実施し、疾病の早期発見と予防、健康の保持増進を図ります。				
今後の取り組み方針	今後も学校の設置者として、学校保健の充実に努め、児童の健康保持増進を図っていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	検診回数:76回 (尿検査、心臓検診、寄生虫、 結核検診実施回数×実施校)	21年度 実績値	検診回数:76回 (尿検査、心臓検診、寄生虫、 結核検診実施回数×実施校)	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	学校保健の充実に努めるため、児童の健康保持増進を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	検診回数:76回 (尿検査、心臓検診、寄生虫、結核 検診実施回数× 実施校)	検診回数:76回 (尿検査、心臓検診、寄生虫、結核 検診実施回数× 実施校)	検診回数:76回 (尿検査、心臓検診、寄生虫、結核 検診実施回数× 実施校)	検診回数:76回 (尿検査、心臓検診、寄生虫、結核 検診実施回数× 実施校)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	93	事業名	生徒健康管理事業	所管・窓口	保健給食課
----	----	-----	----------	-------	-------

当初計画

事業内容	学校医等による健康診断を実施し、疾病の早期発見と予防、健康の保持増進を図ります。				
今後の取り組み方針	今後も学校の設置者として、学校保健の充実に努め、生徒の健康保持増進を図っていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	検診回数:27回 (尿検査、心臓検診、結核検診 実施回数×実施校)	21年度 実績値	検診回数:27回 (尿検査、心臓検診、結核検診 実施回数×実施校)	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	学校保健の充実に努めるため、生徒の健康保持増進を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	検診回数:27回 (尿検査、心臓検 診、結核検診実施 回数×実施校)	検診回数:27回 (尿検査、心臓検 診、結核検診実施 回数×実施校)	検診回数:27回 (尿検査、心臓検 診、結核検診実施 回数×実施校)	検診回数:27回 (尿検査、心臓検 診、結核検診実施 回数×実施校)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	94	事業名	小学校行事等支援事業	所管・窓口	指導室
----	----	-----	------------	-------	-----

当初計画

事業内容	児童が心豊かな人間性を育めるよう自然にふれたり、優れた芸術に接したりする機会を提供します。				
今後の取り組み方針	新学習指導要領では体験活動が重視され、またふれあい教育の視点からも、各種行事は大切な教育活動と位置付けられています。今後も子どもたちへの豊かな体験活動を継続して実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	・野外キャンプ実施校:19校 ・芸術鑑賞実施校:17校	21年度実績値	・野外キャンプ実施校:19校 ・芸術鑑賞実施校:15校	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	体験学習を実施することは児童の成長に大きく影響をもたらし、重要な機会であります。教育委員会では、本物に触れる機会を推進するため、補助金の交付や専門性を持った方の情報をまとめた学校支援ボランティアバンクの冊子を各学校へ配付しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・野外キャンプ実施校:19校 ・芸術鑑賞実施校:16校 ・美術鑑賞実施校:4校	・野外キャンプ実施校:19校 ・芸術鑑賞実施校:17校 ・美術鑑賞実施校:10校	・野外キャンプ実施校:19校 ・芸術鑑賞実施校:19校 ・美術鑑賞実施校:7校	・野外キャンプ実施校:19校 ・芸術鑑賞実施校:19校(補助18校) ・美術鑑賞実施校:10校	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	体験学習の重要性が求められている中、本物を見る、聴く、触れるなど、芸術鑑賞や対話型美術鑑賞・キャンプなど積極的に取り組みました。		・美術鑑賞教育は、まず本校でアートシャベルから芸術品の見方などレクチャーを受けました。 ・その後、美術館に向き学習する方法と本校に作品を持ち込んでもらい学習する方法があり、時間的に厳しい学校でも取り組めるよう工夫しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

### 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	95	事業名	中学校行事等支援事業	所管・窓口	指導室
----	----	-----	------------	-------	-----

#### 当初計画

事業内容	生徒が心豊かな人間性を育めるよう、自然にふれたり、優れた芸術に接したりする機会を提供します。				
今後の取り組み方針	新学習指導要領では体験活動が重視され、またふれあい教育の視点からも、各種行事は大切な教育活動と位置付けられています。今後も子どもたちへの豊かな体験活動を継続して実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・野外キャンプ実施校:9校 ・芸術鑑賞実施校:9校	21年度 実績値	・野外キャンプ実施校:9校 ・芸術鑑賞実施校:7校	取り組み の方向	維持

#### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	体験学習を実施することは生徒の成長に大きく影響をもたらし、重要な機会であります。教育委員会では、本物に触れる機会を推進するため、補助金の交付や専門性を持った方の情報をまとめた学校支援ボランティアバンクの冊子を各学校へ配付しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・野外キャンプ実施校:9校 ・芸術鑑賞実施校:8校	・野外キャンプ実施校:9校 ・芸術鑑賞実施校:9校	・野外キャンプ実施校:9校 ・芸術鑑賞実施校:8校	・野外キャンプ実施校:9校 ・芸術鑑賞実施校:9校(補助8校)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	体験学習の重要性が求められている中、本物を見る、聴く、触れるなど、芸術鑑賞やキャンプなど積極的に取り組みました。		芸術鑑賞においては、各学校の計画の下、団体や内容を選択していますが、教育委員会からも鑑賞できる団体の内容や補助について情報提供を行いました。		

#### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

#### 事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	96	事業名	中学校部活動等支援事業	所管・窓口	指導室
----	----	-----	-------------	-------	-----

当初計画

事業内容	中学校の部活動の振興を図るため学校外から指導者を派遣し、顧問とともに指導にあたり生徒の体力向上や社会性を養います。				
今後の取り組み方針	生徒の心身の健全な発達を図るため、継続して実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	学校外からの指導者の人数: 36人	21年度実績値	学校外からの指導者の人数: 36人	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	部活動振興のため全中学校、及び大和市中学校体育連盟に補助金を交付しました。 部活動の地域指導者へ謝礼を支給しました。 全国大会や関東大会への出場にかかる旅費等を支給しました。 各中学校に対して、部活動の指導可能な方の名簿を冊子として配付しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	学校外からの指導者の人数:36人	学校外からの指導者の人数:30人	学校外からの指導者の人数:30人	学校外からの指導者の人数:30人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	部活動に関する指導者や選手に対して、補助を行い活動の支援ができました。		部活動に関する指導者や選手に対して、補助を行い活動の支援ができました。 各中学校に対して、部活動の指導可能な方の名簿を冊子として配付しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	97	事業名	小学校地域教育力活用推進事業	所管・窓口	指導室
----	----	-----	----------------	-------	-----

当初計画

事業内容	学校評議員制度を始め、地域の人材を積極的に活用し、家庭・地域と一体となって開かれた学校運営を図ります。				
今後の取り組み方針	地域ボランティアを学校教育の中で活用し、学校の活性化と教育目標の達成に努めていきます				
指標値(20年度指標値)	・学校評議員の人数:110人 ・夏休み子どもまなびや事業ボランティア人数:133人	21年度実績値	・学校評議員の人数:110人 ・夏休み子どもまなびや事業ボランティア人数:127人	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	教育委員会で作成した学校支援ボランティア人材バンクのファイルを各学校へ配付しました。各学校では、自校のニーズに合った人材の発掘に利用し、是前授業などを依頼するケースもありました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・学校評議員の人数:110人 ・夏休み子どもまなびや事業ボランティア人数:145人	・学校評議員の人数:111人 ・夏休み子どもまなびや事業ボランティア人数:166人	・学校評議員の人数:112人 ・夏休み子どもまなびや事業ボランティア人数:180人	・学校評議員の人数:111人 ・夏休み子どもまなびや事業ボランティア人数:160人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	学校間の差は若干ありますが、地域の人材を活用した出前授業が活発に行なわれました。(1校平均が、延べ24.6人)		出前授業については、1校平均25.0人と若干上昇しているものの、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	98	事業名	中学校地域教育力活用推進事業	所管・窓口	指導室
----	----	-----	----------------	-------	-----

当初計画

事業内容	学校評議員制度を始め、地域の人材を積極的に活用し、家庭・地域と一体となって開かれた学校運営を図ります。				
今後の取り組み方針	地域ボランティアを学校教育の中で活用し、学校の活性化と教育目標の達成に努めていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	学校評議員の人数:45人	21年度 実績値	学校評議員の人数:44人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	教育委員会で作成した学校支援ボランティア人材バンクのファイルを各学校へ配付しました。各学校では、自校のニーズに合った人材の発掘に利用し、是前授業などを依頼するケースもありました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	学校評議員の人数:44人	学校評議員の人数:45人	学校評議員の人数:46人	学校評議員の人数:44人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	キャリア教育の一環として、地域の方を招いての職業講話や地域の店舗での職場体験など積極的に行いました。		学校評議員会では、年度末に学校教育活動の評価等の報告が行なわれ、適切な助言をいただくことができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	99	事業名	小学校院内学級運営事業	所管・窓口	指導室
----	----	-----	-------------	-------	-----

当初計画

事業内容	大和市立病院に入院している児童の教育機会を保障するため院内学級を開設します。				
今後の取り組み方針	教育を受ける権利を確保し、自己実現を図るため、今後も院内学級での教育活動を充実させていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	院内学級在籍児童数:0人	21年度 実績値	院内学級在籍児童数:1人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	児童の入院中の教育を保障するとともに、対象児童の病状に配慮して事業を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	院内学級在籍児童数:3人	院内学級在籍児童数:4人	院内学級在籍児童数:7人	院内学級在籍児童数:1人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	対象児童数が増加したものの、各児童に対して決め細やかに指導することができました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	100	事業名	中学校院内学級運営事業	所管・窓口	指導室
----	-----	-----	-------------	-------	-----

当初計画

事業内容	大和市立病院に入院している生徒の教育機会を保障するため院内学級を開設します。				
今後の取り組み方針	教育を受ける権利を確保し、自己実現を図るため、今後も院内学級での教育活動を充実させていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	院内学級在籍生徒数:0人	21年度 実績値	院内学級在籍生徒数:1人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	入院中の教育を保障するとともに、病状に配慮して事業を実施します。 平成25年度は対象生徒はいませんでした。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	院内学級在籍生徒数:1人	院内学級在籍生徒数:0人	院内学級在籍生徒数:0人	院内学級在籍生徒数:0人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	101	事業名	英語教育推進事業	所管・窓口	指導室
----	-----	-----	----------	-------	-----

当初計画

事業内容	児童生徒の英語のコミュニケーション能力の向上をはじめ、国際化社会に対応した英語教育を推進します。				
今後の取り組み方針	平成23年度の小学校外国語活動の本格実施にむけ、平成22年度は小学5,6年生を対象に外国語活動指導助手を派遣していきます。				
指標値(20年度指標値)	・外国語活動指導助手の人数:5人(小学校) ・英語指導助手の人数:3人(中学校)	21年度実績値	・外国語活動指導助手の人数:5人(小学校) ・英語指導助手の人数:3人(中学校)	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	小学校外国語活動では、綿密な打ち合わせのもとすべて、担任と外国語活動指導助手による授業で、1年生から4年生まで年間5時間、5,6年生に関しては年間35時間、実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・外国語活動指導助手の人数:7人(小学校) ・英語指導助手の人数:3人(中学校)	・外国語活動指導助手の人数:7人(小学校) ・英語指導助手の人数:3人(中学校)	・外国語活動指導助手の人数:7人(小学校) ・英語指導助手の人数:3人(中学校)	・外国語活動指導助手の人数:7人(小学校) ・英語指導助手の人数:3人(中学校)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	小学校では担任と外国語活動指導助手が、中学校では教科担当教諭と英語指導助手が、綿密な打ち合わせを行い質の高い授業を展開しました。		・小中学校の連携や外国語活動指導助手及び英語指導助手対象の研修などを通し、発達段階に応じた外国語教育としてのねらいを明確にしました。 ・小学校でコミュニケーション能力の素地を中学校でその基礎を定着させました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	102	事業名	小学校図書館用図書整備事業	所管・窓口	指導室
----	-----	-----	---------------	-------	-----

当初計画

事業内容	学校図書館の機能を十分発揮できるよう、蔵書の充実を図ります。				
今後の取り組み方針	国が定める学校図書館図書標準に基づき計画的に図書を購入します。				
指標値 (20年度 指標値)	学校図書館蔵書数(19校) :209,745冊	21年度 実績値	学校図書館蔵書数(19校) :193,542冊	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	国の定める学校図書館図書標準に基づき図書を整備しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	学校図書館蔵書 数(19校) :189,049冊	学校図書館蔵書 数(19校) :188,703冊	学校図書館蔵書 数(19校) :189,202冊	学校図書館蔵書 数(19校) :211,122冊	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	蔵書率100%に到達しないものの、児童にとって興味深い図書、価値のある図書や調べ学習などに適した図書を取り揃えることができました。		蔵書の新鮮度を高め、ほとんどの小学校で蔵書率100%に到し、児童にとって興味深い図書、価値のある図書や調べ学習などに適した図書を取り揃えることができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	103	事業名	中学校図書館用図書整備事業	所管・窓口	指導室
----	-----	-----	---------------	-------	-----

当初計画

事業内容	学校図書館の機能を十分発揮できるよう、蔵書の充実を図ります。				
今後の取り組み方針	国が定める学校図書館図書標準に基づき計画的に図書を購入します。				
指標値 (20年度 指標値)	学校図書館蔵書数(9校) :148,267冊	21年度 実績値	学校図書館蔵書数(9校) :121,235冊	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	国の定める学校図書館図書標準に基づき図書を整備しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	学校図書館蔵書 数(9校) :118,342冊	学校図書館蔵書 数(9校) :111,831冊	学校図書館蔵書 数(9校) :105,585冊	学校図書館蔵書 数(9校) :119,319冊	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	蔵書率100%に到達しないものの、生徒にとって興味深い図書、価値のある図書や調べ学習などに適した図書を増やしました。		・学校図書館のリニューアルを4校実施し、図書館環境の整備が進みました。(9校中6校) ・蔵書率が、前年度の83%から93%となり、生徒にとって興味深い図書、価値のある図書や調べ学習などに適した図書を増やしました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成23年度末で事業廃止

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	104	事業名	学校図書館施設整備事業	所管・窓口	指導室
----	-----	-----	-------------	-------	-----

当初計画

事業内容	市立小学校(19校)の図書館のリフォームを含めた環境整備を行います。				
今後の取り組み方針	平成22年度より3校ずつ整備し、平成24年度に19校全ての整備を完了します。				
指標値 (21年度見込値)	整備校数:10校	21年度実績値	整備校数:10校	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成23年度末 事業廃止				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	整備校数:6校	整備校数:3校	-	-	-
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	-		-		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	-	事業内容	-
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

-



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	105	事業名	理科・環境教育に関する調査研究・研修事業	所管・窓口	教育研究所
----	-----	-----	----------------------	-------	-------

当初計画

事業内容	理科・環境教育に関する有識者による研修講座の開催と研究調査を行います。また、児童生徒を対象とした子ども科学教室・やまとおもしろ科学館の開催や、副読本を発刊します。				
今後の取り組み方針	児童生徒に理科・環境を題材とした学習の場を提供するとともに、企業の社会貢献事業との連携も図っていきます。				
指標値(20年度指標値)	・子ども科学教室および科学イベント開催数:17回 ・副読本発刊部数:2,300部	21年度実績値	・子ども科学教室および科学イベント開催数:16回 ・副読本発刊部数:2,400部	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	児童生徒の理科・環境教育の場として、子ども科学教室、やまとおもしろ科学館、子どもサイエンスフェスティバルを開催しました。科学イベントでは、市内中学校、高等学校科学部のほか、複数の企業による出展ブースがあり、科学技術への関心を高めることができました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・子ども科学教室および科学イベント開催数:9回 ・副読本発刊部数:2,300部	・子ども科学教室および科学イベント開催数:9回 ・副読本発刊部数:2,300部	・子ども科学教室および科学イベント開催数:9回 ・副読本発刊部数:5,200部	・子ども科学教室および科学イベント開催数:7回 ・副読本発刊部数:2,300部	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	収集した資料をもとに、副読本「大和の自然」改訂版の内容検討を行い、発刊しました。		企業や市内小中学校と協力し、内容を工夫しながら、科学教室やイベントを行いました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	106	事業名	教育用コンピュータ整備事業	所管・窓口	教育研究所
----	-----	-----	---------------	-------	-------

当初計画

事業内容	情報教育を実施する環境を整えることで、児童生徒がコンピュータを利用する機会を増し、学校内での情報化の推進につなげます。				
今後の取り組み方針	教育用コンピュータを効果的に活用するにあたっては、一定の年数ごとに更新が必要となるため、計画的な整備を図っていきます。				
指標値(20年度指標値)	保守管理コンピュータ台数:2,511台	21年度実績値	保守管理コンピュータ台数:2,511台	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	コンピュータ整備について、文部科学省の掲げる「教育の情報化ビジョン」と学校の使用状況を考慮し、更新計画を進めることができました。 ・小学校校務用コンピュータ:231台更新 ・特別支援学級用iPad:19台整備 ・中学校コンピュータ教室:369台更新				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	保守管理コンピュータ台数:2,508台	保守管理コンピュータ台数:2,584台	保守管理コンピュータ台数:2,584台	保守管理コンピュータ台数:2,346台	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	教育の情報化を推進するため、コンピュータの計画的な更新、整備及び適正な配置を進めました。		教育の情報化を推進するため、コンピュータの計画的な更新、整備及び、台数の精選を進めました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	107	事業名	学校や地域での福祉教育事業への支援	所管・窓口	(福)社会福祉協議会 ボランティアセンター
----	-----	-----	-------------------	-------	--------------------------

当初計画

事業内容	福祉講演・体験教室など通して、児童生徒に福祉についての理解を深めてもらうことを目的に実施しています。				
今後の取り組み方針	福祉教育器材の貸出しや助成金の交付等により、学校内において実施される福祉的活動や事業を継続して支援していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	福祉講演、体験教室の実施校数:小学校14校、中学校4校、高校7校	21年度 実績値	福祉講演、体験教室の実施校数:小学校16校、中学校3校、高校7校	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・高齢者疑似体験セット、車いす、白杖、点字体験セット等、福祉教育機材の貸出を行いました。 ・15小学校、7中学校、1高等学校に対し、助成金の交付を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	福祉講演、体験教室の実施校数:小学校22校、中学校3校、高校9校	福祉講演、体験教室の実施校数:小学校17校、中学校7校、高校7校	福祉講演、体験教室の実施校数:小学校10校、中学校2校、高校1校	福祉講演、体験教室の実施校数:小学校10校、中学校2校、高校0校	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	・前年度に引き続き、学校内の福祉体験教室に地域及び地区社協の協力を促し、地域との連携で実施できた学校が増えました。 ・福祉教育器材(高齢者疑似体験セット)を寄託により大幅に増やすことができました。		・ボランティアグループや地区社協等との連携により、学校内福祉教育事業の実施ができました。 ・福祉教育事業を行った学校数は減ったものの、助成金交付先を3校増やすことができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 生きる力の育成に向けた教育環境の充実

番号	108	事業名	クロスカルチャーセミナーボランティア講師派遣事業	所管・窓口	(公財)国際化協会
----	-----	-----	--------------------------	-------	-----------

当初計画

事業内容	外国人の講師を小学校に派遣し、総合学習の時間を通して、その国への興味や理解を深め、国際理解や国際感覚を養います。				
今後の取り組み方針	今後は英語指導の授業時間が増えることから総合学習の時間も削減されるため、実施の機会を積極的に生み出す取り組みを行います。				
指標値(20年度指標値)	セミナー参加者数:781人(延べ)	21年度実績値	セミナー参加者数:137人(延べ)	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市内小中学校の教職員を中心に、当事業の広報を積極的に実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	セミナー参加者数:94人(延べ) (セミナー開催回数:4回)	セミナー参加者数:339人(延べ) (セミナー開催回数:9回)	セミナー参加者数:267人(延べ) (セミナー開催回数:5回)	セミナー参加者数:109人(延べ) (セミナー開催回数:5回)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的改善等を行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的改善等を行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成24年度末で事業廃止

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 思春期保健対策の充実 個別目標(5)- : いじめ・不登校児童生徒への支援(再掲)

番号	109	事業名	学校教育相談員活用事業	所管・窓口	青少年相談室
----	-----	-----	-------------	-------	--------

当初計画

事業内容	小学校に「子どもと親の相談員」を配置して、児童・保護者・教職員からの相談を受けます。中学校に「心の教室相談員」を配置して、生徒・保護者・教職員からの相談を受けます。				
今後の取り組み方針	小学校の相談日数を中学校並に増加させ、相談体制を充実していきます。各学校内での教育相談体制における学校教育相談員の役割分担を明確にし、問題行動に対するチーム支援体制の確立を目指します。				
指標値 (20年度 指標値)	・「子どもと親の相談員」の相談室開室日数、回数:35日、4,921回 ・「心の教室相談員」の相談室開室日数、回数:70日、4,417回	21年度 実績値	・「子どもと親の相談員」の相談室開室日数、回数:35日、5,046回 ・「心の教室相談員」の相談室開室日数、回数:70日、5,365回	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成24年度末 事業廃止				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・「子どもと親の相談員」の相談室開室日数、回数:35日、6,495回 ・「心の教室相談員」の相談室開室日数、回数:70日、4,855回	・「子どもと親の相談員」の相談室開室日数、回数:35日、7,255回 ・「心の教室相談員」の相談室開室日数、回数:70日、3,811回	・「子どもと親の相談員」の相談室開室日数、回数:35日、9,385回 ・「心の教室相談員」の相談室開室日数、回数:70日、3,351回	-	-
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	相談体制の強化を図るため、平成24年度限りで学校教育相談員活用事業を廃止し、小学校へは相談室より相談員を派遣し中学校へは不登校生徒支援員を全校配置しました。		-		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	-	事業内容	-
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

-

(様式1)

## 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	110	事業名	精神保健福祉普及相談事業	所管・窓口	厚木保健福祉事務所大和センター(旧:大和保健福祉事務所)保健予防課
----	-----	-----	--------------	-------	-----------------------------------

### 当初計画

事業内容	さまざまなこころの病に関すること、精神科の療養に関するもののほか、精神障害者の社会参加、家族の対応等についての相談を受けています。				
今後の取り組み方針	関係機関と協力しながら、子育て世代のメンタルヘルス、思春期、青年期のこころの問題等について、ケースワーカー、保健師、嘱託医が相談にあたるほか、必要に応じて訪問による支援を行います。				
指標値 (20年度 指標値)	相談件数:36件 (綾瀬市含む)	21年度 実績値	相談件数:34件 (綾瀬市含む)	取り組み の方向	維持

### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	メンタルヘルスや精神障害者の地域生活の向上を図るため、関係機関と連携し継続して実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	相談件数:21件 (綾瀬市含む)	相談件数:19件 (綾瀬市含む)	相談件数:58件 (綾瀬市含む)	相談件数50件 (綾瀬市含む)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的な改善は行っておらず現状維持となりました。		事業内容の質的な改善は行っておらず現状維持となりました。		

### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

### 事務局処理

1次評価

C

(様式1)

### 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	111	事業名	青少年エイズ・性感染症予防講演会	所管・窓口	厚木保健福祉事務所大和センター(旧:大和保健福祉事務所)保健予防課
----	-----	-----	------------------	-------	-----------------------------------

#### 当初計画

事業内容	中高生を対象に講演会を開催し、性と性感染症(エイズを含む)についての正しい知識の普及を図ります。				
今後の取り組み方針	性と性感染症(エイズを含む)についての正しい知識の普及を図るよう今後も継続的に講演会を実施します。				
指標値(20年度指標値)	講演会実施校数:12校(綾瀬市含む)	21年度実績値	講演会実施校数:17校(綾瀬市含む)	取り組みの方向	維持

#### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	性と性感染症(エイズを含む)についての正しい知識の普及を図るよう講演会を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	講演会実施校数:15校(綾瀬市含む)	講演会実施校数:16校(綾瀬市含む)	講演会実施校数:14校(綾瀬市含む)	講演会実施校数:14校(綾瀬市含む)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	思春期のこころの健康等、必要に応じてトピックスを取り入れ工夫しています。		思春期の心の健康等、必要に応じてトピックスを取り入れ工夫しています。		

#### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

#### 事務局処理

1次評価

C

(様式1)

### 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	112	事業名	薬物乱用防止事業	所管・窓口	厚木保健福祉事務所大和センター(旧:大和保健福祉事務所)環境衛生課
----	-----	-----	----------	-------	-----------------------------------

#### 当初計画

事業内容	街頭キャンペーンなどを通じ、青少年及びその保護者を中心に、広く薬物乱用防止を呼びかけます。				
今後の取り組み方針	関係機関・関係団体と連携し、地域に密着した啓発活動を継続して実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	・薬物乱用防止街頭キャンペーン実施回数:1回 ・啓発物品配布数:1,000部(リーフレット等)	21年度実績値	・薬物乱用防止街頭キャンペーン実施回数:1回 ・啓発物品配布数:800部(リーフレット等)	取り組みの方向	維持

#### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	関係機関・関係団体と連携し、地域に密着した啓発活動を継続して実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・薬物乱用防止街頭キャンペーン実施回数:1回 ・啓発物品配布数:500部(リーフレット等)	・薬物乱用防止街頭キャンペーン実施回数:1回 ・啓発物品配布数:500部(リーフレット等)	・薬物乱用防止街頭キャンペーン実施回数:2回 ・啓発物品配布数:800部+500部(リーフレット等)	・薬物乱用防止街頭キャンペーン実施回数:1回 ・啓発物品配布数:600部(リーフレット等)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	5月、7月にそれぞれ大和駅前及び、大和オークシティにて薬物乱用防止を呼びかけを行いました。		7月に大和オークシティにて薬物乱用防止の呼びかけや薬物標本・ポスター等の掲示を行いました。		

#### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

#### 事務局処理

1次評価

B



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	113	事業名	青少年創意くふう展事業	所管・窓口	産業活性課
----	-----	-----	-------------	-------	-------

当初計画

事業内容	小中学生から作品を募集し、毎年10月に創意くふう展を開催します。創作する喜び、科学・技術に関する知識・興味を向上させることを目指します。				
今後の取り組み方針	市内小中学校の児童や生徒の、ものづくりへの興味や創造力を高めていきます。				
指標値 (20年度実績値)	出品数:262点	21年度 実績値	出品数:300点	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市内小中学校の児童・生徒に創作の楽しさを知ってもらい、科学的・技術的な独創性がある作品を出展してもらうため、担当教諭に向けて本事業の趣旨を説明し、参加を促しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	出品数:206点	出品数:172点	出品数:123点	出品数:106点	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	平成23年度に引き続き、市内の私立小中学校(聖セシリア小学校・聖セシリア女子中学校)にも参加呼びかけを行いました。		平成24年度に引き続き、市内の私立小中学校(聖セシリア小学校・聖セシリア女子中学校)にも参加呼びかけを行いました。また、出品作品について、本事業の趣旨と異なる場合に、各学校で絞込みを行いました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	114	事業名	公害防止啓発・指導事業	所管・窓口	生活環境保全課
----	-----	-----	-------------	-------	---------

当初計画

事業内容	子ども環境教室、公害防止講習会等の実施を通じ、環境に関する意識を高めるとともに、事業所への立ち入り調査を行い、公害防止を図ります。				
今後の取り組み方針	良好な環境を保全するには、次世代を担う子供たちの環境に対する意識を高めることが重要であることから、取り組みを継続的に行っていきます。				
指標値(20年度実績値)	環境学習・環境教室参加者数: 567人	21年度実績値	環境学習・環境教室参加者数: 495人	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	子供達の環境に対する意識を高めるために、夏休み親子環境教室、各学校との環境学習等を継続して実施することとしました。ただし、子ども環境教室については、参加者が減少傾向であったため実施しないこととしました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	環境学習・環境教室参加者数: 446人	環境学習・環境教室参加者数: 387人	環境学習・環境教室参加者数: 290人	環境学習・環境教室参加者数: 224人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	各種環境教室の内、子ども環境教室の参加人数が減少傾向であったことから、子ども環境教室は実施しませんでした。なお、今後も継続しないこととしました。		事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	D	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	115	事業名	環境フェア等運営事業	所管・窓口	生活環境保全課
----	-----	-----	------------	-------	---------

当初計画

事業内容	大和市環境フェアの開催や環境ポスター等の募集を通じ、市民、事業者、団体の環境活動を啓発します。				
今後の取り組み方針	環境ポスターコンクールの実施により、児童・生徒が地域美化など環境について考える機会が増え、環境に配慮できる人間の育成につながることから、継続的に行っていきます。				
指標値(20年度実績値)	環境ポスターコンクール参加作品数:794作品	21年度実績値	環境ポスターコンクール参加作品数:661作品	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	環境ポスターコンクールの実施により、児童・生徒が地域美化など環境について考える機会が増え、環境に配慮できる人間の育成につながることから、継続的に行っていきます。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	環境ポスターコンクール参加作品数:983作品	環境ポスターコンクール参加作品数:998作品	環境ポスターコンクール参加作品数:1,077作品	環境ポスターコンクール参加作品数:1,083作品	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的改善は行っていませんが、結果的には、参加作品数は微増となりました。事業は、予算どおりに実施できました。		事業内容の質的改善は行っていませんが、結果的には、参加作品数は微増となりました。事業は、予算通りに実施できました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成22年度末で事業廃止

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	116	事業名	親子農業めぐり(旧、親子農業体験事業)	所管・窓口	農政課
----	-----	-----	---------------------	-------	-----

当初計画

事業内容	農業への理解と関心を高め食料の重要性と地域住民とのコミュニケーション作りを図るため、親子農業めぐりや親子農業体験を実施します。				
今後の取り組み方針	食の安全や地産地消など、農業に対する意識が高まっており、より事業を積極的にPRしていきます。				
指標値(20年度実績値)	・親子農業めぐり参加人数:52人 ・親子農業体験参加人数:-人	21年度実績値	・親子農業めぐり参加人数:52人 ・親子農業体験参加人数:47人	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成22年度末 事業廃止				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・親子農業めぐり参加人数:50人 ・親子農業体験参加人数:51人	親子農業めぐり参加人数:50人	-	-	-
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	-		-		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	-	事業内容	-
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

-

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	117	事業名	青少年キャンプ施設管理運営事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	-----	-----	-----------------	-------	----------

当初計画

事業内容	青少年が野外の活動を通して、自然と親しめるよう、キャンプ場での体験を提供します。				
今後の取り組み方針	利用者ニーズに対応した施設運営を図り、稼働率の向上を目指します。				
指標値 (20年度 指標値)	・泉の森ふれあいキャンプ場開設日数:301日 ・このまさわキャンプ場開設日数:10日	21年度 実績値	・泉の森ふれあいキャンプ場開設日数:301日 ・このまさわキャンプ場開設日数:8日	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市のホームページや広報やまとに施設予約に関する記事を掲載し、市民への周知を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・泉の森ふれあいキャンプ場開設日数:303日 ・このまさわキャンプ場開設日数:8日	・泉の森ふれあいキャンプ場開設日数:301日 ・このまさわキャンプ場開設日数:8日	・泉の森ふれあいキャンプ場開設日数:302日 ・このまさわキャンプ場開設日数:8日	・泉の森ふれあいキャンプ場開設日数:302日 ・このまさわキャンプ場開設日数:8日	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	118	事業名	緑野青空子ども広場管理運営事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	-----	-----	-----------------	-------	----------

当初計画

事業内容	親子のふれあい、子ども同士の異年齢交流、遊びを通して情操や社会性を学ぶことなどを目的にツリーガーデンを運営します。また、さまざまなイベントも開催します。				
今後の取り組み方針	施設の管理と併せ、子どもたちと一緒に遊び、遊びの指導もしてくれるプレイリーダーの確保に努めます。				
指標値(20年度指標値)	・利用可能日数:365日 ・イベント開催日数:10日	21年度実績値	・利用可能日数:365日 ・イベント開催日数:11日	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・施設を誰もが安全で安心して使用できるよう、管理運営委員会とともに遊具のあり方や、保管方法などについて見直しを行いました。 ・近隣の冒険遊び場で開催された研修に参加し、知識や理解を深めました。 ・プレイリーダーの確保のため募集を行い、管理運営委員会による新任研修を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・利用可能日数:365日 ・イベント開催日数:9日 (台風の影響で、イベント開催が中止となり、開催日数減となりました。)	・利用可能日数:365日 ・イベント開催日数:8日 (天候により、イベントが中止となり、開催日数減となりました。)	・利用可能日数:365日 ・イベント開催日数:10日	・利用可能日数:349日(広場の一部に陥没があり16日間閉鎖しました。) ・イベント開催日数:7日(陥没と火災により開催日数減となりました。)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	施設内のハザード除去とリスク管理を行い、施設の安全管理に努めました。		現場の意見を管理運営に反映させるため、プレイリーダー会議を設置しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成24年度末で事業廃止

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	119	事業名	少年洋上体験事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	-----	-----	----------	-------	----------

当初計画

事業内容	帆船での船上生活や、力を合わせて帆船を動かす体験を通して、連帯感や達成感、決断力や協調性等を養います。				
今後の取り組み方針	参加した子どもたちや保護者からの声を受け、今後も事業を継続していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	参加人数:30人	21年度 実績値	参加人数:30人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成24年度末 事業廃止				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	参加人数:30人	参加人数:28人	実施せず	-	-
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業実施の可否について検討を行いつつ、代替事業について調査、検討を行いました。 今までの参加者や関係者に対して、事業の実施をしないことへの経過や説明を文書により行いました。		-		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	-	事業内容	-
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

-

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	120	事業名	総合学習事業	所管・窓口	図書館
----	-----	-----	--------	-------	-----

当初計画

事業内容	施設見学を実施したり、中学生に職場体験学習の場を提供したりすることで、総合学習を支援します。				
今後の取り組み方針	図書館の機能や施設を活用し、図書館が身近な施設となるよう推進していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・施設見学の回数:5回 ・職場体験学習の回数:2回	21年度 実績値	・施設見学の回数:4回 ・職場体験学習の回数:5回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	施設見学や職場体験学習を実施し、図書館をより身近に感じてもらう取組みを実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・施設見学の回数:5回 ・職場体験学習の回数:6回	・施設見学の回数:4回 ・職場体験学習の回数:11回	・施設見学の回数:8回 ・職場体験学習の回数:10回	・施設見学の回数:9回 ・職場体験学習の回数:12回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	さまざまな業務を体験できるよう、対象者に事前課題を出すなど職場体験の内容を見直しました。		団体に合わせた見学内容を検討するために事前下見を受入れて調整を行い、職場体験では生徒の個性を活かせるよう事前課題の内容を見直しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	121	事業名	スポーツ関係団体支援事業	所管・窓口	スポーツ課
----	-----	-----	--------------	-------	-------

当初計画

事業内容	スポーツ及びレクリエーション活動を通じて、市民の体力向上、スポーツ精神の養成、青少年の健全育成を図ります。				
今後の取り組み方針	スポーツ少年団をはじめ、各団体の活動の活性化を目指し、団体独自の財源確保など自主性を高めるよう指導していきます。				
指標値(20年度指標値)	スポーツ少年団本部登録団体数:14団体	21年度実績値	スポーツ少年団本部登録団体数:15団体	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	各団体の活性化を目指し、団体独自の財源確保など自主性を高めるよう指導を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	スポーツ少年団本部登録団体数:15団体	スポーツ少年団本部登録団体数:15団体	スポーツ少年団本部登録団体数:15団体	スポーツ少年団本部登録団体数:15団体	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行なっておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	122	事業名	少年消防団支援事業	所管・窓口	予防課
----	-----	-----	-----------	-------	-----

当初計画

事業内容	公募した小学生で組織する少年消防団では、火災予防に必要な知識、技術の習得、団体行動と防災マナーを学びます。				
今後の取り組み方針	消火器具、AED、心肺蘇生法、煙体験等の訓練や研修会にて啓発を行い、少年消防団員を通じて家庭、学校、地域での火災の防止が図ることができるよう指導していきます。				
指標値(20年度指標値)	入団員数:38人	21年度実績値	入団員数:44人	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・団体行動を通じて防火マナーを身につけた社会人を育成するために必要な火災予防に関する教育や技術指導を行いました。 ・消防出初式における演技披露や大和市民まつり等の各種イベントにおいて火災予防の広報活動を行いました。 ・消防署内における訓練指導のほかに宿泊研修、少年少女消防教育、視察研修等の野外研修を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	入団員数:42人	入団員数:48人	入団員数:78人	入団員数:78人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	平成25年で設立20周年を迎えたことから大和スポーツセンター第1体育館で歴代卒団者等約400人を迎え記念式典が執り行われました。 また、団員数も増えたことから火災予防広報及び啓発活動や応急手当の普及を積極的に行うことができました。		消防出初式における演技披露、大和市民まつり及び消防防災フェア等の各種イベントにおいて火災予防の広報活動を行いました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	123	事業名	夏休み福祉体験チャレンジ学習	所管・窓口	(福)社会福祉協議会 ボランティアセンター
----	-----	-----	----------------	-------	--------------------------

当初計画

事業内容	福祉施設やボランティアグループでのボランティア活動に参加することで、高齢者や障がいを持つ人の福祉問題について学習します。また、ボランティア活動参加のきっかけづくりを目的として実施しています。				
今後の取り組み方針	多くの中高校生が参加することができるよう実施方法を工夫していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・中学生参加人数:14人 ・高校生参加人数:14人	21年度 実績値	・中学生参加人数:14人 ・高校生参加人数:6人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	高齢者福祉施設、障がい者施設での現場体験、ボランティアグループでのボランティア体験を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・中学生参加人数:8人 ・高校生参加人数:6人	・中学生参加人数:5人 ・高校生参加人数:7人	・中学生参加人数:2人 ・高校生参加人数:6人	・中学生参加人数:8人 ・高校生参加人数:1人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	前年度に引き続き、ボランティア体験の受入れ先として新規拡充を図れました。		参加者数はあまり増えなかったものの、行政関係機関との協働によりPRを行い、福祉体験事業を実施することができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実      個別目標(4)- : 次代の親の育成(再掲)

番号	124	事業名	保育体験学習機会の提供	所管・窓口	(福)社会福祉協議会 ボランティアセンター
----	-----	-----	-------------	-------	--------------------------

当初計画

事業内容	保育園での実習体験を行う「中・高生保育入門講座」を通して、児童福祉問題を学習します。				
今後の取り組み方針	多くの中高校生が参加することができるよう実施方法を工夫していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	中・高生保育入門講座の参加 人数:25人	21年度 実績値	中・高生保育入門講座の参加 人数:13人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市内の公立、私立保育園の協力をいただき、保育体験を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	中・高生保育入門 講座の参加人数: 20人	中・高生保育入門 講座の参加人数: 28人	中・高生保育入門 講座の参加人数: 20人	中・高生保育入門 講座の参加人数: 10人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	前年度に引き続き、オリエンテーションと体験現場への訪問を行い、きめ細かな対応を行いました。また、受入先の新規拡充を図れました。		参加者数は減ったものの、行政関係機関との協働によりPRを行い、保育体験事業を実施することができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 多様な体験活動の充実

番号	125	事業名	青少年向け多文化共生入門講座の開催	所管・窓口	(公財)国際化協会
----	-----	-----	-------------------	-------	-----------

当初計画

事業内容	青少年を対象に国籍や民族に関わらず、地域社会の構成員としてともに生きていこうとする「多文化共生」の講座を開設することで、互いの文化を認め共生への理解を深めてもらいます。				
今後の取り組み方針	このセミナーを通して青少年のリーダーとなりうる人材を育成し、彼らの自主的な活動につなげていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	参加者数:13人	21年度 実績値	参加者数:13人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	育成策の検討は行われませんでした。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	開催中止	一時休止中	一時休止中	一時休止中	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	未実施のため質的改善は行っていません。		未実施のため質的改善は行っていません。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	-	事業内容	-
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

-

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	126	事業名	既設公園等大規模改修事業	所管・窓口	みどり公園課
----	-----	-----	--------------	-------	--------

当初計画

事業内容	遊具や施設の新設や改修を行い、利用者の安全や利便性を向上させます。				
今後の取り組み方針	整備後約20年が経過した公園が都市公園の約8割を占め、損傷や老朽化などに加え、樹木の生育により死角が生じるなど防犯面での課題もあります。市民ニーズも大きく変化しているため、一部改修を継続的に進めます。				
指標値(20年度実績値)	改修または新設した施設数:12か所	21年度実績値	改修または新設した施設数:21か所	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市民が安心して公園を利用していただけるよう、公園内の老朽化・破損した遊具及び設備を改修しました。 市民のニーズを的確に把握し、バリアフリー等へも配慮した改修を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	改修または新設した施設数:7か所	改修または新設した施設数:7か所	改修または新設した施設数:5か所	改修または新設した施設数:9か所	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	安価な手法、材料等を検討することにより、年度当初の予定どおりの公園の改修が行え、安全性や利便性を向上することができました。		安価な手法や材料等を検討することにより、年度当初の予定どおりの公園の改修が行え、安全性や利便性を向上することができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	127	事業名	公園維持管理事業	所管・窓口	みどり公園課
----	-----	-----	----------	-------	--------

当初計画

事業内容	市民が公園を安全で快適に利用できるように清掃や維持補修を行います。				
今後の取り組み方針	維持管理作業を適切に行い、市民にとって安全で、身近に安らぎを感じる空間を提供できるよう管理します。				
指標値 (20年度実績値)	・公園の清掃回数: 20,175回 ・公園設備の維持補修件数: 5,007件	21年度 実績値	・公園の清掃回数: 20,185回 ・公園設備の維持補修件数: 5,328件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成25年度においては年間962件の要望や相談が寄せられました。これらの要望・相談に応え、市民の公園維持管理に対するニーズに迅速に対応することで、地域に密着した身近な公園施設を目指し、来園者がより安全で快適に利用できるように努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・公園の清掃回数: 20,192回 ・公園設備の維持補修件数: 5,482件	・公園の清掃回数: 20,136回 ・公園設備の維持補修件数: 5,483件	・公園の清掃回数: 20,523回 ・公園設備の維持補修件数: 5,123件	・公園の清掃回数: 21,159回 ・公園設備の維持補修件数: 5,274件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	老朽化している公園遊具等の点検・修繕・交換等を計画的に行い、利用者が安全に使用できるよう対応しました。また、樹木剪定や草刈なども適宜行い、園地を快適に利用できるよう努めました。		老朽化している公園遊具等の点検・修繕・交換等を計画的に行い、利用者が安全に使用できるよう対応しました。また、清掃、樹木管理及び草刈なども適宜行い、園地を快適に利用できるよう努めました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	128	事業名	ゆとりの森整備事業	所管・窓口	みどり公園課
----	-----	-----	-----------	-------	--------

当初計画

事業内容	厚木基地の南側に、平成26年度末の完成を目指してスポーツ施設及びレクリエーション施設のある公園を整備します。				
今後の取り組み方針	本事業は12年間と長期にわたるため、途中で市民ニーズの変化が予想されますが、計画の見直しを行いつつ、継続して実施していきます。				
指標値 (20年度実績値)	整備進捗率:14%	21年度 実績値	整備進捗率:26%	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成24年度に発注した工事を完成させ、テニスコート整備、バーベキュー広場整備等を完了しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	整備進捗率:0%	整備進捗率:0%	整備進捗率:17%	整備進捗率:17%	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	供用開始エリアが拡充したことにより市民の利用施設が増えました。		供用開始エリアが拡充したことにより市民の利用施設が増えました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	A
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	129	事業名	親子ふれあい推進事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	-----	-----	------------	-------	----------

当初計画

事業内容	地域住民との交流や親子のふれあいを深めるため、市内15か所でふれあい広場を開催し、夏休みには親子ナイトウォークラリーを実施します。				
今後の取り組み方針	地域住民や参加者からの意見要望等を踏まえながら今後も継続していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	ふれあい広場開催日数:15日	21年度 実績値	ふれあい広場開催日数:6日	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	地域住民や参加者からの意見要望等を踏まえながら、平成25年度も実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	ふれあい広場開催日数:10日 (台風の影響により、開催できない地区が5地区ありました。)	ふれあい広場開催日数:15日	ふれあい広場開催日数:13日 (雨雪により開催できない地区が2地区ありました。)	ふれあい広場開催日数:12日 (荒天により開催できない地区が3地区ありました。)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	各地区で工夫を凝らしてふれあい広場を実施しました。		各地区で工夫を凝らしてふれあい広場を実施しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	130	事業名	青少年育成事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	-----	-----	---------	-------	----------

当初計画

事業内容	中高生のボランティア活動と小学校高学年以上で構成するユースクラブでは、レクリエーションやスポーツ活動をはじめ、さまざまな体験活動を行います。その活動を通し青少年の健全育成を図ります。				
今後の取り組み方針	中高生ボランティアについて、継続的な活動方法等を検討していきます。また、ユースクラブの運営をサポートする人員の確保に努めていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・ユースクラブ活動日数:103日 ・ボランティア参加者数:114人	21年度 実績値	・ユースクラブ活動日数:103日 ・ボランティア参加者数:77人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・参加者に対し、継続したボランティア活動ができるよう、他のボランティア活動について周知を行いました。 ・ユースクラブの運営をサポートする人たちと、目的意識の共有化を図るため、打合せ回数や情報提供を拡充し、人員の確保に努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・ユースクラブ活動日数:65日 ・ボランティア参加者数:94人	・ユースクラブ活動日数:100日 ・ボランティア参加者数:106人	・ユースクラブ活動日数:112日 ・ボランティア参加者数:115人	・ユースクラブ活動日数:103日 ・ボランティア参加者数:110人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	131	事業名	青少年健全育成都市宣言推進事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	-----	-----	-----------------	-------	----------

当初計画

事業内容	青少年の総合的施策の検討や調査を行う青少年問題協議会を設置しています。また、毎年11月の全国青少年健全育成強調月間に合わせて、健全育成大会を開催し、積極的に活動を続けている人などを表彰を行います。				
今後の取り組み方針	青少年の健全育成に関わる機関、団体と連携し、市民全体で青少年の健全育成都市の実現を目指していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	青少年健全育成大会の開催回数:1回	21年度 実績値	青少年健全育成大会の開催回数:1回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	青少年の健全育成に関わる団体と連携し、青少年健全育成大会を開催しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	青少年健全育成大会の開催回数: 1回	青少年健全育成大会の開催回数: 1回	青少年健全育成大会の開催回数: 1回	青少年健全育成大会の開催回数: 1回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	132	事業名	放課後子ども教室管理運営事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	-----	-----	----------------	-------	----------

当初計画

事業内容	校庭や体育館などを利用して、放課後に子どもの居場所(活動拠点)を設け、子どもたちが安心・安全に遊びや交流ができる環境を整えます。				
今後の取り組み方針	全小学校(19校)での早期実施を目指していきます。				
指標値(20年度指標値)	実施か所数:小学校1校	21年度実績値	実施か所数:小学校2校	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成23年度中に全小学校(19校)での実施を開始しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	実施か所数:小学校3校	実施か所数:小学校19校	実施か所数:小学校19校	実施か所数:小学校19校	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	・前年度に引き続き、全小学校で実施され、子どもたちの放課後の居場所が確保されました。 ・平成25年度からの全校週3日開催に向け、3校で週3日の先行実施を行いました。		・前年度に引き続き、全小学校で実施され、子どもたちの放課後の居場所が確保されました。 ・平成25年度から全校にて開催日を週3日としました。 ・直接参加制度を11月から順次開始し、2月までに全校実施しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	A
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	133	事業名	青少年センター運営事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	-----	-----	-------------	-------	----------

当初計画

事業内容	青少年健全育成のため、イベント等の開催や青少年及び青少年関係団体等に活動拠点としてセンター内の部屋を貸し出します。				
今後の取り組み方針	青少年の健全育成の拠点施設として、さらなる周知により、青少年及び青少年関係団体等の利用者数の増加を図ります。				
指標値(20年度指標値)	利用者数: 45,232人/年	21年度実績値	利用者数: 45,816人/年	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	青少年や青少年関係団体の施設利用を基本としつつ、施設が利用されていない時間を有効に活用するため、事務取扱要領を柔軟に運用し一般団体への貸し出しを積極的に行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	利用者数: 41,282人/年	利用者数: 43,504人/年	利用者数: 44,809人/年	利用者数: 38,684人/年	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事務取扱要領を柔軟に運用したことにより、施設利用率の向上が図られました。		事業内容の質的改善は行っていませんが、引き続き事務取扱要領を柔軟に運用し、青少年団体のみでなく一般団体への貸し出しを行いました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	134	事業名	児童館管理運営事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	-----	-----	-----------	-------	----------

当初計画

事業内容	児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に、市内に22館ある児童館において、放課後の居場所の確保と安全な遊び場を提供します。				
今後の取り組み方針	地域の特性と創意工夫を活かした児童館運営を実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	利用人数: 159,330人/年	21年度実績値	利用人数: 146,946人/年	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	指導員連絡会を毎月実施し、災害時の対応方法や運営課題などについて情報共有を図りました。 各館ごとの災害時対応マニュアルを作成しました。 全児童館を6ブロックに分けた、ブロック研修会を開始し、工作等の講習会を行いました。 例年開催される児童館作品展の会場を市役所本庁舎からイオンモール大和に変更しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	利用人数: 148,439人/年	利用人数: 134,760人/年	利用人数: 137,264人/年	利用人数: 131,758人/年	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		例年開催される児童館作品展の会場を市役所本庁舎からイオンモール大和に変更し、より多くの市民に児童館の活動を知っていただく機会を設けました。 各館ごとの災害時対応マニュアルを作成しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	D	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成

番号	135	事業名	放課後児童クラブ事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	-----	-----	------------	-------	----------

当初計画

事業内容	就労により放課後、保護者が留守となる家庭の児童を預かり、小学校の余裕教室等において児童クラブを実施します。				
今後の取り組み方針	就労している保護者が放課後も安心して児童を預けられるように、今後も引き続き、事業を実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・公営設置数:16か所 ・民営設置数:4か所	21年度 実績値	・公営設置数:17か所 ・民営設置数:3か所	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・児童福祉法改正により放課後児童クラブの定員拡大に向けた施設整備の検討を行いました。 ・今後の入会要件などの預かり基準について、他市の事例を調査するとともに、課題について整理しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・公営設置数:17 か所 ・民営設置数:3か 所	・公営設置数:17 か所 ・民営設置数:3か 所	・公営設置数:17 か所 ・民営設置数:3か 所	・公営設置数:17 か所 ・民営設置数:3か 所	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	大和東児童クラブが、大和東小学校敷地内に移転したことにより、すべての公設児童クラブが小学校に設置され、児童の安全向上が図られました。		次年度の一括入会申請の受付場所を、青少年センターのみから、在会者については各児童クラブでも受付ができるよう変更し、利用者の利便性の向上を図りました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(4)- : 子どもの居場所づくりと健全育成      個別目標(5)- : いじめ・不登校児童生徒への支援(再掲)

番号	136	事業名	青少年相談・街頭補導事業	所管・窓口	青少年相談室
----	-----	-----	--------------	-------	--------

当初計画

事業内容	青少年の抱える問題の解決と非行防止のため相談窓口を開設し、また専門街頭指導員と青少年相談員による街頭補導を行います。				
今後の取り組み方針	相談員の質的向上及び関係機関との一層の連携強化を図ります。また、社会環境浄化活動として有害図書調査や青少年の喫煙・飲酒防止活動などに積極的に取り組んでいきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・少年補導回数:321回 ・街頭補導人数:191人	21年度 実績値	・少年補導回数:318回 ・街頭補導人数:171人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	青少年の非行を未然に防止する専門街頭指導員や青少年相談員の活動の成果により、街頭補導人数は大幅に増加しました。その補導人数の増加の要因として25年度から自転車の二人乗り・携帯電話等を使用しながらの自転車走行(自転車交通違反行為)を補導の対象としたこと(H24:0人 H25:127人)や路上などに溜まっている迷惑行為、公園での花火など危険な遊びなど(その他)が増加したこと(H24:5人 H25:56人)が挙げられます。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・少年補導回数: 321回 ・街頭補導人数: 115人	・少年補導回数: 292回 ・街頭補導人数: 84人	・少年補導回数: 323回 ・街頭補導人数: 159人	・少年補導回数: 317回 ・街頭補導人数: 346人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	夏休み・冬休みにおける市内パトロールを強化した結果、街頭補導人数が増加しました。		25年度から自転車交通違反行為を補導の対象にしたことや学校等との連携により情報交換をしたうえで青少年のたまり場(公園・ゲームセンター等)を集中して巡回し補導活動をしたことから、街頭補導人数が増加しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(5)- : 子どもの権利擁護、児童虐待防止策の充実

番号	137	事業名	家庭児童相談事業	所管・窓口	保育家庭課
----	-----	-----	----------	-------	-------

当初計画

事業内容	家庭相談員が電話、面接、訪問等により、児童の育成等に関する保護者の相談に応じます。				
今後の取り組み方針	子育て家庭が抱える育児不安や孤立感を背景とした身近な子育て相談ニーズが増加しているため、相談体制を充実していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・家庭相談員:4人 ・相談件数:6,070件/年	21年度 実績値	・家庭相談員:6人 ・相談件数:5,580件/年	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	複雑、多様化する子育て相談に対応するため、相談員の資質向上を図るとともに、各関係機関と連携を図り子育てを支援しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・家庭相談員:6人 ・相談件数:5,147 件/年	・家庭相談員:6人 ・相談件数:6,049 件/年	・家庭相談員:6人 ・相談件数:7,351 件/年	・家庭相談員:6人 ・相談件数:7,309 件/年	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		子育て家庭が抱える育児不安や負担感を軽減するため、新たにCSP(コモンセンス・ペアレンティング)講座やFTP(ファンクショナル・タッチ・ペアレンティング)講座を実施しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(5)- : 子どもの権利擁護、児童虐待防止策の充実

番号	138	事業名	養育支援訪問事業	所管・窓口	保育家庭課
----	-----	-----	----------	-------	-------

当初計画

事業内容	出産後間もない時期の家庭に助産師、臨床心理士などを派遣し、育児に関する専門的な援助を行います。また、育児が困難な家庭に育児・家事ヘルパーを派遣し、児童養育を支援します。				
今後の取り組み方針	支援が必要な家庭を早期に発見し、効果的な訪問指導を行うことが児童虐待の防止・抑止力となることから、今後も積極的に支援していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・助産師、臨床心理士、家庭相談員の訪問回数:571回 ・育児・家事支援派遣回数:367回	21年度 実績値	・助産師、臨床心理士、家庭相談員の訪問回数:533回 ・育児・家事支援派遣回数:358回	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	効果的な訪問指導を行うため、各家庭ごとに支援内容の検討を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・臨床心理士、家庭相談員、保健師、保育士の訪問回数:474回 ・育児・家事支援派遣回数:380回	・臨床心理士、家庭相談員、保健師、保育士の訪問回数:445回 ・育児・家事支援派遣回数:430回	・臨床心理士、家庭相談員、保健師、保育士の訪問回数:416回 ・育児・家事支援派遣回数:284回	・臨床心理士、家庭相談員、保健師、保育士の訪問回数:257回 ・育児・家事支援派遣回数:449回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(5)- : 子どもの権利擁護、児童虐待防止策の充実

番号	139	事業名	要保護児童対策地域協議会事業	所管・窓口	保育家庭課
----	-----	-----	----------------	-------	-------

当初計画

事業内容	要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、関係機関が当該児童に関する情報を共有し適切に対応することを目的としています。				
今後の取り組み方針	要保護児童等は増加傾向にあることから、継続して実施していく必要があり、関係機関との連携の充実に努めます。				
指標値 (20年度 指標値)	協議会開催回数: 1回	21年度 実績値	協議会開催回数: 1回	取り組み の方向	充実

進捗状況

印: 要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	実務者会議に新たに地区会議を設け、ケース支援の進行管理等を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	協議会開催回数: 2回	協議会開催回数: 3回	協議会開催回数: 3回	協議会開催回数: 15回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印: 要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(5)- : 子どもの権利擁護、児童虐待防止策の充実

番号	140	事業名	こども会議事業	所管・窓口	こども・青少年課
----	-----	-----	---------	-------	----------

当初計画

事業内容	子どもたちが考えていることや想い、願いについて直接伝える機会を設け、よりよい施策につなげます。					
今後の取り組み方針	子どもの権利条約の精神に基づき、子どもの参加や意見表明権を確保します。					
指標値 (22年度見込値)	開催回数: 1回	21年度実績値	/		取り組みの方向	新規

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	こども会議の開催に向け、「(仮称)こども会議」を試験的に開催するとともに、今後の開催方法について併せて検討を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	開催回数: 0回	開催回数: 0回	開催回数: 0回 (こども会議検討委員会開催回数: 5回)	開催回数: 1回 (3日間にわたり試験的に開催)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	こども会議の実施に向け、「(仮称)こども会議検討委員会」を組織し、次年度の試験的開催に実施に向け検討するとともに庁内関係課との調整を行いました。		庁内関係課と調整し、「(仮称)こども会議」を試験的に開催したことにより、子どもたちの考えや意見を直接発表できる場を設けました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(5)- : 子どもの権利擁護、児童虐待防止策の充実

番号	141	事業名	人権啓発事業	所管・窓口	国際・男女共同参画課
----	-----	-----	--------	-------	------------

当初計画

事業内容	講演会や研修会、作文募集、子どもの権利条約の宣伝など啓発活動を展開することで、人権尊重の重要性の認識と人権意識の普及高揚を図ります。				
今後の取り組み方針	今後も人権を考える集いや中学生人権作文コンテストの実施等を通じて、人権問題の啓発活動を行っていきます。				
指標値 (20年度実績値)	・人権を考える集い参加者数: 385人 ・中学生人権作文コンテスト応募者数:611人	21年度 実績値	・人権を考える集い参加者数: 400人 ・中学生人権作文コンテスト応募者数:613人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・人権を考える集いの参加者数が低迷しているため、同時に行われる人権作文・ポスターコンテストの表彰式の出席生徒や保護者が講演会に残って参加する工夫をするほか、関係団体に参加を呼びかけました。 ・中学生人権作文コンテストの応募数も減少傾向にあるため、大和市人権擁護委員会とともに、各中学校へ丁寧に周知し、応募への協力を依頼しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・人権を考える集い参加者数:72人 ・中学生人権作文コンテスト応募者数:547人	・人権を考える集い参加者数:134人 ・中学生人権作文コンテスト応募者数:641人	・人権を考える集い参加者数:200人 ・中学生人権作文コンテスト応募者数:567人	・人権を考える集い参加者数:150人 ・中学生人権作文コンテスト応募者数:371人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	大和市人権指針に基づき、市民向けに啓発事業を推進しました。		外国籍市民の多い本市として、人権講演会のテーマに多文化共生を取り上げました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	D	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(5)- : 子どもの権利擁護、児童虐待防止策の充実

番号	142	事業名	人権相談支援事業	所管・窓口	国際・男女共同参画課
----	-----	-----	----------	-------	------------

当初計画

事業内容	電話相談「子ども人権110番」や無料で投函できる「SOSミニレター」を小中学生に配布するなど、子どもの人権問題の解決を図ります。				
今後の取り組み方針	SOSミニレター配布は平成21年度から法務局が引き続き配布していきます。また、子ども人権110番は、法務局で通年受け付けていますが、強化週間に合わせてHP等で宣伝していきます。				
指標値(20年度実績値)	SOSミニレター事業配布数:18,641枚	21年度実績値	SOSミニレター事業配布数:19,930枚	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・SOSミニレター配布は平成21年度から法務局が配布しています。また、子ども人権110番は、法務局で通年受け付けていますが、強化週間に合わせてHP等で宣伝しました。 ・人権擁護委員による市内小中学校での人権講話や街頭啓発活動を行い、人権擁護委員制度や相談窓口の周知につなげることができました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	SOSミニレター事業配布数:18,354枚	SOSミニレター事業配布数:18,300枚	SOSミニレター事業配布数:17,338枚	SOSミニレター事業配布数:17,267枚	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	第2、第4木曜日の午後1時30分から4時まで、市民相談課の相談室において人権相談を実施していますが、新任の人権擁護委員が経験ある委員とペアで相談に乗れるよう配慮しました。		・大和市人権擁護委員を10名から12名に増員しました。 ・第2、第4木曜日の午後1時30分から4時まで、市民相談課の相談室において人権相談を実施していますが、新任の人権擁護委員が経験ある委員とペアで相談に乗れるよう配慮しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(5)- : いじめ・不登校児童生徒への支援

番号	143	事業名	いじめ・不登校等対策事業	所管・窓口	青少年相談室 (指導室)
----	-----	-----	--------------	-------	-----------------

当初計画

事業内容	小中学校におけるいじめの撲滅と、不登校児童生徒の減少を図るため不登校児童生徒支援員を派遣します。				
今後の取り組み方針	各学校では児童生徒指導の機能を十分に活かした校内指導体制の充実を図るほか、その中心となる不登校支援員のさらなる拡充に努めていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・不登校児童生徒支援員:2人 ・不登校児童生徒数:248人	21年度 実績値	・不登校児童生徒支援員:4人 ・不登校児童生徒数:241人	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	25年度から不登校生徒支援員を4名から9名(各市内中学校1名)に増員し配置したことにより不登校生徒の早期発見・早期対応ができました。各中学校とも、授業が遅れている生徒に対する学習支援や登校しづりで悩んでいる生徒との相談ができました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・不登校児童生徒支援員:4人 ・不登校児童生徒数:231人	・不登校児童生徒支援員:4人 ・不登校児童生徒数:269人	・不登校児童生徒支援員:4人 ・不登校児童生徒数:223人	・不登校児童生徒支援員:9人 ・不登校児童生徒数:248人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	不登校児童生徒支援員の配置やフォーラムの開催により、児童生徒・教職員・保護者等の意識を啓発する他、いじめ・暴力防止ポスターを募集し、優秀賞を市内小中学校に配付するなどして取り組みました。 なお、不登校生徒支援員を青少年相談室に配置を変えたことにより、相談体制の強化を図りました。		25年度から不登校生徒支援員を増員し、学習支援や学校での相談にとどまらず、相談室との連携を密にし、不登校生徒への家庭訪問を積極的に実施する相談体制を整えました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(5)- : いじめ・不登校児童生徒への支援      個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援(再掲)

番号	144	事業名	ことばの教室運営事業	所管・窓口	指導室
----	-----	-----	------------	-------	-----

当初計画

事業内容	ことばと聞こえに配慮を必要とする児童の症状に合わせた学習指導を行い、会話などを通じたコミュニケーション能力の向上を図ります。				
今後の取り組み方針	ことばや聞こえに関して支援を必要とする児童が増加傾向にあります。今後さらなる支援の充実のため、ことばの教室の増設を検討していきます。				
指標値(20年度指標値)	・ことばの教室在籍児童数: 157人 ・ことばの教室設置校: 2校	21年度実績値	・ことばの教室在籍児童数: 154人 ・ことばの教室設置校: 2校	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市内の小学校3校(林間小・草柳小・渋谷小)に、ことばの教室を設置し在籍児童の支援を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・ことばの教室在籍児童数: 161人 ・ことばの教室設置校: 3校	・ことばの教室在籍児童数: 142人 ・ことばの教室設置校: 3校	・ことばの教室在籍児童数: 183人 ・ことばの教室設置校: 3校	・ことばの教室在籍児童数: 194人 ・ことばの教室設置校: 3校	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の改善は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(5)- : いじめ・不登校児童生徒への支援      個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援(再掲)

番号	145	事業名	特別支援教育推進事業	所管・窓口	指導室
----	-----	-----	------------	-------	-----

当初計画

事業内容	教育上の配慮を必要とする児童生徒のいる小中学校を対象に、必要に応じて特別支援教育ヘルパー、特別支援教育スクールアシスタント及び巡回相談チームを派遣します。				
今後の取り組み方針	支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあるため、スクールアシスタントやヘルパーの増員を図る等、校内支援体制のさらなる充実に努めていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・特別支援教育ヘルパーの人数:46人 ・特別支援教育スクールアシスタントの人数:28人 ・巡回相談チーム派遣回数:157回	21年度 実績値	・特別支援教育ヘルパーの人数:55人 ・特別支援教育スクールアシスタントの人数:28人 ・巡回相談チーム派遣回数:187回	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・特別支援学級に在籍する児童生徒の教育的ニーズに対応するため、特別支援教育ヘルパーを増員し、介助にあたりました。 ・通常学級に在籍する児童生徒の学習支援を今まで以上に充実させるため、特別支援教育スクールアシスタントの配置を前年度までの小中学校1名から小学校の大規模校5校に2名配置しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・特別支援教育ヘルパーの人数:55人 ・特別支援教育スクールアシスタントの人数:28人 ・巡回相談チーム派遣回数:156回	・特別支援教育ヘルパーの人数:60人 ・特別支援教育スクールアシスタントの人数:28人 ・巡回相談チーム派遣回数:163回	・特別支援教育ヘルパーの人数:65人 ・特別支援教育スクールアシスタントの人数:28人 ・巡回相談チーム派遣回数:125回	・特別支援教育ヘルパーの人数:70人 ・特別支援教育スクールアシスタントの人数:33人 ・巡回相談チーム派遣回数:144回	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の改善は行っておらず、現状維持となりましたが、ヘルパーの増員により、学校への支援が向上しました。		ヘルパーやスクールアシスタントの増員により、児童生徒に対して有効な支援ができました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	B	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(5)- : いじめ・不登校児童生徒への支援

番号	146	事業名	不登校児童生徒援助事業	所管・窓口	青少年相談室
----	-----	-----	-------------	-------	--------

当初計画

事業内容	不登校児童生徒が通うことができる学校外の施設として、青少年センターにある教育支援教室(まほろば教室)を開設し学校復帰を支援します。				
今後の取り組み方針	学校現場に勤務するスクールカウンセラーや学校教育相談員を有効に活用して、学校復帰を支援していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・教室開室日数:190日 ・教室行事回数:37回	21年度 実績値	・教室開室日数:193日 ・教室行事回数:40回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・相談員と教育支援教室専任教諭・指導員が連携し、教育支援教室への安定通室のための支援を実施しました。 ・学校に配置している小学校派遣相談員(市内19校週1回1名配置)や不登校生徒支援員(市内9中学校1名配置)と連携しながら、学校の先生との情報交換を密にして学校復帰・再登校へ向けた支援を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・教室開室日数: 193日 ・教室行事回数: 35回	・教室開室日数: 191日 ・教室行事回数: 33回	・教室開室日数: 215日 ・教室行事回数: 31回	・教室開室日数: 216日 ・教室行事回数: 26回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	147	事業名	児童ホームヘルプ事業 (旧、ホームヘルプ事業)	所管・窓口	保育家庭課 (H23年度までは障がい福祉課)
----	-----	-----	----------------------------	-------	---------------------------

当初計画

事業内容	障がい児者が自立した日常生活を営むことができるよう、家事援助や身体介護などにかかわる費用を支給することで、必要な支援を行います。				
今後の取り組み方針	障がい児にとって身体介護や家事支援は、自立した生活を営む上で必要不可欠な支援であり、継続して実施していきます。				
指標値 (20年度実績値)	利用時間数:1,297時間	21年度 実績値	利用時間数:1,029.5時間	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	継続して事業を実施し、障がい児の保護者からの申請を受け、給付費の支給を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	利用時間数:1,297 時間	利用時間数: 1262.5時間	利用時間数:1,146 時間	利用時間数:1,226 時間	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容に変更はなく、質的には現状維持となりましたが、H24.4の制度改正に合わせ、所管を健康福祉部障がい福祉課からこども部保育家庭課に移行したことで、その他の次世代育成支援との連携を強化することができました。		次世代育成支援の一環として、引き続き、事業を維持・継続しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	148	事業名	補装具費支給事業	所管・窓口	障がい福祉課
----	-----	-----	----------	-------	--------

当初計画

事業内容	身体障がい児者に、身体機能を補う補装具の費用を支給することで、就学や日常生活の利便向上を図ります。				
今後の取り組み方針	身体障がい児にとって、補装具は身体機能の一部を補うものであり、日常生活を維持するために必要不可欠なものであるため、今後も継続的に支援していきます。				
指標値 (20年度実績値)	交付・修理件数:130件	21年度 実績値	交付・修理件数:141件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	継続して事業を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	交付・修理件数: 174件	交付・修理件数: 131件	交付・修理件数: 161件	交付・修理件数: 142件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	149	事業名	障害者歯科健診事業	所管・窓口	障がい福祉課
----	-----	-----	-----------	-------	--------

当初計画

事業内容	大和歯科医師会の協力により、月に1回、心身に障がいのある子どもの歯科検診、口腔相談、歯磨き指導及び医療機関等への紹介を行います。				
今後の取り組み方針	障がい児の口腔衛生や虫歯予防管理を行うことは健康維持に重要であることから、今後も継続して実施していきます。				
指標値(20年度実績値)	歯科健診利用人数:55人(延べ)(障がい児者)	21年度実績値	歯科健診利用人数:43人(延べ)(障がい児者)	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	継続して事業を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	歯科健診利用人数:53人(延べ)(障がい児者)	歯科健診利用人数:52人(延べ)(障がい児者)	歯科健診利用人数:41人(延べ)(障がい児者)	歯科健診利用人数:45人(延べ)(障がい児者)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	150	事業名	移動制約者移送事業(協働事業)	所管・窓口	障がい福祉課
----	-----	-----	-----------------	-------	--------

当初計画

事業内容	移動に制約のある高齢者や障がい者の外出を支援するために送迎を行う事業をNPO法人と市の協働事業として実施しています。				
今後の取り組み方針	今後も市民ニーズに対応するため、NPO法人との連携を図りながら、サービスを提供していきます。				
指標値 (20年度実績値)	移送サービス提供件数 :8,016件(延べ) (障がい児者)	21年度 実績値	移送サービス提供件数 :8,233件(延べ) (障がい児者)	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	NPO法人との連携を図りながら、サービスを提供しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	移送サービス提供件数:8,250件(延べ)(障がい児者)	移送サービス提供件数:7,737件(延べ)(障がい児者)	移送サービス提供件数:7,647件(延べ)(障がい児者)	移送サービス提供件数:6,809件(延べ)(障がい児者)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	151	事業名	松風園運営事業(第1松風園)	所管・窓口	障がい福祉課
----	-----	-----	----------------	-------	--------

当初計画

事業内容	重度の障がい児に対し、基本的な生活習慣や環境への適応性を養う等、必要な訓練及び支援を行います。				
今後の取り組み方針	他の施設での受け入れが難しい重度の障がい児に対し、今後も引き続き専門的な支援をしていきます。				
指標値(20年度実績値)	・第1松風園開園日数:235日 ・第1松風園利用児童数:32人	21年度実績値	・第1松風園開園日数:233日 ・第1松風園利用児童数:33人	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	継続して事業を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・第1松風園開園日数:233日 ・第1松風園利用児童数:33人	・第1松風園開園日数:236日 ・第1松風園利用児童数:36人	・第1松風園開園日数:237日 ・第1松風園利用児童数:36人	・第1松風園開園日数:233日 ・第1松風園利用児童数:37人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	152	事業名	児童発達支援事業 (旧、児童デイサービス事業)	所管・窓口	保育家庭課 (H23年度までは障がい福祉課)
----	-----	-----	----------------------------	-------	---------------------------

当初計画

事業内容	障がいや発達に不安のある児童に対し、日常生活における基本的な動作指導や集団生活への適応訓練などにかかる費用を支給し、継続的な療育を行います。				
今後の取り組み方針	障がいや発達に不安のある児童の人数は増えており、早期療育のために受け入れ体制の充実を図ります。				
指標値 (20年度実績値)	児童デイサービス利用決定者数: 63人	21年度実績値	児童デイサービス利用決定者数: 80人	取り組みの方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	継続して事業を実施し、障がい児の保護者からの申請を受け、給付費の支給を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	児童デイサービス利用決定者数: 147人	児童デイサービス利用決定者数: 235人	・児童発達支援支給決定者数: 175人 ・放課後等デイサービス支給決定者数: 245人	・児童発達支援支給決定者数: 245人 ・放課後等デイサービス支給決定者数: 340人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	H24.4の制度改正に合わせ、所管を健康福祉部障がい福祉課からこども部保育家庭課に移行したことで、その他の次世代育成支援との連携を強化することができました。 ・障害者自立支援法による児童デイサービスが、児童福祉法による児童発達支援・放課後等デイサービスへと移行したことに伴い、サービス提供事業所の支援体制が向上しました。		H24.4の制度改正以降、サービス提供事業所の支援体制が向上し、受入人数が拡大したことにより、利用者が増加しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

A



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	153	事業名	日常生活用具給付事業	所管・窓口	障がい福祉課
----	-----	-----	------------	-------	--------

当初計画

事業内容	重度障がい児者から申請を受け、特殊寝台などの日常生活用具を給付し、日常生活の利便向上を図ります。				
今後の取り組み方針	日常生活に不可欠であるため、今後も市が地域生活支援事業として実施していきます。				
指標値 (20年度実績値)	日常生活用具の給付数:293件	21年度実績値	日常生活用具の給付数:296件	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	継続して事業を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	日常生活用具の給付数:318件	日常生活用具の給付数:377件	日常生活用具の給付数:561件	日常生活用具の給付数:717件	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	154	事業名	児童移動支援事業 (旧、移動支援事業)	所管・窓口	保育家庭課 (H23年度までは障がい福祉課)
----	-----	-----	------------------------	-------	---------------------------

当初計画

事業内容	一人では移動が困難な障がい児者の外出を介助するガイドヘルパーの費用を支給します。				
今後の取り組み方針	一人では外出が困難な障がい児の自立と社会参加を促進するために、今後も継続的に支援していきます。				
指標値 (20年度実績値)	移動支援利用時間数 :4,115.5時間	21年度 実績値	移動支援利用時間数 :4,717時間	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	継続して事業を実施し、障がい児の保護者からの申請を受け、給付費の支給を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	移動支援利用時間数:4,858時間	移動支援利用時間数:5,056,5時間	移動支援利用時間数:5,293時間	移動支援利用時間数:4,611時間	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容に変更はなく、質的には現状維持となりましたが、H24.4の制度改正に合わせ、所管を健康福祉部障がい福祉課からこども部保育家庭課に移行したことで、その他の次世代育成支援との連携を強化することができました。		次世代育成支援の一環として、引き続き、事業を維持・継続しました。充実してきている児童福祉法の支援サービスへの移行が進みました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

### 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	155	事業名	在宅重度障害者サポート事業	所管・窓口	障がい福祉課
----	-----	-----	---------------	-------	--------

#### 当初計画

事業内容	重度の障がい児者が快適な在宅生活を送れるように、福祉タクシー券の配付や紙おむつの支給などの支援を行ないます。				
今後の取り組み方針	重度障がい児者の日常生活支援のため、継続的に事業を実施していきます。				
指標値 (20年度実績値)	・福祉タクシー利用者数: 961人(障がい児者) ・紙おむつの支給人数: 46人(障がい児者)	21年度 実績値	・福祉タクシー利用者数: 984人(障がい児者) ・紙おむつの支給人数: 55人(障がい児者)	取り組み の方向	維持

#### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	継続して事業を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・福祉タクシー利用者数: 995人(障がい児者) ・紙おむつの支給人数: 58人(障がい児者)	・福祉タクシー利用者数: 1,021人(障がい児者) ・紙おむつの支給人数: 57人(障がい児者)	・福祉タクシー利用者数: 1,048人(障がい児者) ・紙おむつの支給人数: 49人(障がい児者)	・福祉タクシー利用者数: 1,089人(障がい児者) ・紙おむつの支給人数: 53人(障がい児者)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

#### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

#### 事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	156	事業名	市障害者福祉手当支給事業	所管・窓口	障がい福祉課
----	-----	-----	--------------	-------	--------

当初計画

事業内容	障がい児者の福祉を増進するため、重度・中度の障がい児者に対して手当を支給します。				
今後の取り組み方針	年々、対象者数や事業費が増加しており、事業の見直しを余儀なくされています。社会情勢等を勘案し必要に応じて検討していきます。				
指標値 (20年度実績値)	受給者数:3,321人 (障がい児者)	21年度 実績値	受給者数:3,476人 (障がい児者)	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	継続して事業を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	受給者数:3,654人 (障がい児者)	受給者数:3,783人 (障がい児者)	受給者数:3,935人 (障がい児者)	受給者数:3,964人 (障がい児者)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	157	事業名	特別障害者手当等支給事業	所管・窓口	障がい福祉課
----	-----	-----	--------------	-------	--------

当初計画

事業内容	重度の在宅障がい児者の生活を支援するために手当を支給します。				
今後の取り組み方針	今後も国の制度に基づき事業を進めます。				
指標値 (20年度実績値)	障害児福祉手当受給者数:97人	21年度実績値	障害児福祉手当受給者数:110人	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	国の制度に基づき事業を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	障害児福祉手当受給者数:125人	障害児福祉手当受給者数:135人	障害児福祉手当受給者数:117人	障害児福祉手当受給者数:111人	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	国制度に基づき事業を実施しました。特に事業内容の質的改善はなく現状維持となりました。		国制度に基づき事業を実施しました。特に事業内容の質的改善はなく現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	158	事業名	障害者処遇委員会運営事業	所管・窓口	障がい福祉課
----	-----	-----	--------------	-------	--------

当初計画

事業内容	障がい児や配慮が必要な児童の進路について、医師や福祉関係者、教員等の関係者により検討を行い、進路の参考とします。				
今後の取り組み方針	本事業は、小中学校への就学時の検討のみになっており、検討対象やふさわしい組織の在り方を教育委員会等の庁内関係各課で検討していきます。				
指標値 (20年度実績値)	検討件数:119件	21年度 実績値	検討件数:126件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	これまでどおり委員会を開催しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	検討件数:133件	検討件数:135件	検討件数:138件	検討件数:140件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	159	事業名	児童短期入所事業 (旧、短期入所事業)	所管・窓口	保育家庭課 (H23年度までは障がい福祉課)
----	-----	-----	------------------------	-------	---------------------------

当初計画

事業内容	家族の疾病、冠婚葬祭の時や、家族や介護者の休養を要する時に、宿泊を含めた短期の介護の提供等を行います。また、主に障がい児に対し、施設等で宿泊を伴わない預かりや日常的な訓練、社会適応訓練等を行います。				
今後の取り組み方針	障がい児とその家族にとって介護負担の軽減、障がい児の療育のために重要であることから、今後も継続して実施していきます。				
指標値 (20年度実績値)	・短期入所利用宿泊数:323泊 ・日中一時支援利用回数: 7,845回	21年度 実績値	・短期入所利用宿泊数:365泊 ・日中一時支援利用回数: 8,008回	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	継続して事業を実施し、障がい児の保護者からの申請を受け、給付費の支給を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・短期入所利用宿泊数:201泊 ・日中一時支援利用回数:7,775回	・短期入所利用宿泊数:216泊 ・日中一時支援利用回数:6,991回	・短期入所利用日数:247泊 ・日中一時支援利用回数:4,247回	・短期入所利用日数:315泊 ・日中一時支援利用回数:2,447回	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	・H24.4の制度改正に合わせ、所管を健康福祉部障がい福祉課からこども部保育家庭課に移行したことで、その他の次世代育成支援との連携を強化することができました。 ・また、従前の日中一時支援事業所の一部が、児童福祉法に創設された放課後等デイサービス事業所へと移行しました。		・短期入所については、家庭事情による緊急的な利用が生じたことにより、実績が伸びました。 ・日中一時支援については、充実してきている児童福祉法の支援サービスへの移行が進みました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	160	事業名	私立幼稚園特別支援教育支援事業 (旧:私立幼稚園特別支援教育支援事業)	所管・窓口	こども総務課
----	-----	-----	--	-------	--------

当初計画

事業内容	心身に障がいのある児童が通園する私立幼稚園に対して、受入れのための補助金を交付します。				
今後の取り組み方針	障がい児の受け入れ促進や、障がい児教育の充実を図るために、今後も継続して実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	補助金交付園数:10園	21年度 実績値	補助金交付園数:10園	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	心身に障がいのある幼児との統合教育を行う私立幼稚園に対して補助金を交付しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	補助金交付園数: 13園	補助金交付園数: 12園	補助金交付園数: 12園	補助金交付園数: 13園	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	161	事業名	発達相談支援システム推進事業	所管・窓口	保育家庭課
----	-----	-----	----------------	-------	-------

当初計画

事業内容	就学前の乳幼児に対して、心理士、作業療法士、言語聴覚士、保育士などの専門スタッフが相談指導を行います。				
今後の取り組み方針	「子育て支援」の視点で、不安のある乳幼児に対する相談・支援を早期に対応していきます。今後は、さらに「発達につまずきのある乳幼児」への支援の充実にも努めます。				
指標値 (20年度 指標値)	・相談件数: 465件 ・障がい児の個別指導回数: 1,795回 ・グループ指導実施人数: 698 人(延べ)	21年度 実績値	・相談件数: 504件 ・障がい児の個別指導回数: 1,750回 ・グループ指導実施人数: 977 人(延べ)	取り組み の方向	充実

進捗状況

印: 要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	継続して事業を実施し、障がい児の保護者からの申請を受け、給付費の支給を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・相談件数: 553件 ・障がい児の個別 指導回数: 1,760回 ・グループ指導実 施人数: 1,189人 (延べ)	・相談件数: 590件 ・障がい児の個別 指導回数: 1,698回 ・グループ指導実 施人数: 1,087人 (延べ)	・相談件数: 611件 ・障がい児の個別 指導回数: 1,894回 ・グループ指導実 施人数: 681人(延 べ)	・相談件数: 641件 ・障がい児の個別 指導回数: 1,914回 ・グループ指導実 施人数: 635人(延 べ)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	増加する相談・支援に対応するため、運営方法を見直し、グループ指導から個別指導への移行を進めました。		増加する相談・支援に対応するため、運営方法を見直し、グループ指導から個別指導への移行を進めました		

評価ランク

印: 要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	162	事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業	所管・窓口	学校教育課
----	-----	-----	-----------------	-------	-------

当初計画

事業内容	特別支援学級への就学や「ことばの教室」へ通学する児童のいる家庭に援助を行います				
今後の取り組み方針	特別支援教育では、児童の個性に応じた教育が必要であり、教育内容の充実とともに、就学に係る費用の援助を必要とする家庭への支援は引き続き行っていく必要があります。				
指標値 (20年度 指標値)	就学奨励費認定・支給件数:94人	21年度 実績値	就学奨励費認定・支給件数:98人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	学校を通して制度の周知を図り、支援を必要とする家庭に対し援助を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	就学奨励費認定・ 支給件数:111人	就学奨励費認定・ 支給件数:98人	就学奨励費認定・ 支給件数:130人	就学奨励費認定・ 支給件数:138人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的変更はありません。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	163	事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業	所管・窓口	学校教育課
----	-----	-----	-----------------	-------	-------

当初計画

事業内容	特別支援学級へ就学する生徒のいる家庭に援助を行います。				
今後の取り組み方針	特別支援教育では、生徒の個性に応じた教育が必要であり、教育内容の充実とともに、就学に係る費用の援助を必要とする家庭への支援は引き続き行っていく必要があります。				
指標値 (20年度 指標値)	就学奨励費認定・支給件数:32 人	21年度 実績値	就学奨励費認定・支給件数:44 人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	学校を通して制度の周知を図り、支援を必要とする家庭に対し援助を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	就学奨励費認定・ 支給件数:48人	就学奨励費認定・ 支給件数:50人	就学奨励費認定・ 支給件数:31人	就学奨励費認定・ 支給件数:39人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的変更はありません。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	164	事業名	就学相談事業	所管・窓口	指導室
----	-----	-----	--------	-------	-----

当初計画

事業内容	教育上の配慮を要する児童生徒が、適切な就学ができるよう就学相談を行います。				
今後の取り組み方針	教育委員会指導室が保護者からの相談を受け、関係機関と連携しながら、処遇委員会の意見を踏まえて、今後も適切な就学について助言を行っていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	相談件数: 173件	21年度 実績値	相談件数: 173件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印: 要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	教育的ニーズを把握するとともに、保護者の意向を大切にしながら就学相談を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	相談件数: 169件	相談件数: 176件	相談件数: 177件	相談件数: 178件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	幼稚園や保育園等への訪問も含め、配慮を要する児童生徒への教育的ニーズを把握し、きめ細やかな就学相談の充実に努めました。		前年度同様、幼稚園や保育園等への訪問も含め、配慮を要する児童生徒への教育的ニーズを把握し、きめ細やかな就学相談の充実に努めました。		

評価ランク

印: 要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	165	事業名	特別児童扶養手当の支給	所管・窓口	県子ども家庭課 (障がい福祉課)
----	-----	-----	-------------	-------	---------------------

当初計画

事業内容	中度もしくは重度の身体、精神または知的障がいがある20歳未満の児童を家庭で監護している父母または養育者に手当を支給します。				
今後の取り組み方針	今後も国の制度の申請窓口として、障がい児の養育者に対する支援を行っていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	受給者数:325人	21年度 実績値	受給者数:346人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	国の制度の申請窓口として、障がい児の養育者に対する支援を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	受給者数:387人	受給者数:459人	受給者数:476人	受給者数:467人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	国制度に基づき事業を実施しました。特に事業内容の質的改善はなく現状維持となりました。		国制度に基づき事業を実施しました。特に事業内容の質的改善はなく現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	166	事業名	神奈川県在宅重度障害者等手当の支給	所管・窓口	県障がい福祉課 (障がい福祉課)
----	-----	-----	-------------------	-------	---------------------

当初計画

事業内容	毎年8月1日現在、県内に6ヶ月以上居住している常時介護を必要とする在宅の重度障がい児に手当を支給します。				
今後の取り組み方針	今後も県の制度の申請窓口として、障がい者支援を行っていきます。				
指標値 (20年度 指標値)	受給者数:3,088人 (障がい児者)	21年度 実績値	受給者数:3,086人 (障がい児者)	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	県の制度の申請窓口として、障がい児支援を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	受給者数:2,873人 (障がい児者・旧制度) 188人(障がい児者・新制度)	受給者数:2,919人 (障がい児者・旧制度) 189人(障がい児者・新制度)	受給者数:196人	受給者数:193人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	県制度に基づき事業を実施しました。 (平成24年度からは新制度に完全移行しました)		県制度に基づき事業を実施しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	167	事業名	障害児者等歯科保健事業	所管・窓口	厚木保健福祉事務所大和センター(旧:大和保健福祉事務所)保健福祉課
----	-----	-----	-------------	-------	-----------------------------------

当初計画

事業内容	障がい児者やその家族に対し、むし歯や歯周疾患予防・口の機能の維持改善のための知識の普及や指導を行うとともに、摂食機能発達に向けた支援を行います。				
今後の取り組み方針	障がい児者の生活の質の向上を図るため、関係機関と連携しながら継続して、事業を実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	・すこやか療育歯科相談開設回数:15回 ・講習会の開催回数:1回/年(綾瀬市含む)	21年度実績値	・すこやか療育歯科相談開設回数:14回 ・講習会の開催回数:1回/年(綾瀬市含む)	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	障がい児者の生活の質の向上を図るため、関係機関と連携しながら継続して、事業を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	・すこやか療育歯科相談開設回数:18回 ・講習会の開催回数:1回/年(綾瀬市含む)	・すこやか療育歯科相談開設回数:23回 ・講習会の開催回数:1回/年(綾瀬市含む)	・すこやか療育歯科相談開設回数:26回 ・講習会の開催回数:1回/年(綾瀬市含む)	・すこやか療育歯科相談開設回数:26回 ・講習会の開催回数:1回/年(綾瀬市含む)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 障がいのある子どもと家庭への支援

番号	168	事業名	在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業	所管・窓口	厚木保健福祉事務所大和センター(旧:大和保健福祉事務所)保健福祉課
----	-----	-----	------------------	-------	-----------------------------------

当初計画

事業内容	在宅で療養している障がい児者等の歯科疾患や誤嚥性肺炎の予防等を目的に口腔ケアに関する指導や知識の普及を行うとともに訪問口腔ケアの普及推進を図ります。				
今後の取り組み方針	在宅療養者の生活の質の向上を図るため、関係機関と連携しながら引き続き事業を実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	訪問した子どもの件数:4件 (綾瀬市含む)	21年度実績値	訪問した子どもの件数:15件 (綾瀬市含む)	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	在宅療養者の生活の質の向上を図るため、関係機関と連携しながら引き続き事業を実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	訪問した子どもの件数:7件 (綾瀬市含む)	訪問した子どもの件数:6件 (綾瀬市含む)	訪問した子どもの件数:2件 (綾瀬市含む)	訪問した子どもの件数:2件 (綾瀬市含む)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	特段、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : ひとり親家庭への支援

番号	169	事業名	婦人保護対策事業	所管・窓口	生活援護課
----	-----	-----	----------	-------	-------

当初計画

事業内容	配偶者から暴力を受けた被害者を保護するため、必要な相談、指導を行うほか、避難が必要な場合には一時入所措置を行います。				
今後の取り組み方針	今後も県や警察をはじめ、DV関係民間団体と連携を図り、配偶者からの暴力対策に総合的に取り組みます。				
指標値 (20年度実績値)	措置件数: 20件 相談件数: 374件	21年度 実績値	措置件数: 19件 相談件数: 244件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印: 要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・婦人保護施設(シェルター)への一時保護を行いました。 ・婦人保護施設(シェルター)に一時保護入所中の方の病院受診同行や法テラスへの同行などの支援を行いました。 ・生活保護制度を活用し転居先の確保を支援しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	措置件数: 6件 相談件数: 472件	措置件数: 6件 相談件数: 434件	措置件数: 3件 相談件数: 500件	措置件数: 6件 相談件数: 734件	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印: 要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : ひとり親家庭への支援

番号	170	事業名	助産・母子生活支援施設入所事業	所管・窓口	こども総務課
----	-----	-----	-----------------	-------	--------

当初計画

事業内容	経済的に困窮している妊産婦に対して申請に基づき助産施設への措置を行います。また、配偶者のいない女子及びその子どもを母子生活支援施設に入所の措置を行います。				
今後の取り組み方針	助産施設及び母子生活支援施設へ入所させる措置で、法定事務であるため、今後とも申請に基づき適切に対応していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・助産措置件数:6件 ・母子生活支援施設措置件数:0件	21年度 実績値	・助産措置件数:12件 ・母子生活支援施設措置件数:1件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	助産施設及び母子生活支援施設へ入所させる措置で、法廷事務であるため、申請に基づき適切に対応しています。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・助産措置件数:8件 ・母子生活支援施設措置件数:1件	・助産措置件数:13件 ・母子生活支援施設措置件数:1件	・助産措置件数:12件 ・母子生活支援施設措置件数:0件	・助産措置件数:6件 ・母子生活支援施設措置件数:0件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	児童福祉法に基づく事業で、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		児童福祉法に基づく事業で、事業内容の質的改善は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : ひとり親家庭への支援

番号	171	事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業	所管・窓口	こども総務課
----	-----	-----	----------------	-------	--------

当初計画

事業内容	ひとり親家庭等の保険診療の医療費のうち、自己負担額分を助成し、負担を軽減します。				
今後の取り組み方針	ひとり親家庭等の生活の安定を支援する事業であることから、継続して実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・対象者数: 3,920人 ・受診件数: 47,855件	21年度 実績値	・対象者数: 3,939人 ・受診件数: 48,994件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印: 要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	受給対象者の認定、償還払いを適正に行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・対象者数: 4,042人 ・受診件数: 50,703件	・対象者数: 4,010人 ・受診件数: 54,111件	・対象者数: 4,084人 ・受診件数: 55,315件	・対象者数: 4,062人 ・受診件数: 55,391件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	対象、手段、手法は変更がないため現状維持となりました。		対象、手段、手法は変更がないため現状維持となりました。		

評価ランク

印: 要入力箇所

実績値	B	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : ひとり親家庭への支援

番号	172	事業名	児童扶養手当支給事業	所管・窓口	こども総務課
----	-----	-----	------------	-------	--------

当初計画

事業内容	父親のいない児童の母親、または母親に代わって児童を養育している方に、児童扶養手当を支給します。				
今後の取り組み方針	母子家庭等の生活の安定を支援する事業であることから、継続して実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	受給者数:1,517人	21年度 実績値	受給者数:1,563人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成22年8月から父子家庭も対象となり、平成23年4月からは障害年金の子加算額と児童扶養手当額を比較し、手当額が多い場合は手当を受給できるようになり、さらに、平成24年8月からは児童扶養手当の受給要件に母又は父が裁判所からのDV保護命令を受けた児童が対象になるなどの制度改正があり、窓口相談などの際に引き続き周知を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	受給者数:1,669人	受給者数:1,732人	受給者数:1,768人	受給者数:1,751人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	対象、手段、手法は変更がないため現状維持となりました。		市民課窓口や生活援護課等と連携し、対象者への制度周知に努めました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : ひとり親家庭への支援

番号	173	事業名	ひとり親家庭等家賃助成事業	所管・窓口	こども総務課
----	-----	-----	---------------	-------	--------

当初計画

事業内容	ひとり親家庭等の家賃を助成します。				
今後の取り組み方針	ひとり親家庭等の生活の安定を支援する事業であることから、継続して実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	助成世帯数:713世帯	21年度 実績値	助成世帯数:763世帯	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	経済の動向等を勘案しながら、継続して実施しています。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	助成世帯数:801 世帯	助成世帯数:796 世帯	助成世帯数:842 世帯	助成世帯数:847 世帯	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	手段、手法に変更がないため、現状維持となりました。		手段、手法に変更がないため、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : ひとり親家庭への支援

番号	174	事業名	母子寡婦福祉資金貸付事業	所管・窓口	こども総務課
----	-----	-----	--------------	-------	--------

当初計画

事業内容	母子家庭の生活支援、子どもの福祉向上を目的に生活資金や修学資金などの貸付を行います。				
今後の取り組み方針	母子家庭の生活支援のため、継続して実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	修学資金等の貸付件数:98件	21年度 実績値	修学資金等の貸付件数:79件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	相談者の実情を的確に把握し、場合によっては他の制度の利用を促すなど、適切な貸付相談が行えました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	修学資金等の貸付件数:39件	修学資金等の貸付件数:28件	修学資金等の貸付件数:20件	修学資金等の貸付件数:22件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	他の貸付制度も案内し、相談者の実情に合った貸付制度を利用できるようにしました。		他の貸付制度も案内し、相談者の実情に合った貸付制度を利用できるようにしました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成23年度末で事業廃止

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : ひとり親家庭への支援

番号	175	事業名	母子等福祉資金支援事業	所管・窓口	こども総務課
----	-----	-----	-------------	-------	--------

当初計画

事業内容	神奈川県が行う「母子寡婦福祉資金」を申請中の母子家庭に対して、資金が支給されるまでの間、緊急貸付を行います。				
今後の取り組み方針	母子家庭の生活支援のため、継続して実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	貸付件数:0件	21年度 実績値	貸付件数:0件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成23年度末 事業廃止				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	貸付件数:0件	貸付件数:0件	-	-	-
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	-		-		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	-	事業内容	-
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

-

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : ひとり親家庭への支援

番号	176	事業名	母子相談事業	所管・窓口	こども総務課
----	-----	-----	--------	-------	--------

当初計画

事業内容	生活上の問題を抱える母子家庭のさまざまな相談に対応できるよう母子自立支援員を配置し、保健福祉事務所等の関係機関と連携し相談業務を行います。				
今後の取り組み方針	さまざまな相談に対応できるよう母子自立支援員の資質向上に努めます。				
指標値 (20年度 指標値)	・相談件数:1,145件/年 ・母子自立支援員数:1人	21年度 実績値	・相談件数:1,174件/年 ・母子自立支援員数:1人	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成22年8月から父子家庭も児童扶養手当の対象になったことから、父子相談時にもさまざまなひとり親制度の周知に努めました。 ・母子自立支援員の事務研究会に毎回出席し、各市との情報交換や事例研究により様々な相談に対応できるよう努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・相談件数:1,171 件 ・母子自立支援員 数:1人	・相談件数:1,230 件 ・母子自立支援員 数:1人	・相談件数:1,307 件 ・母子自立支援員 数:1人	・相談件数:1,172 件 ・母子自立支援員 数:1人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	対象、手段、手法は変更がないため現状維持となりました。		対象、手段、手法は変更がないため現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C



(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : ひとり親家庭への支援

番号	177	事業名	母子家庭等自立対策支援事業	所管・窓口	こども総務課
----	-----	-----	---------------	-------	--------

当初計画

事業内容	母親の就業を促進するため、教育や訓練に必要な費用を助成します。				
今後の取り組み方針	母親の自立を促進するため必要な事業であることから、継続して実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	・自立支援教育訓練給付金申請件数:2件 ・高等技能訓練促進費申請者数:1件	21年度 実績値	・自立支援教育訓練給付金申請件数:3件 ・高等技能訓練促進費申請者数:4件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	母子相談時に制度の啓発普及に努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・自立支援教育訓練給付金申請件数:2件 ・高等技能訓練促進費申請者数:8件	・自立支援教育訓練給付金申請件数:2件 ・高等技能訓練促進費申請者数:8件	・自立支援教育訓練給付金申請件数:4件 ・高等技能訓練促進費申請者数:7件	・自立支援教育訓練給付金申請件数:0件 ・高等技能訓練促進費申請者数:4件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	対象、手段、手法に変更がないため、現状維持となりました。		対象、手段、手法に変更がないため、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

### 平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : ひとり親家庭への支援

番号	178	事業名	市営住宅管理運営事務	所管・窓口	街づくり総務課
----	-----	-----	------------	-------	---------

#### 当初計画

事業内容	ひとり親家庭を含む住宅に困窮する市民に良質な住宅を提供します。				
今後の取り組み方針	ひとり親家庭については、市の規則に基づいて優先入居を引続き実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	ひとり親家庭の入居世帯数: 83世帯	21年度 実績値	ひとり親家庭の入居世帯数: 90世帯	取り組み の方向	維持

#### 進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	優先入居を困窮度評価により実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	ひとり親家庭の入居世帯数:93世帯	ひとり親家庭の入居世帯数:93世帯	ひとり親家庭の入居世帯数:92世帯	ひとり親家庭の入居世帯数:89世帯	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	困窮度評価による選考を行い、ひとり親家庭の困窮度評価に際し、子供の人数や、未就学児・小学生・中学生の別で評価点を変えているため、家庭の状況に応じた選考ができています。		困窮度評価による選考を行い、ひとり親家庭の困窮度評価に際し、子供の人数や、未就学児・小学生・中学生の別で評価点を変えているため、家庭の状況に応じた選考ができています。		

#### 評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

#### 事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 外国人家庭への支援

番号	179	事業名	外国人児童生徒教育推進事業	所管・窓口	指導室
----	-----	-----	---------------	-------	-----

当初計画

事業内容	日本語指導員や外国人児童生徒教育相談員を派遣するほか、8言語の母国語と日本語を掲載した「楽しい学校」を配布します。				
今後の取り組み方針	各校に在籍する外国出身の児童生徒の多様な母語に対応するため、更なる支援の充実を図ります。				
指標値 (20年度 指標値)	・日本語指導員の派遣回数: 389回 ・外国人児童生徒教育相談員 派遣回数:521回	21年度 実績値	・日本語指導員の派遣回数: 418回 ・外国人児童生徒教育相談員 派遣回数:473回	取り組み の方向	充実

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	・国際教室を増設し、外国につながる児童生徒が地域で受け入れられる環境を整備しました。(平成20年度から小学校で8校増、中学校で2校増) ・学校との連携を図りながら児童生徒の多様なニーズに合わせた日本語指導員・外国人児童生徒教育相談員の派遣を行いました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・日本語指導員の 派遣回数:395回 ・外国人児童生徒 教育相談員派遣 回数:458回	・日本語指導員の 派遣回数:410回 ・外国人児童生徒 教育相談員派遣 回数:473回	・日本語指導員の 派遣回数:406回 ・外国人児童生徒 教育相談員派遣 回数:306回	・日本語指導員の 派遣回数:394回 ・外国人児童生徒 教育相談員派遣 回数:439回	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	・児童生徒の学習や相談活動において、学習の支援や通訳を派遣することで児童生徒の理解力向上に努めました。 ・学校で行う保護者面談や通知の翻訳などを行い保護者の理解の支援を行いました。		・児童生徒の学習や相談活動において、学習の支援や通訳を派遣することで児童生徒の理解力向上に努めました。 ・学校で行う保護者面談や通知の翻訳などを行い保護者の理解の支援を行いました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 外国人家庭への支援

番号	180	事業名	外国語通訳事業	所管・窓口	(公財)国際化協会
----	-----	-----	---------	-------	-----------

当初計画

事業内容	英語、スペイン語、ベトナム語、中国語、タガログ語の通訳員が、外国人市民からの行政及び生活全般に関わる問合せに応じます。				
今後の取り組み方針	本市の外国人市民に対して、継続して本事業を実施し、外国人市民の定住化が進む中、需要の増加に応えます。				
指標値 (20年度 指標値)	相談件数(問い合わせ件数) :2,515件	21年度 実績値	相談件数(問い合わせ件数) :2,945件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	外国人市民からの多岐にわたる問い合わせに応じました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	相談件数(問い合わせ件数):2,054 件	相談件数(問い合わせ件数):1,839 件	相談件数(問い合わせ件数):2,334 件	相談件数(問い合わせ件数):1,751 件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的改善等を行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的改善等を行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 外国人家庭への支援

番号	181	事業名	通訳・翻訳ボランティアの紹介および派遣	所管・窓口	(公財)国際化協会
----	-----	-----	---------------------	-------	-----------

当初計画

事業内容	市役所各課や市内の公共機関窓口等で必要な場合に、通訳や翻訳ボランティアを派遣しています。				
今後の取り組み方針	翻訳物の整理を図り、成果物の有効活用ができるよう、情報提供に努めます。				
指標値 (20年度 指標値)	・通訳処理件数: 158件 ・翻訳処理件数: 238件	21年度 実績値	・通訳処理件数: 179件 ・翻訳処理件数: 291件	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市民からの問い合わせに対応できるよう、引き続き翻訳データの整理、保存を進めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	・通訳処理件数: 233件 ・翻訳処理件数: 292件	・通訳処理件数: 260件 ・翻訳処理件数: 283件	・通訳処理件数: 263件 ・翻訳処理件数: 326件	・通訳処理件数: 172件 ・翻訳処理件数: 307件	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	市民からの問い合わせに対応できるよう、引き続き翻訳データの整理、保存を進めました。		事業内容の質的改善等は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 外国人家庭への支援

番号	182	事業名	健康セミナー	所管・窓口	(公財)国際化協会
----	-----	-----	--------	-------	-----------

当初計画

事業内容	外国人を対象に食生活に対する正しい知識や健康維持、病気の予防法を身に付けるためのセミナーを開催します。				
今後の取り組み方針	病気や肥満の問題が外国人の間にも多くあり、健康づくりのための支援策を今後も検討していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	参加者数:9人	21年度 実績値	未実施	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	外国人市民を対象に、生活習慣病を予防するための料理を作る料理教室を実施し、食生活改善や健康づくりへの理解を図りました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	未実施	未実施	未実施	参加者:13人	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	未実施のため質的改善は行っていません。		座って講義を聴くだけのセミナーではなく、実際に調理し、試食するセミナーを行いました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	B
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 外国人家庭への支援

番号	183	事業名	日本語・学習支援ボランティアの紹介および派遣事業	所管・窓口	(公財)国際化協会
----	-----	-----	--------------------------	-------	-----------

当初計画

事業内容	学校から依頼に基づき、外国出身の小中学生に、日本語及び教科の学習支援ボランティアを派遣し、学力の向上を図ります。				
今後の取り組み方針	学校現場での学習支援活動を継続できるように、学校とのより良い連携の取り方を検討していきます。				
指標値(20年度指標値)	ボランティア派遣(活動)回数:589回(延べ)	21年度実績値	ボランティア派遣(活動)回数:731回(延べ)	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	学校現場での学習支援活動を継続できるように、学校とのより良い連携が取れるよう努めました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	ボランティア派遣(活動)回数:914回(延べ)	ボランティア派遣(活動)回数:1,048回(延べ)	ボランティア派遣(活動)回数:1,324回(延べ)	ボランティア派遣(活動)回数:1,282回(延べ)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	大和市教育委員会指導室や小中学校の学級担任、国際教室担当の先生との連携をとり、対象の児童生徒に対する学習支援の内容や継続性について情報交換を行いました。			事業内容の質的改善等は行っておらず、現状維持となりました。	

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 外国人家庭への支援

番号	184	事業名	未就学児のための日本語教室「にほんごひろば」	所管・窓口	(公財)国際化協会
----	-----	-----	------------------------	-------	-----------

当初計画

事業内容	日本語に触れる機会が少ない外国出身の未就学児童にひらがなの読み書き、工作、手遊び歌などをまじえた、やさしい日本語を学ぶ教室を開催します。				
今後の取り組み方針	小学校での集団生活に早く馴染めるよう教育委員会との連携を図り、実施していきます。				
指標値(20年度指標値)	参加者数:92人(延べ)	21年度実績値	参加者数:99人(延べ)	取り組みの方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	教育委員会指導室のほか、NPO法人日本ペルー共生協会、子育てパートナーてとの連携を図りながら実施しました。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度実績値	参加者数:88人(延べ)	参加者数:52人(延べ)	参加者数:70人(延べ)	参加者数:39人(延べ)	
事業内容の質的改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業の充実を図るため、「子育てパートナーてと」及びNPO法人日本ペルー共生協会と開催前と事業実施後にミーティングを行い、それぞれの強みを生かせるように情報交換を行いました。		事業内容の質的改善等は行っておらず、現状維持となりました。 「子育てパートナーてと」及びNPO法人日本ペルー共生協会と事業の開催前後の情報交換は引き続き実施しました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	C	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

C



(様式1)

平成24年12月で事業廃止

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 外国人家庭への支援

番号	185	事業名	学習支援教室「ミカサ・トゥカサ」の開催	所管・窓口	(公財)国際化協会
----	-----	-----	---------------------	-------	-----------

当初計画

事業内容	スペイン語を母語とする、小、中、高等学校に在籍する子どもたちを対象に学習支援教室を開催し、学力の向上を図ります。				
今後の取り組み方針	スペイン語以外を母語とする子どもたちへの支援を検討していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	参加者数:402人(延べ)	21年度 実績値	参加者数:258人(延べ)	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	平成24年12月 事業廃止				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	参加者数:177人 (延べ)	参加者数:107人 (延べ)	参加者数:69人 (延べ)	-	-
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的改善等を行っておらず、現状維持となりました。			-	

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	-	事業内容	-
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

-

(様式1)

平成25年度分 大和市次世代育成支援行動計画(後期計画) 事業評価シート

個別目標(6)- : 外国人家庭への支援

番号	186	事業名	夏休み子ども教室	所管・窓口	(公財)国際化協会
----	-----	-----	----------	-------	-----------

当初計画

事業内容	外国出身の小中学生に、夏休みを利用して日本語及び教科の学習支援を行い学力の向上を図ります。				
今後の取り組み方針	市内の他団体でも夏休みに学習支援教室を開催していることから、開催時期が重ならないよう引き続き実施していきます。				
指標値 (20年度 指標値)	参加者数:69人(延べ)	21年度 実績値	参加者数:121人(延べ)	取り組み の方向	維持

進捗状況

印:要入力箇所

「今後の取り組み方針」の状況	市内の他団体でも夏休みに学習支援教室を開催していることから、開催時期が重ならないよう引き続き実施していきます。				
事業実績	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
各年度 実績値	参加者数:113人 (延べ)	参加者数:129人 (延べ)	参加者数:163人 (延べ)	参加者数:169人 (延べ)	
事業内容 の質的 改善事項	前年度		評価対象年度		
	事業内容の質的改善等は行っておらず、現状維持となりました。		事業内容の質的改善等は行っておらず、現状維持となりました。		

評価ランク

印:要入力箇所

実績値	A	事業内容	C
-----	---	------	---

事務局処理

1次評価

B